資　料

貯湯式(小型電気温水器)
- ESD シリーズ …… 61
- ES-DWUB シリーズ …… 62
- EWS/EWR シリーズ …… 63
- ETC/ETR シリーズ …… 66
- ワクワク WKT-14 …… 68
- ESN シリーズ …… 69
- ES-N3 シリーズ …… 70
- ESW03A/03T …… 71
- i HOT14 EWM-14 …… 72

瞬間式(小型電気温水器)
- EI/DE/EIC シリーズ …… 73

深夜型(大型電気温水器)
- ES-RM/RMK/CM シリーズ …… 75

ラピッド式(大型電気温水器)
- ES-150/200RB-T …… 76

ボイラー(大型電気温水器)
- ES-F/ESP-FK/ESP-F シリーズ …… 77
- ES-K シリーズ …… 81

開放式(大型電気温水器)
- EST シリーズ …… 82

昇温器(大型電気温水器)
- EIJ/EIL シリーズ …… 85

業務用エコキュート
- Yフレーム …… 86
- 中型機 …… 91
- 小型機 …… 95

水栓(まぜまぜ**MZ-N3/N3P** シリーズ)(関連商品) …… 100
膨張水排出装置(**BCH-K/M** シリーズ)(関連商品) …… 104
用途・形状が似ている製品の比較表 …… 105
ヒーター容量変更表/標準プラグ表 …… 110
給湯計算について …… 111
Q&A …… 113
価格一覧表 …… 129
日本イトミック製 電気温水器 新旧型番対比表 … 134
索引 …… 135
安全上のご注意 …… 137
電気温水器の施工に関するお知らせ …… 138

製品仕様

ESDシリーズ　製品の特長・価格についてはP.17

仕様表 ESDシリーズ

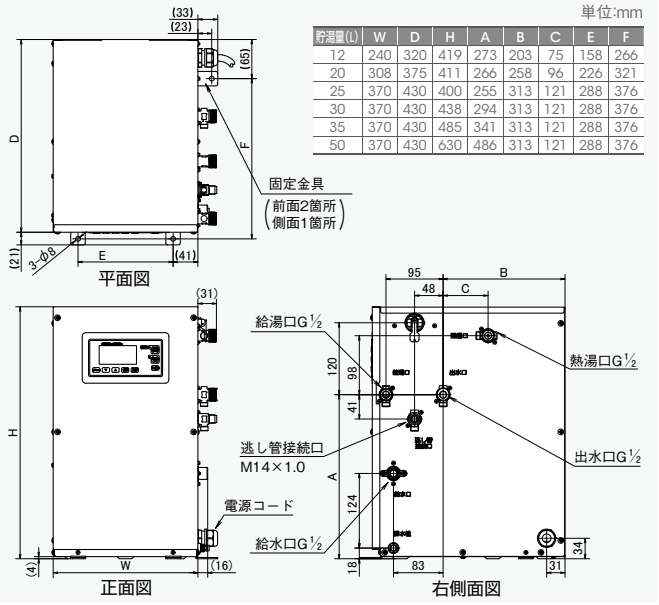
構造	貯湯量(L)	型番	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度範囲(℃)	標準電源※1	標準ヒーター容量(kW)※2	沸き上がり時間(分)※3	安全装置	付属品
密閉	12	ESD12B(R/L)X215B0	10	22	40以下★	0～40★	0.1～0.5	60～93	単相200V	1.5	44	●高温排水検出 ●温度センサー異常検出 ●空焚き検出 ●過昇温検出	●本体固定金具
	20	ESD20B(R/L)X220B0	11	31						2.0	55		
	25	ESD25B(R/L)X220B0	12	37						2.0	69		
	30	ESD30B(R/L)X220B0	15	45						2.0	82		
	35	ESD35B(R/L)X231B0	16	51						3.1	62		
	50	ESD50B(R/L)X231B0	18	68						3.1	88		

※1:電源は標準で単相200Vです。単相100V・三相200V仕様および異電圧は仕様変更にて承ります。(P.110参照)電源コードおよびプラグについては下記「電源コード・プラグについて」をご参照ください。
※2:ヒーター容量の変更も承ります。(P.110「ヒーター容量変更表」参照)　※3:水温15℃・沸き上がり温度93℃で算出。　★:凍結しないこと

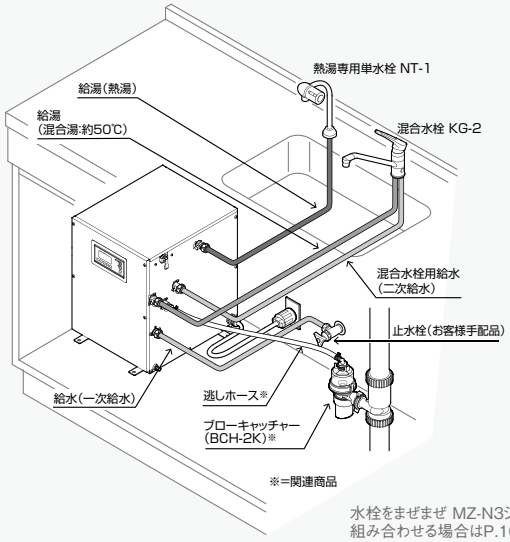
寸法図　ESD

単位:mm

貯湯量(L)	W	D	H	A	B	C	E	F
12	240	320	419	273	203	75	158	266
20	308	375	411	266	258	96	226	321
25	370	430	400	255	313	121	288	376
30	370	430	438	294	313	121	288	376
35	370	430	485	341	313	121	288	376
50	370	430	630	486	313	121	288	376



標準配管図



水栓をまぜまぜ MZ-N3シリーズと組み合わせる場合はP.103

ESDシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は給湯器の給湯能力に見合った個数にしてください。●給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●負圧にならないよう正しく施工・ご使用ください。●給湯配管の距離は放熱ロスを防ぐためできるだけ短くしてください。(最長で2m程度)●給湯器沸かし上げ中に膨張水が排出されます。 膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープ(お客様手配品)を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●混合栓への給水は給湯器の出水口からお取りください。水道を直接接続すると、湯水の圧力が異なるためスムースに混合できません。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。下記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎=標準ヒーター容量　▼=ヒーター容量ダウン(無料)
△=ヒーター容量アップ　⊘=設定なし

シリーズ	標準仕様				
	電源	単相200V			
	kW / 貯湯量(L)	1.1	1.5	2.0	3.1
ESD	12	▼	◎	⊘	⊘
	20	⊘	▼	◎	△
	25	⊘	▼	◎	△
	30	⊘	▼	◎	△
	35	⊘	⊘	▼	◎
	50	⊘	⊘	▼	◎

変更費用 ヒーター容量アップ・・・標準ヒーターから1kWアップ毎に￥15,000
ヒーター容量ダウン・・・無料　※詳細はP.110

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります(下表参照)。電源コードは標準で1mです。長さの変更は仕様変更にて承ります。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W

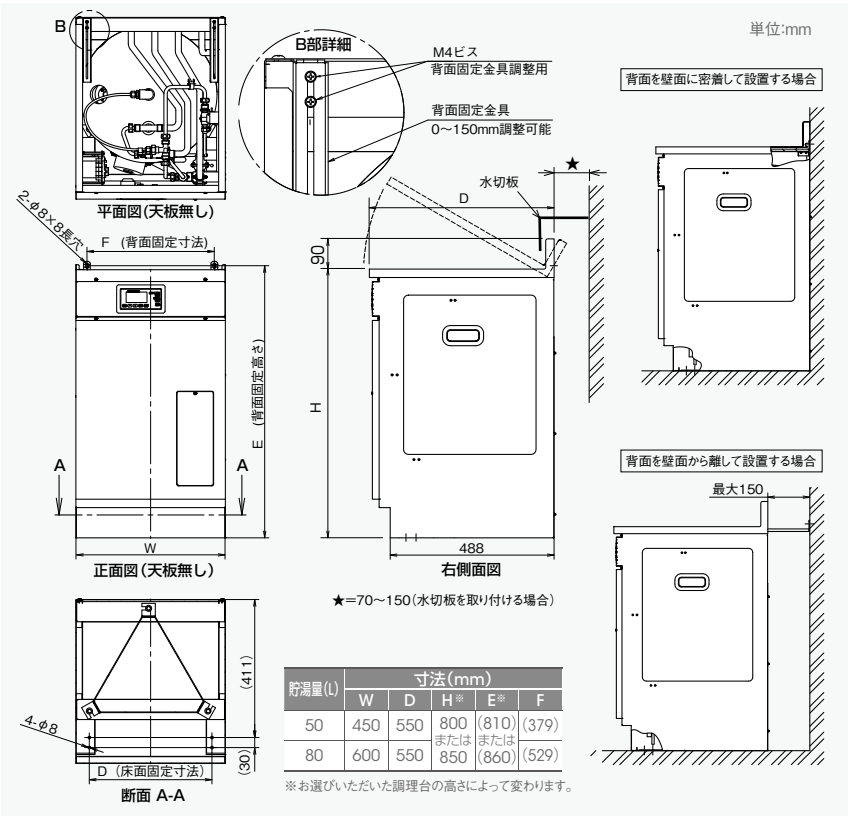
※プラグ表の詳細はP.110

仕様表 ES-DWUBシリーズ

構造	貯湯量(L)	型番	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度範囲(℃)	標準電源※1	標準ヒーター容量(kW)※2	沸き上がり時間(分)※3	安全装置	付属品
密閉	50	ES-50DWUB-LC	38	88	40以下★	0～40★	0.1～0.5	40～95	単相200V	3.1	91	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●異常時主回路遮断	なし
密閉	80	ES-80DWUB-LC	43	123	40以下★	0～40★	0.1～0.5	40～95	単相200V	3.1	145	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●異常時主回路遮断	なし

※1: 電源は標準で単相200Vです。単相100V・三相200V仕様および異電圧は仕様変更にて承ります。 電源コードおよびプラグについては下記「電源コード・プラグについて」をご参照ください。 ※2: ヒーター容量の変更も承ります。(P.110「ヒーター容量変更表」参照) ※3: 水温15℃・沸き上がり温度95℃で算出。 ★:凍結しないこと

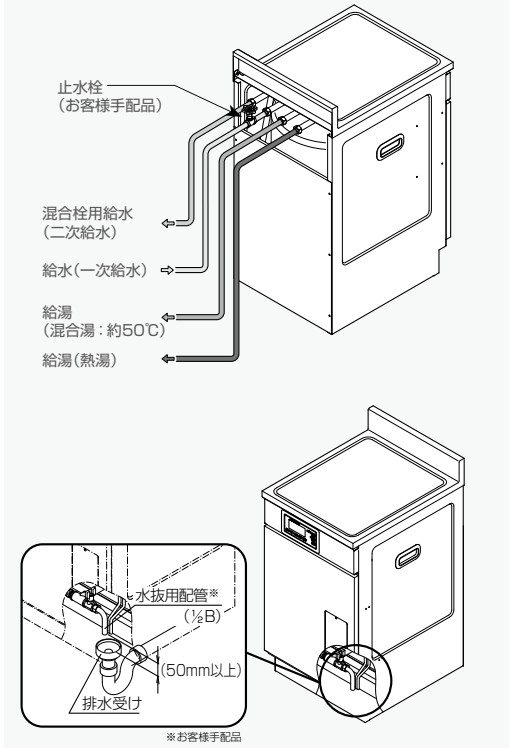
寸法図　ES-DWUB



貯湯量(L)	寸法(mm) W	D	H※	E※	F
50	450	550	800 または 850	(810) または (860)	(379)
80	600	550			(529)

※お選びいただいた調理台の高さによって変わります。

標準配管図



ES-DWUBシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は給湯器の給湯能力に見合った個数にしてください。●給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●負圧にならないよう正しく施工・ご使用ください。●給湯配管の距離は放熱ロスを防ぐためできるだけ短くしてください。(最長で2m程度) ●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。 ●給湯器沸かし上げ中に膨張水が排出されます。水抜口および逃し管は、排水管に直接つながないで間接排水としてください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープ(お客様手配品)を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●混合栓への給水は給湯器の混合栓給水口からお取りください。水道を直接接続すると、湯水の圧力が異なるためスムースに混合できません。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。右記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎=標準ヒーター容量　▼=ヒーター容量ダウン(無料)
△=ヒーター容量アップ　☑=設定なし

シリーズ	標準仕様 電源	単相200V kW 1.1	1.5	2.0	3.1	4.0	5.0
ES-DWUB	貯湯量(L) 50		▼	▼	◎	△	△
	80		▼	▼	◎	△	△

変更費用 ヒーター容量アップ・・・標準ヒーターから1kWアップ毎に¥15,000
ヒーター容量ダウン・・・無料　※詳細はP.110

電源コード・プラグについて

電源コードおよびプラグは標準で付属しておりません。工事の際には本体の電源は一次側に漏電ブレーカーを設けて電源コードを本体後部より引き込み、本体内部の漏電ブレーカーに接続してください。

仕様表 EWS/EWRシリーズ

EWSシリーズ

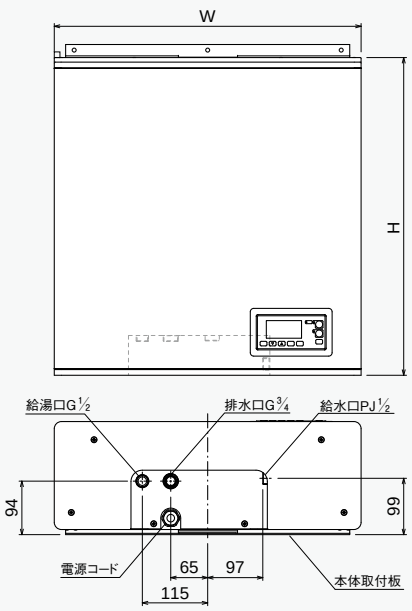
EWRシリーズ

型番	標準電源	ヒーター容量(kW)	貯湯量(L)	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	設定温度範囲(℃)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	構造	安全装置	付属品
EWS20CNN115A0	単相100V	1.5	20	16	36	60〜95+Hi※	40以下★	0〜40★	0.1〜0.3	開放式	●空焚き防止機能 ●異常高温検出機能 ●温度センサー異常検出 ●沸かし上げ異常検出 ●給水異常検出 ●排水異常検出、（自動給排水機能付のみ）	●給湯フレキ管 ½B（120㎜） ●排水フレキ管 ¾B（120㎜） ●本体取付板
EWS20CNN215A0	単相200V											
EWS30CNN115A0	単相100V	1.5	30	18	48							
EWS30CNN220A0	単相200V	2.0										
EWS40CNN115A0	単相100V	1.5	40	20	60							
EWS40CNN230A0	単相200V	3.0										
EWR12BNN107A0	単相100V	0.75	12	11	23							●給湯フレキ管 ½B（120㎜） ●排水フレキ管 ¾B（120㎜） ●本体取付板（ローレットねじ）
EWR12BNN207A0	単相200V											
EWR20BNN115A0	単相100V	1.5	20	12	32							
EWR20BNN215A0	単相200V											
EWR30BNN115A0	単相100V	1.5	30	14	44							
EWR30BNN220A0	単相200V	2.0										
EWR45BNN115A0	単相100V	1.5	45	18	63							
EWR45BNN230A0	単相200V	3.0										
EWR65BNN115A0	単相100V	1.5	65	21	86							
EWR65BNN240A0	単相200V	4.0										

※：Hiとは「Hiモード」のことです。「Hiモード」にすると約98℃までの高温沸し上げが可能です。　★：凍結しないこと

寸法図　EWSシリーズ

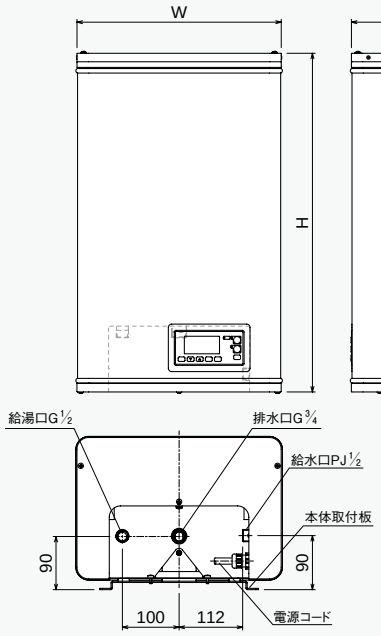
単位:mm



型番	寸法(mm) W	D	H
EWS20	540	190	560
EWS30			693
EWS40			826

寸法図　EWRシリーズ

単位:mm



型番	寸法(mm) W	D	H
EWR12	360	250	480
EWR20			599
EWR30			747
EWR45	450	320	694
EWR65			867

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります（下表参照）。電源コードは0.8m付属します。長さの変更は仕様変更にて承ります。

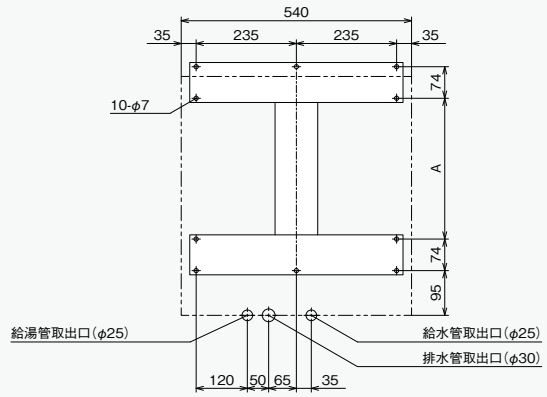
電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント（パナソニック品番）
単相100V	1.1kW以下		125V15A	WF3002EK、WK3001W
	1.5kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
単相200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
	5kW以下		250V30A	WF2330B/W、WK2330

※プラグ表の詳細はP.110

取付寸法図 EWSシリーズ

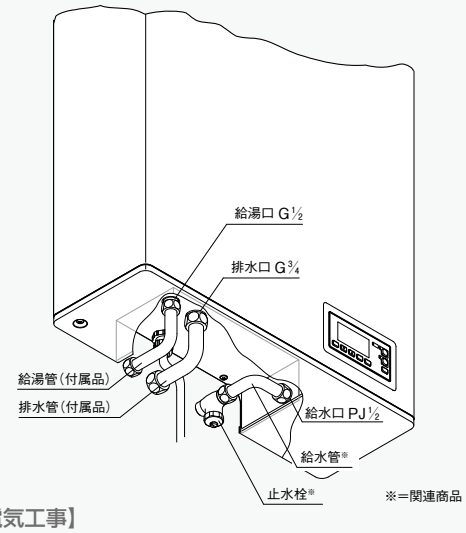
本体取付板寸法および取付例

単位:mm



型番	A
EWS20	330
EWS30	463
EWS40	596

【配管接続】



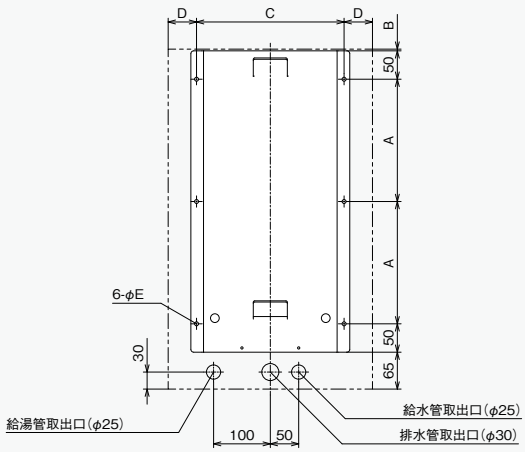
【電気工事】

ご発注の電源·電圧に応じたプラグが付属します(P.63·P110参照)。コード長は0.8mが標準なので、この範囲内にコンセントを設けてください。

取付寸法図 EWRシリーズ

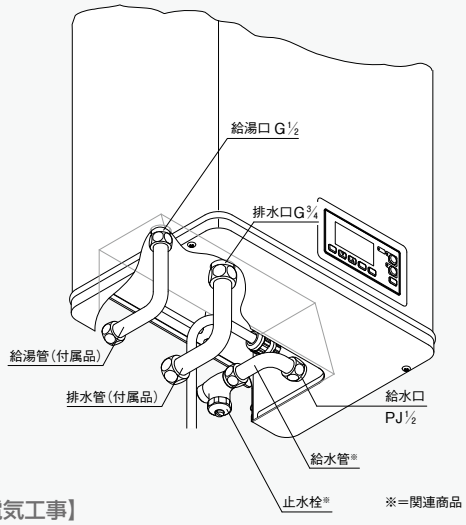
本体取付板寸法および取付例

単位:mm



型番	A	B	C	D	E
EWR12	156	2	260	50	7
EWR20	216	2			
EWR30	290	2			
EWR45	255	19	300	75	9
EWR65	342	19			

【配管接続】



【電気工事】

ご発注の電源·電圧に応じたプラグが付属します(P.63·P110参照)。 コード長は0.8mが標準なので、この範囲内にコンセントを設けてください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。下記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎=標準ヒーター容量 ▼=ヒーター容量ダウン △=ヒーター容量アップ ⊘=設定なし

シリーズ	電源	単相100V			単相200V					
	kW / 貯湯量(L)	0.75	1.5	2.0	0.75	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0
EWS	20	⊘	◎	△	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘
	30	⊘	◎	△	⊘	⊘	◎	△	⊘	⊘
	40	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘	◎	△	⊘
EWR	12	◎	△	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘	⊘
	20	▼	◎	△	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘
	30	⊘	◎	△	⊘	⊘	◎	△	⊘	⊘
	45	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘	◎	△	⊘
	65	⊘	◎	△	⊘	⊘	⊘	⊘	◎	△

変更費用 ヒーター容量アップ…標準ヒーターから1kWアップ毎に¥15,000 ヒーター容量ダウン…無料 ※詳細はP.110

EWS/EWRシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

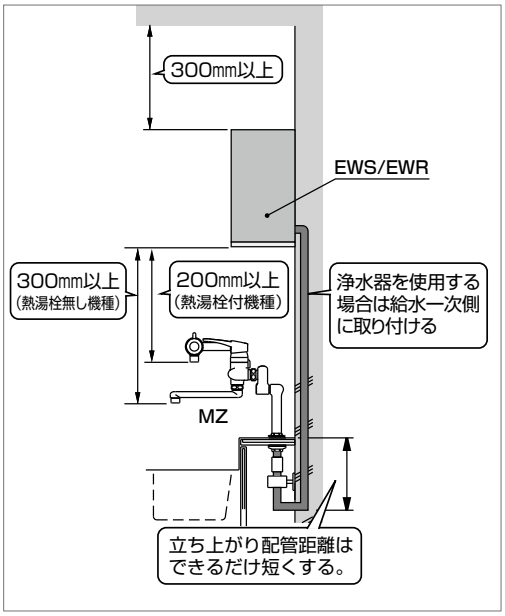
●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●メンテナンススペースとして設置場所上部に30cm以上あることを確認してください。●ガステーブルの上など、高温になる場所では絶対に使用しないでください。●給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。●専用混合栓「まぜまぜ」と組み合わせてご使用ください。一般の混合水栓では湯と水の混合が適切に行えません。●給水源が「タンク以下」であることを確認してください。●水道直結で使用する場合は専用の熱湯専用単水栓（NT－1）を使用いただくか、密閉型給湯器（ESDシリーズ）と専用の熱湯口付混合栓（MZ-N3P）を使用してください。●給湯器底面から給湯口まで一定の距離を取る必要があります。詳細は下図をご参照ください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●全ての配管は機器がいつでも着脱可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●排水口は蒸気抜きを兼ねていますので排水配管の途中をバルブなどでふさがないでください。また、排水は下り勾配とし排水管へ直結せずに排水口空間を取ってください。●排水管に直接排水を行う配管接続にすると、クロスコネクションになるだけでなく排水時の熱湯による熱影響によって配管各接続部より漏水を起こす原因となりますので、排水はシンク（流し）に排水するように配管施工してください。●給湯配管は鳥居配管にしないでください。●給水圧力が0.3MPaを越える場合には、必ず一次側に減圧弁を取り付けてください。（関連商品の『いちじく』をご発注いただくか、別途お客様にてご手配ください）●給湯圧力は落差分しかありません。立ち上がり配管の場合は立ち上がり距離を短くしてください。また、配管内に空気溜りがあるとお湯が出ませんので、空気抜きを行ってください。●給湯配管の横引き距離は落差距離の3倍までにしてください。●給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は必ず壁に固定してください。

【電気工事についての注意事項】

●アース（D種接地）工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。



仕様表 ETC/ETRシリーズ

ETCシリーズ

ETRシリーズ

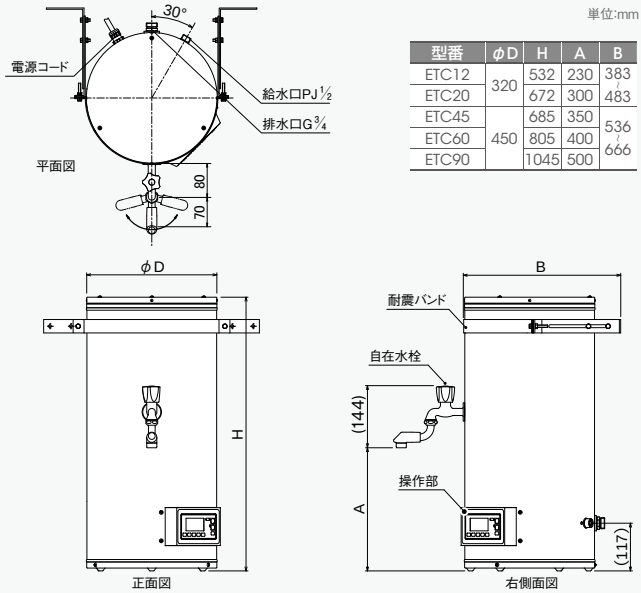
型番	標準電源	ヒーター容量(kW)	貯湯量(L)	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	設定温度範囲(℃)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	構造	安全装置	付属品
ETC12BJS107A0	単相100V	0.75	12	10	22	60〜95+Hi※	40以下★	0〜40★	0.1〜0.3	開放式	●空焚き防止機能 ●異常高温検出機能 ●温度センサー異常検出 ●沸かし上げ異常検出 ●給水異常検出 ●排水異常検出 （自動給排水機能付のみ）	●自在水栓×1（本体取付済） ●耐震バンド
ETC12BJS207A0	単相200V											
ETC20BJS115A0	単相100V	1.5	20	11	31							
ETC20BJS215A0	単相200V											
ETC45BJS115A0	単相100V	1.5	45	17	62							
ETC45BJS220A0	単相200V	2.0										
ETC60BJS115A0	単相100V	1.5	60	20	80							
ETC60BJS230A0	単相200V	3.0										
ETC90BJS115A0	単相100V	1.5	90	23	113							
ETC90BJS240A0	単相200V	4.0										
ETR12BJ□107A0	単相100V	0.75	12	12	24							●自在水栓×1 ●排水フレキ管 ¾B（400㎜） ●固定金具
ETR12BJ□207A0	単相200V											
ETR20BJ□115A0	単相100V	1.5	20	13	33							
ETR20BJ□215A0	単相200V											
ETR30BJ□115A0	単相100V	1.5	30	15	45							
ETR30BJ□220A0	単相200V	2.0										
ETR45BJ□115A0	単相100V	1.5	45	19	64							
ETR45BJ□230A0	単相200V	3.0										
ETR65BJ□115A0	単相100V	1.5	65	22	87							
ETR65BJ□240A0	単相200V	4.0										

※：Hiとは「Hiモード」のことです。「Hiモード」にすると約98℃までの高温沸し上げが可能です。　★：凍結しないこと

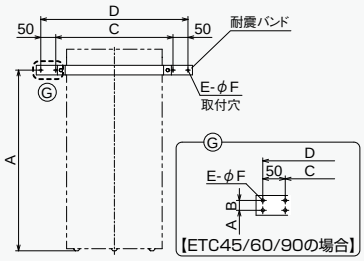
寸法図　ETC

単位:mm

型番	φD	H	A	B
ETC12	320	532	230	383〜483
ETC20		672	300	
ETC45	450	685	350	536〜666
ETC60		805	400	
ETC90		1045	500	

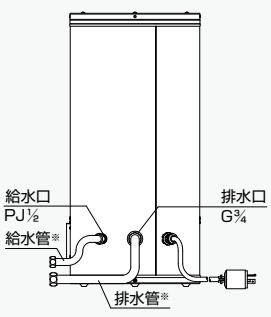


本体取付寸法



型番	A	B	C	D	E	F
ETC12	470	—	392	492	4	7
ETC20	620	—				
ETC45	615	22	515	615	8	9
ETC60	730					
ETC90	960					

【配管接続】

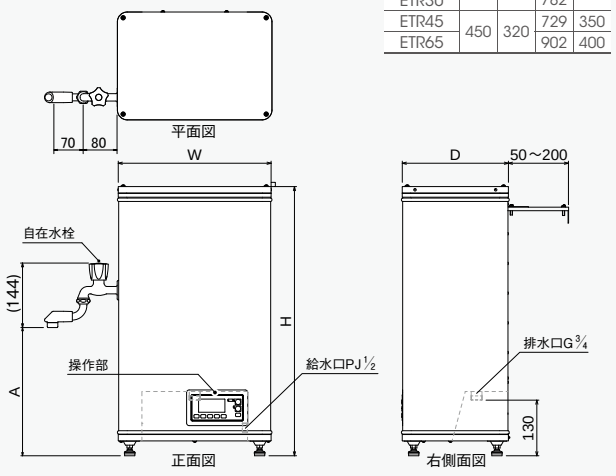


※=お客様手配品

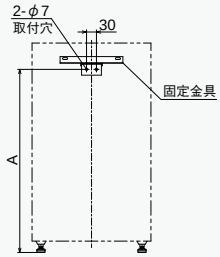
寸法図　ETR

単位:mm

型番	W	D	H	A
ETR12	360	250	515	230
ETR20			634	300
ETR30			782	
ETR45	450	320	729	350
ETR65			902	400

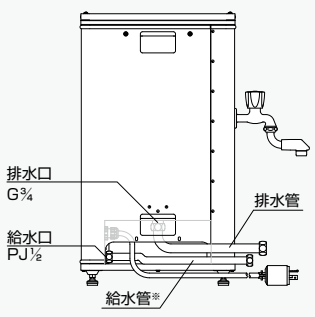


本体取付寸法



型番	A
ETR12	438
ETR20	557
ETR30	705
ETR45	646
ETR65	819

【配管接続】



※=お客様手配品

ETC/ETRシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●全ての配管は機器がいつでも着脱可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●給水圧力が0.3MPaを越える場合には、必ず一次側に減圧弁を取り付けてください。(関連商品の『いちじく』をご発注いただくか、別途お客様にてご手配ください)●排水口は蒸気抜きを兼ねていますので排水配管の途中をバルブなどでふさがないでください。また、排水は下り勾配とし排水管へ直結せずに排水口空間を取ってください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。下記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎＝標準ヒーター容量　▼＝ヒーター容量ダウン(無料)　△＝ヒーター容量アップ　☑＝設定なし

シリーズ	電源	単相100V			単相200V					
	kW / 貯湯量(L)	0.75	1.5	2.0	0.75	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0
ETC	12	◎	△		◎	△				
	20	▼	◎	△		◎	△			
	45		◎	△			◎	△		
	60		◎	△				◎	△	
	90		◎	△					◎	△
ETR	12	◎	△		◎	△				
	20	▼	◎	△		◎	△			
	30		◎	△			◎	△		
	45		◎	△				◎	△	
	65		◎	△					◎	△

変更費用　ヒーター容量アップ・・・標準ヒーターから1kWアップ毎に¥15,000　ヒーター容量ダウン・・・無料

※詳細はP.110

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります(下表参照)。電源コードは1m付属します。長さの変更は仕様変更にて承ります。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相100V	1.1kW以下		125V15A	WF3002EK、WK3001W
	1.5kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
単相200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
	5kW以下		250V30A	WF2330B/W、WK2330

※プラグ表の詳細はP.110

製品仕様　ワクワク WKT-14　製品の特長・価格についてはP.26

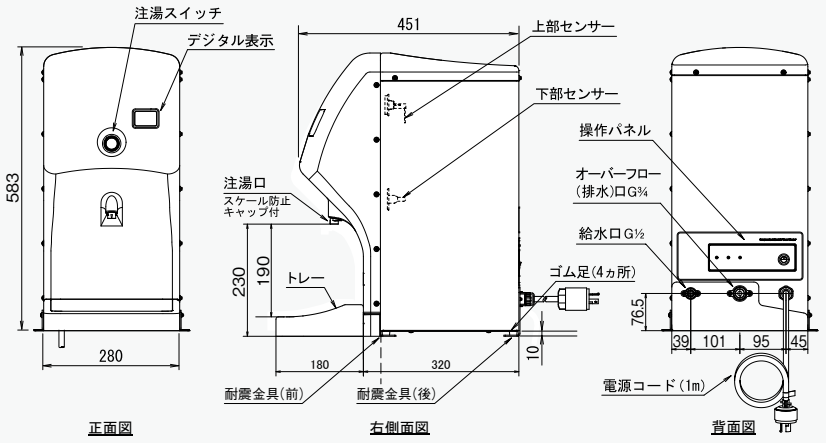
仕様表 WKT-14

構造	給水方式	貯湯量(L)	型番	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度(℃)※1	標準電源 単相100V/単相200V 標準ヒーター容量(kW)	標準電源 単相100V/単相200V 沸き上がり時間(分)※2	安全装置	付属品
開放式	電磁弁(ステップボイル)	14	WKT-14	11	25	40以下★	0〜40★	0.1〜0.5	99	1.5	55	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●異常時主回路遮断 ●オーバーフロー検出 ●温度センサー異常検出	●トレー ●耐震金具(前後)1セット(φ5×16タッピンネジ4本)

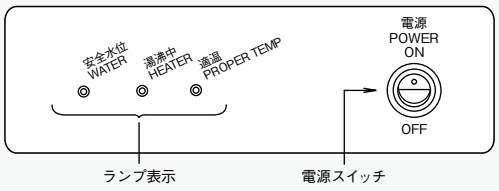
※1: 設定温度の変更はできません。 ※2: 水温15℃・沸き上がり温度99℃で算出。 ★: 凍結しないこと

寸法図 WKT-14

単位:mm



操作パネル



ランプ表示色
安全水位:オレンジ
湯沸中:赤
適温:緑

ワクワク WKT-14 断続出湯試験について

【試験条件】
水温:16.8℃ 湯沸温度:99℃
出湯方法:約2L/分にて10秒出湯後、アイドリング20秒
1回毎の出湯量…平均360ml(300〜400ml·約カップ麺1杯分)

【試験内容】
上記出湯条件にて出湯温度が90℃以下になる、もしくは湯切れ(注湯スイッチを押しても湯が出ない状態)になるまで断続出湯。
出湯パターンを略図で表すと図-1のようになります。

【測定結果】
上記試験にて50回目まで断続出湯可能であることを確認しました。(図-2)
よって、

360ml×50回=18,000ml(18L)

断続して18L給湯しても、90℃以上の湯温が確保されることを確認しました。

図-1

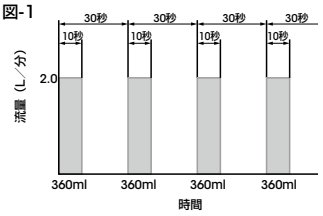
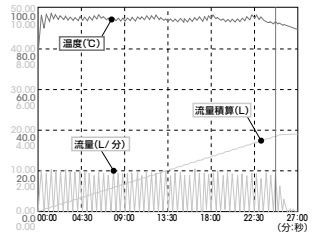
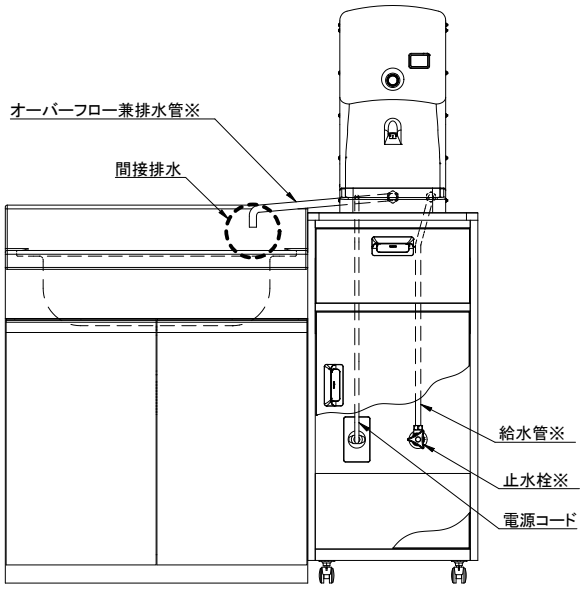


図-2



配管施工例



※=お客様手配品

WKT-14 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】
●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】
●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●全ての配管は機器がいつでも着脱可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●排水口は蒸気抜きを兼ねていますので排水配管の途中をバルブなどでふさがないでください。また、排水は下り勾配とし排水管へ直結せずに排水口空間を取ってください。●給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は必ず壁に固定してください。●規定の給水圧力でご使用ください。給水圧が高い(0.5MPa を超える)場合は、必ず減圧弁をつけてください。

【電気工事についての注意事項】
●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

電源コード・プラグについて

電源コード長は1.0mです。長さは仕様変更にて承ります。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相100V/200V	1.5kW以下	◯	250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W

仕様表 ESNシリーズ

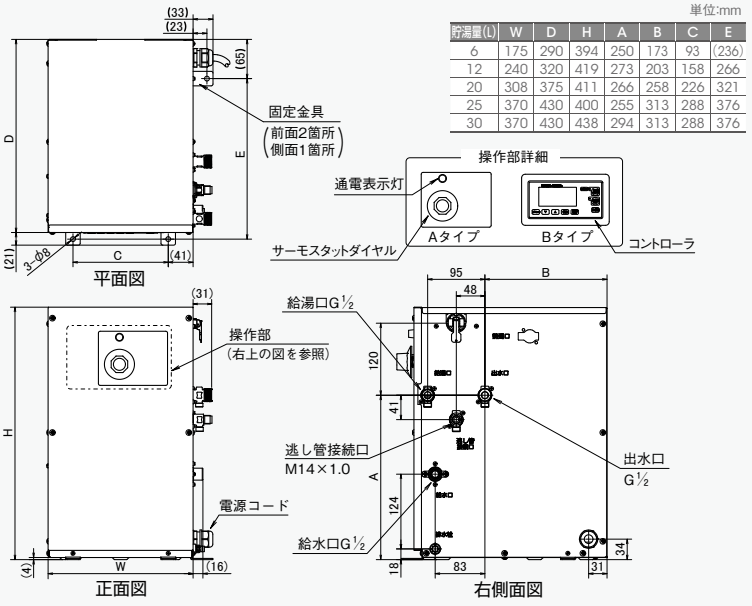
Aタイプ

Bタイプ

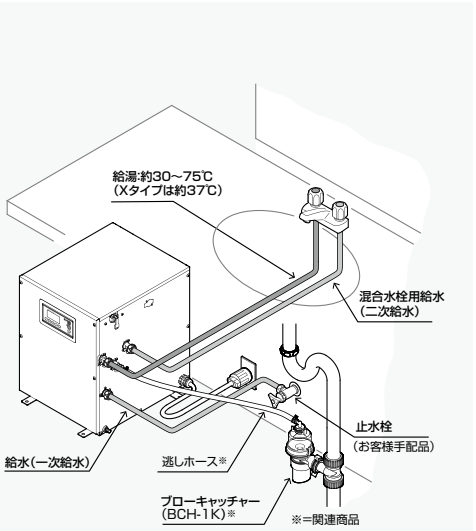
構造	貯湯量(L)	型番	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度範囲(℃)	標準電源※1 単相100V 標準ヒーター容量(kW)※2	単相100V 沸き上がり時間(分)※3	単相200V 標準ヒーター容量(kW)※2	単相200V 沸き上がり時間(分)※3	安全装置	付属品
密閉	6	ESN06(A/B)R(N/X)111B0	7	13	40以下★	0～40★	0.1～0.5	30～75	1.1	23	—	—	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●温度センサー異常検出（Bタイプのみ）	●本体固定金具
		ESN06(A/B)R(N/X)211B0							—	—	1.1	23		
	12	ESN12(A/B)R(N/X)111B0	9	21					1.1	46	—	—		
		ESN12(A/B)R(N/X)215B0							—	—	1.5	34		
	20	ESN20(A/B)R(N/X)111B0	10	30					1.1	77	—	—		
		ESN20(A/B)R(N/X)220B0							—	—	2.0	42		
	25	ESN25(A/B)R(N/X)111B0	11	36					1.1	96	—	—		
		ESN25(A/B)R(N/X)220B0							—	—	2.0	53		
	30	ESN30(A/B)R(N/X)111B0	14	44					1.1	115	—	—		
		ESN30(A/B)R(N/X)220B0							—	—	2.0	63		

※1: 電源は標準で単相100Vと単相200Vからお選びいただけます。三相200V仕様および異電圧は仕様変更にて承ります。電源コードおよびプラグについては下記「電源コード・プラグについて」をご参照ください。
※2: ヒーター容量の変更も承ります。(P.110「ヒーター容量変更表」参照)　※3: 水温15℃・沸き上がり温度75℃で算出。　★：凍結しないこと

寸法図　ESN



標準配管図



ESNシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●負圧にならないよう正しく施工・ご使用ください。●給湯配管の距離は放熱ロスを防ぐためできるだけ短くしてください。(最長で2m程度) ●温水器沸かし上げ中に膨張水が排出されます。膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は温水器の給湯能力に見合った個数にしてください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。下記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎＝標準ヒーター容量　▼＝ヒーター容量ダウン(無料)
△＝ヒーター容量アップ　☑＝対応不可

シリーズ	標準仕様							
	電源	単相 100V			単相 200V			
	貯湯量(L) ＼ kW	0.5	0.7	1.1	1.1	1.5	2.0	3.1
ESN	6	▼	▼	◎	◎	／	／	／
	12	▼	▼	◎	▼	◎	／	／
	20	▼	▼	◎	▼	▼	◎	△
	25	／	／	◎	／	▼	◎	△
	30	／	／	◎	／	▼	◎	△

変更費用　ヒーター容量アップ・・・標準ヒーターから1kWアップ毎に¥15,000
ヒーター容量ダウン・・・無料　　※詳細はP.110

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります(下表参照)。電源コードは標準で1mです。長さの変更は仕様変更にて承ります。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相100V	1.1kW以下		125V15A	WF3002EK、WK3001W
単相200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W

※プラグ表の詳細はP.110

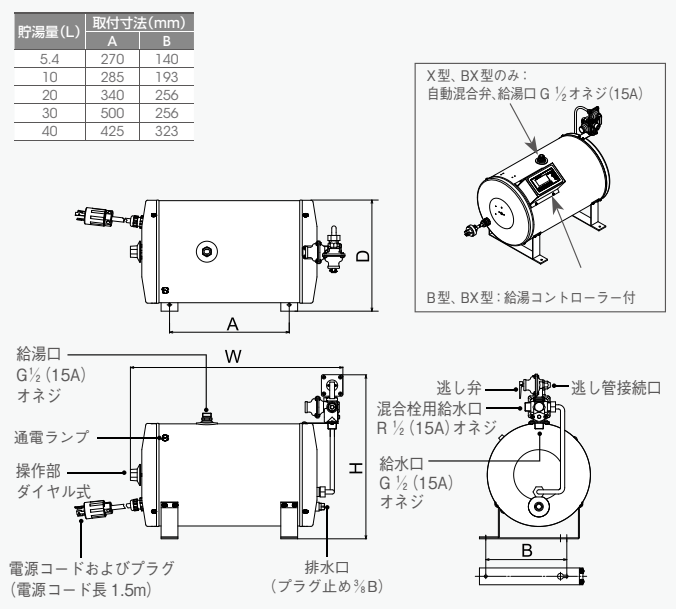
仕様表 ES-N3シリーズ

構造	貯湯量(L)	型番	寸法(mm) W	D	H	質量(kg) 本体質量	満水質量	設定温度範囲(℃)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	標準電源※1 単相100V 標準ヒーター容量(kW)※2	沸き上がり時間(分)※3	単相200V 標準ヒーター容量(kW)※2	沸き上がり時間(分)※3	安全装置	付属品
密閉	5.4	ES-VN3	537	212	350	7.6	13	30〜75	40以下★	0〜40★	0.1〜0.5	1.1	21	1.1	21	●空焚き検出 ●過昇温検出	φ8逃し銅管（本体取付済）
		ES-VN3B	510														
		ES-VN3X	559														
		ES-VN3BX	532														
	10	ES-10N3	507※4	265	393	9	19					1.1	39	1.1	39		
		ES-10N3B	480※4														
		ES-10N3X	529※4														
		ES-10N3BX	502※4														
	20	ES-20N3	585	328	472	13	33					1.5	56	1.5	56		
		ES-20N3B	558														
		ES-20N3X	607														
		ES-20N3BX	580														
	30	ES-30N3	745	328	472	15	45					1.5	84	2.0	63		
		ES-30N3B	718														
		ES-30N3X	767														
		ES-30N3BX	740														
	40	ES-40N3	685	400	549	18	58					1.5	112	3.1	55		
		ES-40N3B	658														
		ES-40N3X	707														
		ES-40N3BX	680														

※1: 電源は標準で単相100Vと単相200Vからお選びいただけます。三相200V仕様および異電圧は仕様変更にて承ります。電源コードおよびプラグについては下記「電源コード・プラグについて」をご参照ください。
※2: ヒーター容量の変更も承ります。(P.110「ヒーター容量変更表」参照)　※3: 水温15℃・沸き上がり温度75℃で算出。※4: ES-10N3を仕様変更で三相200Vおよび単相200V3.1kWに変更した場合は、W寸が50mm長くなります。　★:凍結しないこと

寸法図　ES-N3

貯湯量(L)	取付寸法(mm) A	B
5.4	270	140
10	285	193
20	340	256
30	500	256
40	425	323



※W・D・Hの寸法は上記仕様表をご参照ください。

ES-N3シリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●負圧にならないよう正しく施工・ご使用ください。●給湯配管の距離は放熱ロスを防ぐためできるだけ短くしてください。(最長で2m程度)　●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。●温水器沸かし上げ中に膨張水が排出されます。膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は温水器の給湯能力に見合った個数にしてください。

【電気工事についての注意事項】

●アース（D種接地）工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

ヒーター容量変更

標準のヒーター容量からアップおよびダウンができます。アップすると沸き上がり時間が早くなります。下記ヒーター表をご参照ください。

【凡例】◎=標準ヒーター容量　▼=ヒーター容量ダウン(無料)
△=ヒーター容量アップ　☑=対応不可

シリーズ	標準仕様 電源	単相100V 1.1kW	1.5kW	2.0kW	単相200V 1.1kW	1.5kW	2.0kW	3.1kW	4.0kW	5.0kW
ES-N3	5.4	◎	△	△	◎	△	△	△	／	／
	10	◎	△	△	◎	△	△	△	／	／
	20	▼	◎	△	▼	◎	△	△	／	／
	30	▼	◎	△	▼	▼	◎	△	△	△
	40	▼	◎	△	▼	▼	▼	◎	△	△

変更費用　ヒーター容量アップ・・・標準ヒーターから1kWアップ毎に¥15,000
ヒーター容量ダウン・・・無料　※詳細はP.110

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります（下表参照）。電源コードは標準で1.5mです。長さの変更は仕様変更にて承ります。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相100V	1.1kW以下		125V15A	WF3002EK、WK3001W
	1.5kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
単相200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
	5kW以下		250V30A	WF2330B/W、WK2330

※プラグ表の詳細はP.110

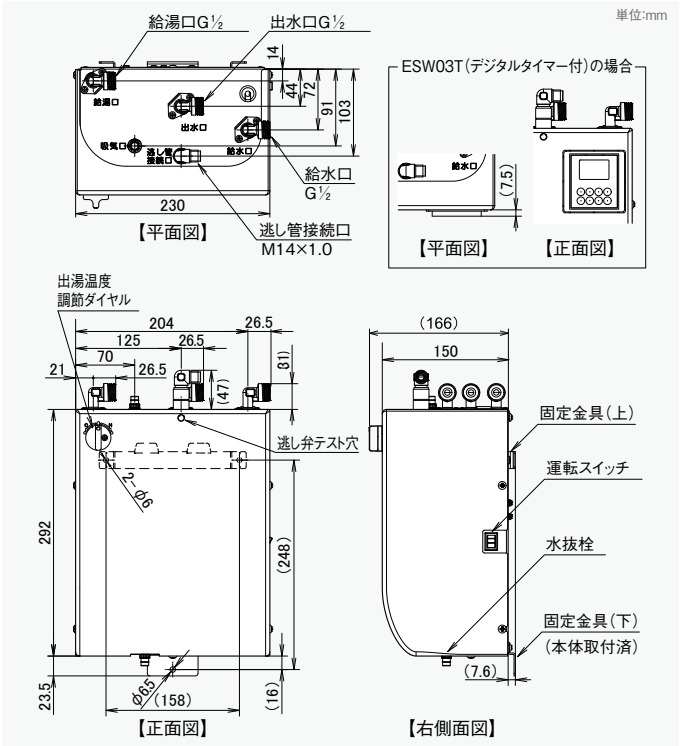
製品仕様　ESW03A/03T　製品の特長・価格についてはP.31

仕様表 ESW03A/03T

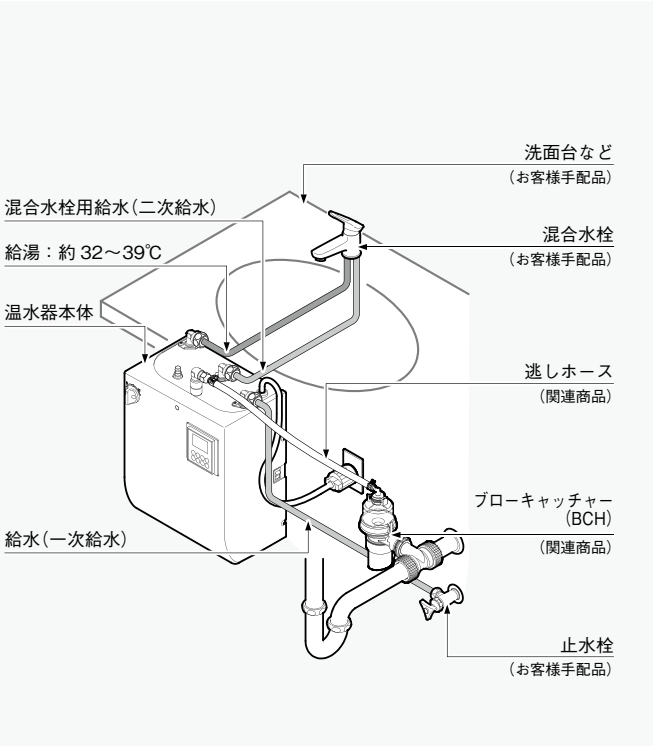
型番	構造	貯湯量(L)	タイマー	満水質量(kg)	減圧弁(kPa)	逃し弁(kPa)	最高使用圧力(MPa)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度(℃)※1	出湯温度(℃)	標準電源 単相100V/200V 標準ヒーター容量(kW)	標準電源 単相100V/200V 沸き上がり時間(分)※2	安全装置	付属品
ESW03ATX106B0	密閉式	約3	—	約6.2	85	97	0.1	30以下★	0～40★	0.1～0.5	75	約32～39	0.6	18	●空焚き検出 ●過昇温検出	●固定金具(上)×1
ESW03ATX206B0																
ESW03TTX106B0			○	約6.5												
ESW03TTX206B0																

※1: 設定温度・出湯温度の変更はできません。
※2: 水温15℃・沸き上がり温度75℃で算出。　★:凍結しないこと

寸法図



標準配管図



ESW03A/03T 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●負圧にならないよう正しく施工・ご使用ください。●給湯配管の距離は放熱ロスを防ぐためできるだけ短くしてください。(最長で2m程度) ●全ての配管は袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。●膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。●配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。

電源コード・プラグについて

プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります(下表参照)。電源コードは標準で0.8m付属します。長さは仕様変更にて承りますのでご相談ください。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント(パナソニック品番)
単相100V	0.6kW		125V15A	WF3002EK、WK3001W
単相200V			250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W

※プラグ表の詳細はP.110

仕様表 EWM-14

構造	貯湯量(L)	型番	満水質量(kg)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	設定温度(℃)	標準電源 単相100V 標準ヒーター容量(kW)※1	標準電源 単相100V 沸き上がり時間(分)※1	安全装置	付属品
開放式	14	EWM-14	23	40以下★	0～40★	0.1～0.5	たっぷり(高温):約85℃ 省エネ(中温):約65℃	0.701	たっぷり(高温):約98分 省エネ(中温):約70分	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●過電圧保護※2 ●漏電検出※2 ●ロック式温度調節ハンドル	●フレキシブル出湯管400mm(断熱シリコンチューブ付)×1 ●ビニールホース×1 ●ホースバンド×1 ●本体取付金具×1 ●木ネジ×5

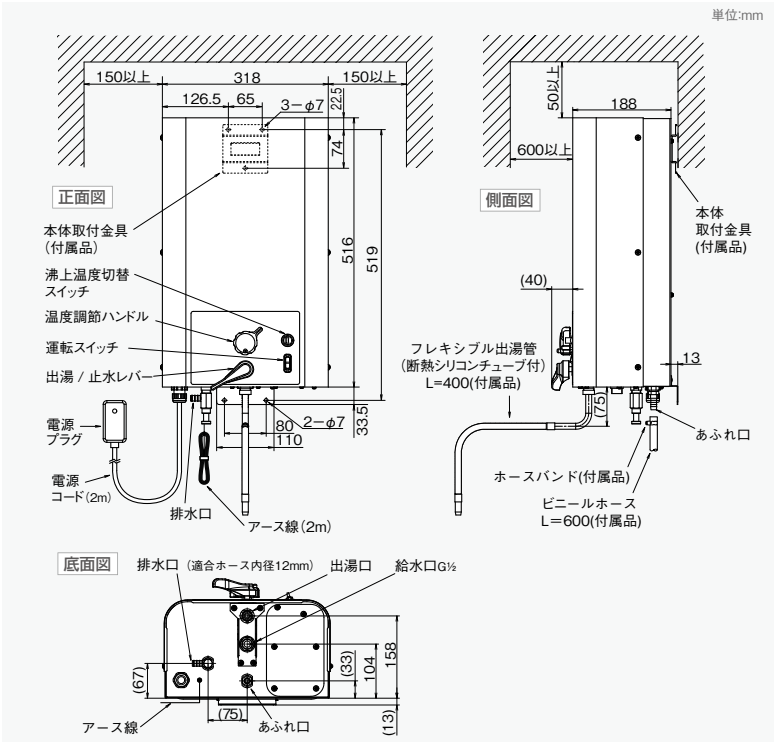
※1: 水温15℃で算出
※2: 過電圧保護と漏電検出は電源プラグ付属の機能
★: 凍結しないこと

電源コード・プラグについて

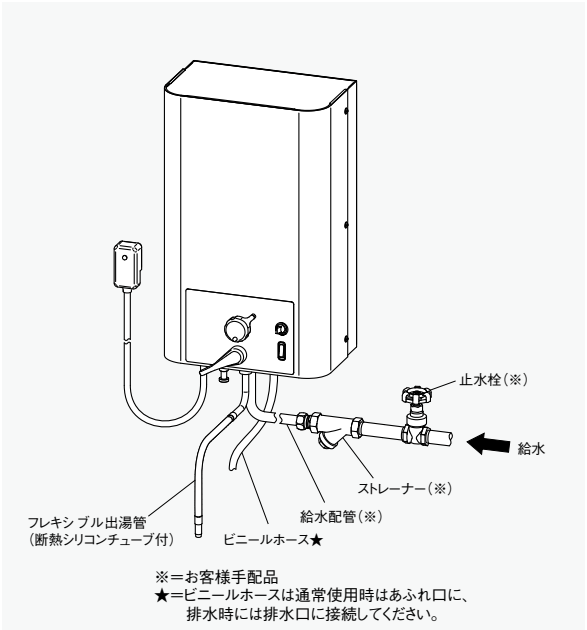
電源コード長は2mです。長さは変更できません。

電源	プラグ形状
AC125V 15A	

取付寸法図

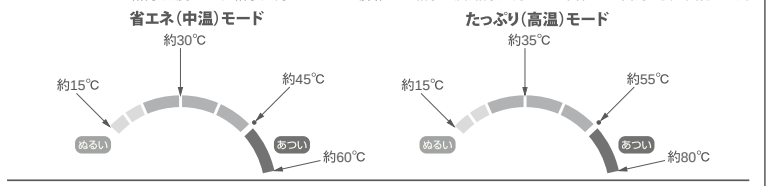


標準配管図



※=お客様手配品
★=ビニールホースは通常使用時はあふれ口に、排水時には排水口に接続してください。

出湯温度の目安(給水温度15℃、給水圧力0.1MPaの場合)　※給水温度、給水圧力などの条件により出湯温度は変化します。



連続出湯可能時間
給水温度15℃、出湯温度40℃で出湯した場合
省エネ(中温)モード:約8分、たっぷり(高温)モード:約11分

簡単操作の i HOT14

EWM-14 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●ガステーブルの上など、高温になる場所では絶対に使用しないでください。●温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●全ての配管は機器がいつでも着脱可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。●排水口は蒸気抜きを兼ねていますので排水配管の途中をバルブなどでふさがないでください。また、排水は下り勾配とし排水管へ直結せずに排水口空間を取ってください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。

出湯能力についてのご注意

■本製品は瞬間湯沸器と異なる「貯湯式」のため、連続して使っていただける湯量は40℃のお湯を出した場合約40L、約3.5L/分の出湯で約11分(85℃沸かし上げの場合)・約8分(65℃沸かし上げの場合)※です。
■水から沸かし上げた場合、約98分(85℃沸かし上げの場合)・約70分(65℃沸かし上げの場合)かかります※。連続出湯などでお湯を使いきった場合には水が出ます。再度お湯を使用する際は同様の沸かし上げ時間が必要になります。　※給水温度は15℃で計算。

仕様表 EI-N5/DE-N1/EIC-05A0

製品外観								
型番	EI-10N5	EI-15N5	EI-20N5	EI-30N5	EI-40N5	DE-10N1	DE-15N1	EIC-05A0
標準電源	三相200V					三相200V		単相200V
電源ケーブル(m)	なし					なし		0.6
ヒーター容量(kW)	10.1	15.0	20.0	30.0	40.0	10.1	15.0	5.0
定格電流(A)	29.2	43.3	57.7	86.6	115.5	29.2	43.3	25.0
発生熱量(MJ/h)	36.4	54.0	72.0	108.0	144.0	36.4	54.0	18.0
号数換算	5.7	8.6	11.5	17.2	22.9	5.7	8.6	2.9
給湯温度(℃)	約60					約50		ECO: 約35 COMFORT: 約38 MAX: 約45
使用流量範囲(L/分)	約3～25					約3～25		約1.5～5.0
満水質量(kg)	15.5			23.5		8		約1.5
給水圧力(MPa)	0.1～0.4					0.1～0.4		0.1～0.4
寸法(W×D×H、mm)	400×141×551			500×141×551		226×114.5×460		186×87×135
一次側使用水温(℃)	0～35★					0～35★		35以下★
使用雰囲気温度(℃)	0～40★					0～40★		0～40★
安全装置	空焚き検出、過昇温検出、漏電検出、異常時主回路遮断、温度センサー異常検出					空焚き検出、過昇温検出、漏電検出、異常時主回路遮断、温度センサー異常検出		過昇温検出、異常時主回路遮断、温度センサー異常検出
仕様変更	可能					不可		不可
付属品	●安全弁(R¾、0.5MPa、吹出し口Rc½)					●安全弁(0.5MPa、吹出し口Rc½) ●逆止弁 ※安全弁・逆止弁とも本体組込済		●本体取付具 ●木ネジ×2 ●ナイロンプラグ×2 ●ドレインホルダー ●安全弁(1.0MPa) ●逆止弁 ※安全弁・逆止弁とも本体組込済
お客様手配品	混合水栓、ストレーナー、止水栓、配管類、漏電ブレーカ(0.1秒・30mA)、逆止弁					混合水栓、ストレーナー、止水栓、配管類、漏電ブレーカ(0.1秒・30mA)		

★：凍結しないこと

EI-N5出湯量

		EI-10N5	EI-15N5	EI-20N5	EI-30N5	EI-40N5
60℃出湯時	水温 5℃	※	3.9L／分	5.2L／分	7.8L／分	10.4L／分
	水温15℃	3.2L／分	4.8L／分	6.4L／分	9.6L／分	12.7L／分
	水温25℃	4.1L／分	6.1L／分	8.2L／分	12.3L／分	16.4L／分

※EI-10N5は水温5℃では60℃を給湯できません。最高で53.3℃(3L/分)となります。

DE-10/15N1出湯量

		DE-10N1	DE-15N1
50℃出湯時	水温 5℃	3.2L／分	4.8L／分
	水温15℃	4.1L／分	6.1L／分
	水温25℃	5.8L／分	8.6L／分

EIC-05A0出湯量

		EIC-05A0
ECOモード時	水温 5℃	2.4L／分
	水温15℃	3.6L／分
	水温25℃	5.0L／分
COMFORTモード時	水温 5℃	2.2L／分
	水温15℃	3.1L／分
	水温25℃	5.0L／分
MAXモード時	水温 5℃	1.8L／分
	水温15℃	2.4L／分
	水温25℃	3.6L／分

瞬間式ご使用の際の流量について

瞬間式はご使用になられる湯の流量が少な過ぎると通電せず、多過ぎると湯温が下がります。必ずP.34出湯能力グラフを参照し、ご使用になる出湯量に適合する製品をお選びください。

使用水温および昇温器としてのご使用について

必ず仕様表に記載した給水温度の範囲内でご使用ください。故障の原因になります。また、ブースターや循環の昇温器としてのご使用はできません。
(ブースターや循環の昇温器には当社のEILをご検討ください。)

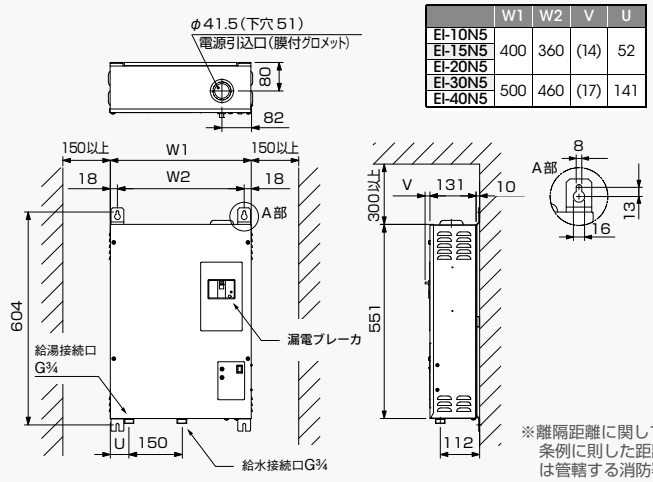
※複数台を直列や並列にしてお使いいただくことはできません。

EI-N5

寸法図

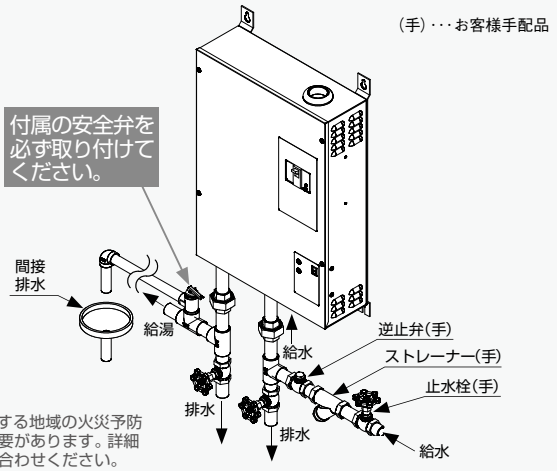
単位:mm

	W1	W2	V	U
EI-10N5	400	360	(14)	52
EI-15N5				
EI-20N5				
EI-30N5	500	460	(17)	141
EI-40N5				



※離隔距離に関しては、設置する地域の火災予防条例に則した距離を取る必要があります。詳細は管轄する消防署にお問い合わせください。

標準配管図

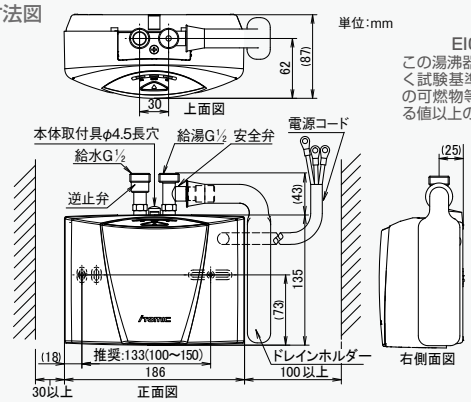


●製品の上下左右を上図と異なる向きで設置しないでください。●電源線の太さは電流値により適切な太さをお選びください。●工事の際は所定の位置にアースを取り付け、膜付グロメットに切り込みを入れ電源線を引き込んでください。電源線が入らない場合は膜付グロメットを外してください。●電源線引き込みの際、盤内に切り粉を絶対に落とさないでください。故障の原因になります。●一次側の引き込み線は共締めで正しく接続してください。●前方にメンテナンススペースとして600mmお取りください。

EIC-05A0

寸法図

単位:mm



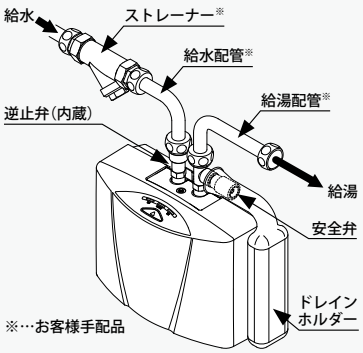
EIC-05A0の離隔距離

この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

場所	離隔距離
上方	0cm
左方	0cm
右方	0cm
前方	0cm
後方	0cm
下方	0cm

消防法適合基準組込形

標準配管図



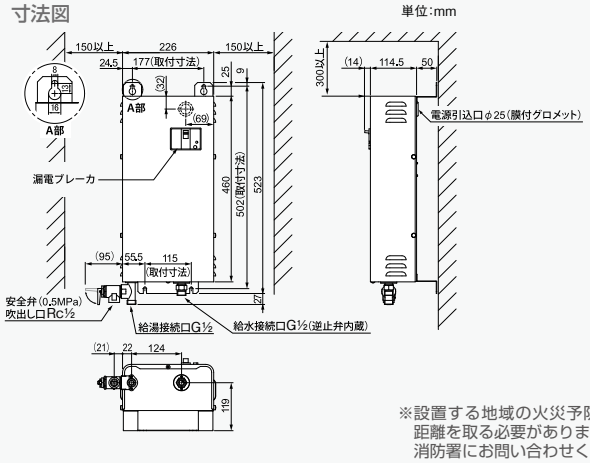
●給水一次側にストレーナー・止水栓を施工してください。(ストレーナーと止水栓はお客様手配品となります)
●自動水栓のご使用については事前に水栓メーカーにお問い合わせください。
●給水圧力が0.4MPaを超える場合※には当社の減圧弁「いちじく(iJG-K)」を併せてお使いください(関連商品)

※iJG-Kの最高使用圧力は0.75MPaです。

DE-10/15N1

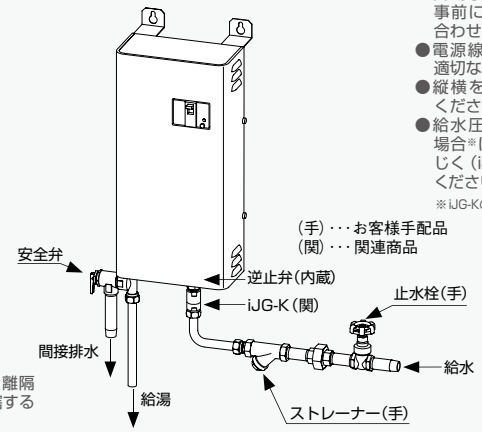
寸法図

単位:mm



※設置する地域の火災予防条例に則した離隔距離を取る必要があります。詳細は管轄する消防署にお問い合わせください。

標準配管図



●自動水栓のご使用については事前に水栓メーカーにお問い合わせください。
●電源線の太さは電流値により適切な太さをお選びください。
●縦横を逆にして使用しないでください。
●給水圧力が0.4MPaを超える場合※には当社の減圧弁「いちじく(iJG-K)」を併せてお使いください(関連商品)

※iJG-Kの最高使用圧力は0.75MPaです。

EI/DE/EIC 瞬間式シリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置場所についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。(EI-N5屋外設置型を除く) ●湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。●床面に防水、排水処理を施してください。●設置場所にメンテナンススペースが取れることを確認してください。●離隔距離に関しては、設置する地域の火災予防条例に則した距離を取る必要があります。詳細は管轄する消防署にお問い合わせください。

【配管工事についての注意事項】

●水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。●給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。●配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。●全ての配管は機器がいつでも着脱可能な状態にしてください。●給湯配管は鳥居配管にしないでください。また、配管距離は最長で6m以内としてください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●給湯側の配管途中に必ず安全弁(付属品)を取り付け、動作を確認してください。(EI-N5シリーズ)●本体に取り付けられている安全弁、逆止弁は絶対に取り外さないでください。(DE-10/15N1・EIC-05A0)●給水側には逆止弁(EI-N5シリーズ)・ストレーナー・止水栓を取り付けてください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。●結線部は正しく、ゆるみがないように配線作業をしてください。

製品仕様　ES-RM/RMK/CMシリーズ　製品の特長・価格についてはP.37

仕様表 ES-RM/RMKシリーズ

ES-RMKシリーズのみリモコンを標準装備しています

形状	区分		構造	型番	貯湯量(L)	満水質量(kg)	給湯圧力(MPa)	給水圧力(MPa)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	最高使用圧力(MPa)	電源	ヒーター容量(kW)	設定温度(℃)※3	沸き上がり時間(分)※4	配管口径	安全装置	付属品
角型	通電制御型※1	標準圧力型	密閉式	ES-150RM	150	189	0.08	0.1〜0.5	40以下★	0〜40★	0.1	単相200V	2.4	「多め」約90 「おまかせ」約60〜90	328	給水：R¾ 給湯：R¾ 排水：Rc¾	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●漏電検出	●脚部カバー ●上部固定金具
				ES-200RM	200	246									437			
				ES-370RM	370	436	0.085						4.4	「多め」約85 「少なめ」約65 「おまかせ」約65〜85	411			●上部固定金具
				ES-460RM	460	536							5.4		417			
				ES-560RM	560	641							6.4		428			
		高圧力型※2		ES-370RMK	370	436	0.15	0.2〜0.5			0.2		4.4		411			●Sリモコン ●上部固定金具
				ES-460RMK	460	536							5.4		417			
				ES-560RMK	560	641							6.4		428			

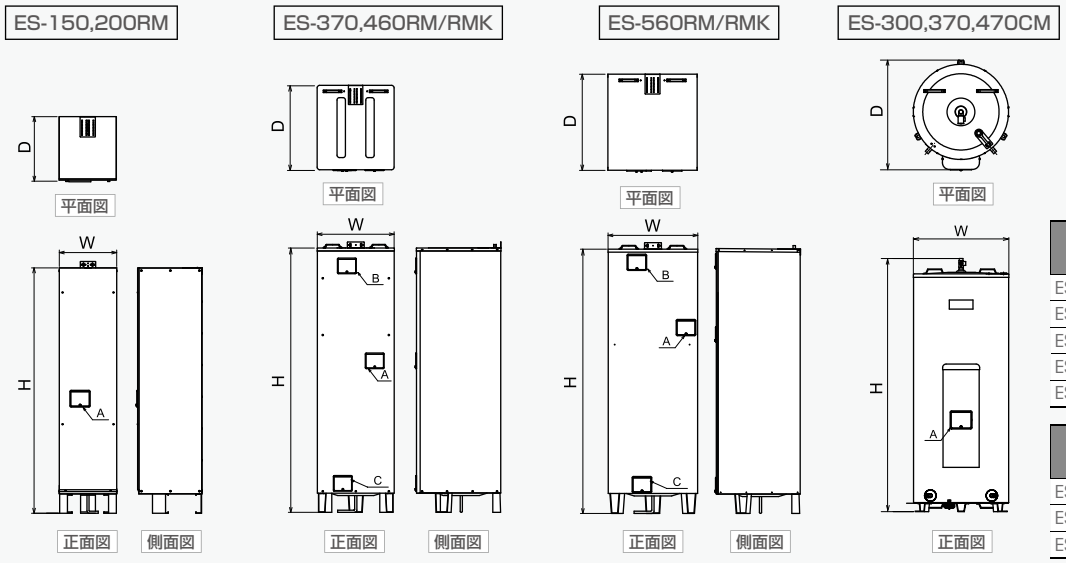
仕様表 ES-CMシリーズ

リモコンは標準装備していません

形状	区分		構造	型番	貯湯量(L)	満水質量(kg)	給湯圧力(MPa)	給水圧力(MPa)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	最高使用圧力(MPa)	電源	ヒーター容量(kW)	設定温度(℃)※3	沸き上がり時間(分)※4	配管口径	安全装置	付属品
丸型	通電制御型	標準圧力型	密閉式	ES-300CM	300	350	0.085	0.1〜0.5	40以下★	0〜40★	0.1	単相200V	3.4	「多め」約85 「少なめ」約65 「おまかせ」約65〜85	431	給水：R¾ 給湯：R¾ 排水：R¾	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●漏電検出	—
				ES-370CM	370	425							4.4		411			
				ES-470CM	470	537							5.4		417			

※1: 全シリーズ通電制御型ですが、リモコンを接続すると時間帯別電灯対応型としてもご使用いただけます。時間帯別電灯型としてご使用の場合はご注文の際、必ず担当者にその旨をお申し付けください。
※2: ES-RMKを業務用でご使用の場合は小型ボイラー扱いとなりますので、ご注意ください。
※3: ES-150/200RMは沸かし上げ温度90℃・給水温度15℃で算出、それ以外は沸かし上げ温度85℃・給水温度15℃で算出。
※4: リモコンを取り付けていない場合は沸き上げ温度のみ「沸き上げ温度設定スイッチ」にて温度調整可能です。いずれの機種も「多め」「おまかせ」のみの設定になります。　★：凍結しないこと

寸法図



角型	寸法(mm)		
	W	D	H
ES-150RM	445	500	1900
ES-200RM	545		
ES-370RM/RMK	640	705	1860
ES-460RM/RMK			2200
ES-560RM/RMK	720	775	2120

丸型	寸法(mm)		
	W	D	H
ES-300CM	φ600	705	1779
ES-370CM	φ686	788	1818
ES-470CM	φ730	841	1806

ES-RM/RMK/CMシリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●屋外に設置しないでください。●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●温水器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面にアンカーボルトで必ず水平に設置してください。●湿気の多い場所に製品を設置しないでください。●メンテナンススペースを確保してください。●本体より低い場所への給湯、および給湯加圧ポンプのご使用はおやめください。●浄化槽の近くには据え付けないでください。●結露防止のため通気口を設け密閉室にしないでください。●据え付け寸法については事前にお渡しする資料をご確認ください。 ◆リモコン付き製品のみ:リモコンを浴室など湿度の高い場所、屋外など雨の当たる場所、ガステーブルの上など高温になる場所に取り付けないでください。

【電気工事についての注意事項】

●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。◆リモコン付き製品のみ：リモコンケーブルの接続は、必ず本体漏電ブレーカの電源スイッチを「切」(OFF)にしてから行ってください。

【配管工事についての注意事項】

●負圧にならないよう正しく施工、ご使用ください。●配管工事は標準配管図に従ってください。●鳥居配管をすると、配管途中にエアー溜まりを生じますので避けてください。●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●排水管の落差は30cm以上にしないでください。●全自動洗濯機に直接給湯はできません。●給水管にはライニング鋼管を使用してください。●絶縁パイプは万一の感電を防止するものです。必ず接続してください。●シングルレバー混合栓を使用する際、水撃(ウォーターハンマー)現象が発生する場合には、水撃防止装置の取り付けが必要となります。●各配管接続口にはユニオン継手を使用し、給水配管の途中には必ず温水器専用の止水栓を設けてください。●給湯温度が高温となるため、必要に応じてミキシングバルブを設置してください。

◆**ES-CMシリーズ**：逃し弁・減圧弁は付属していないため、必ず取り付けてください。

製品仕様　ES-150/200RB-T

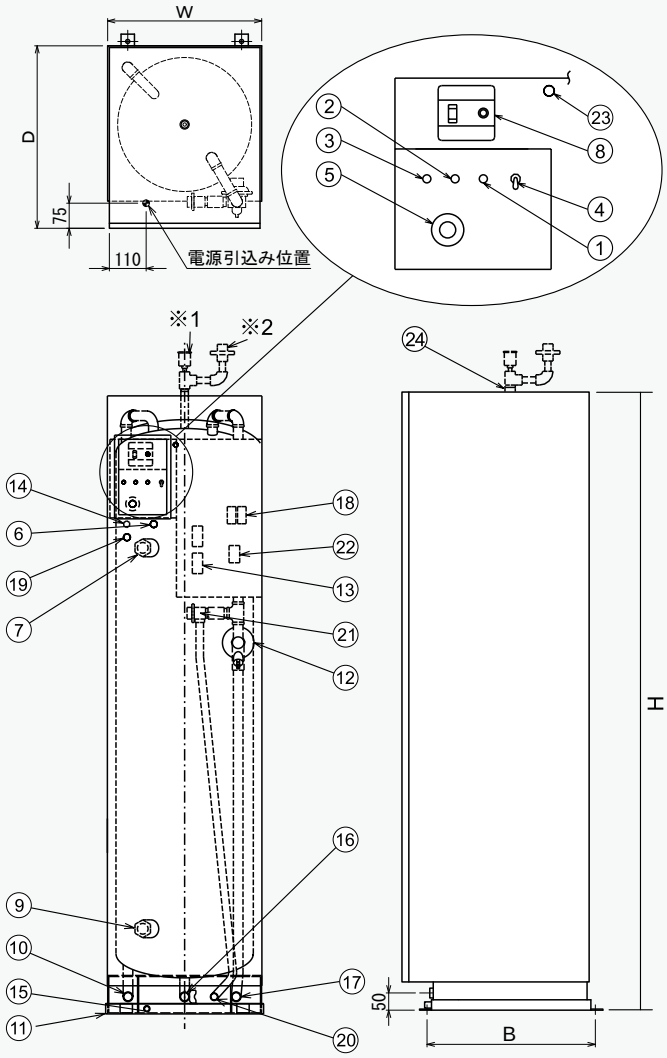
製品の特長・価格についてはP.40

仕様表 ES-150/200RB-T

型番	構造	貯湯量(L)	質量(kg) 本体質量	質量(kg) 満水質量	加熱湯量切替(L)	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	最高使用圧力(MPa)	電源	ヒーター容量(kW)	設定温度範囲(℃)	沸き上がり時間(℃)※	配管口径(給水・給湯・排水)	安全装置	付属品
ES-150RB-T	密閉式	150	65	215	40/150	40以下★	0～40★	0.1～0.5	0.1以下	単相200V	3.1	約30～80	40L:59 150L:220	G¾(20A)	●空焚き検出 ●過昇温検出 ●漏電検出	●排水パン×1
ES-200RB-T		200	80	280	40/200								40L:59 200L:293			

※水温15℃・80℃沸かし上げ　★：凍結しないこと

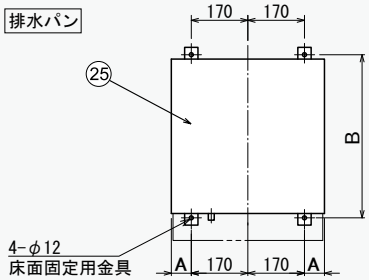
寸法図



No.	名称	No.	名称
①	電源表示灯	⑭	サーモスタットセンサー
②	上部ヒーター通電表示灯	⑮	排水パンソケット
③	下部ヒーター通電表示灯	⑯	排水口(バルブ付)
④	ヒーター切換スイッチ	⑰	給水口
⑤	サーモダイヤル	⑱	操作ヒューズ
⑥	空焚防止電極	⑲	過昇温防止サーモ
⑦	上部ヒーター	⑳	逃し口
⑧	漏電ブレーカ	㉑	逃し弁
⑨	下部ヒーター	㉒	空焚防止スイッチ
⑩	給湯口	㉓	アース端子
⑪	排水パン	㉔	空気弁取付口Rc½(15A)
⑫	減圧弁	㉕	排水パン
⑬	電磁接触器		

左図※1:エアーベント(空気抜き)と※2:バキュームブレーカー（負圧防止）は必ずお取り付けください。(お客様手配品)

貯湯量(L)	寸法(mm) W	D	H	A	B
150	425	515	1710	42.5	459
200	460	545	1800	60	494



ES-150/200RB-T 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●屋外に設置しないでください。●温水器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面にアンカーボルトで必ず水平に設置してください。●湿気の多い場所に製品を設置しないでください。●メンテナンススペースを確保してください。●本体より低い場所への給湯、および給湯加圧ポンプのご使用はおやめください。●工事の終わりに電装ケース内を清掃して、使用済みの部材や廃材などは取り除いてください。

【電気工事についての注意事項】

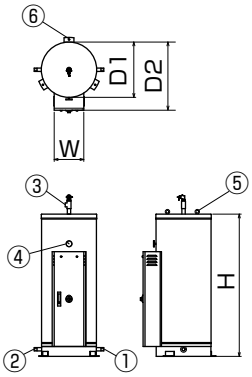
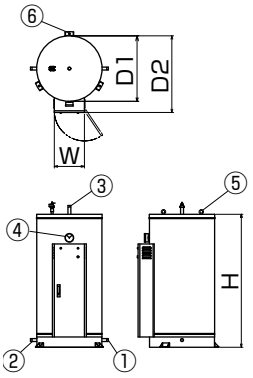
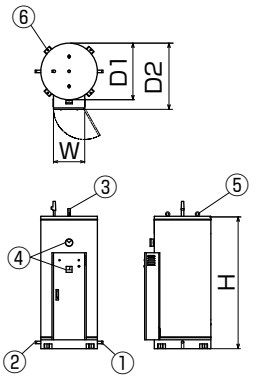
●アース(D種接地)工事を確認してください。●必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。●電源引き込みの際には切粉等が電装部に入らないようにしてください。

【配管工事についての注意事項】

●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。●逃し管は排水管に直接つながないで間接排水としてください。●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。

仕様表 ES-F/ESP-FK/ESP-F

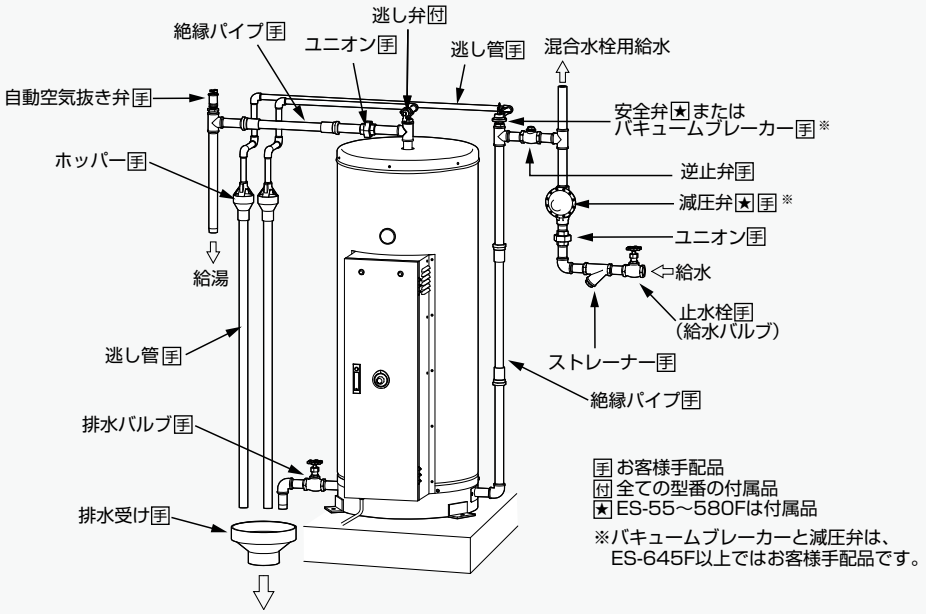
	構造	標準電源	タンク材質	安全装置	給水温度(℃)	使用雰囲気温度(℃)	使用水質	設置場所
全型式共通	密閉	三相200V	高耐食ステンレス	・空焚き検出　・過昇温検出 ・漏電検出	0～40 (凍結しないこと)	0～40 (凍結しないこと)	水道水	屋内

型式	外観	型番	標準ヒーター容量(kW)	貯湯量(L)	運転質量(kg)	最高使用圧力(MPa)	給水圧力(MPa)	設定温度範囲※1(℃)	沸き上がり時間※2(分)	寸法(mm) W	D1	D2	H
ESP-F(簡易ボイラー)		ES-55F(2)	3.1	57	91	0.1	0.1～0.5	85～30	90	420	460	590	700
		ES-95F(2)	5.0	99	142				97	350			1,035
		ES-140F(2)	7.1	141	194				97				1,370
		ES-180F(2)	9.0	183	246				100				1,700
		ES-220F	10.1	224	299			80～30	101	300	560	690	1,440
		ES-320F	15.0	322	417				97				1,940
		ES-450F	16.0	453	583				128	350	760	890	1,545
		ES-580F	20.0	595	746				135	420			1,880
		ES-645F	24.0	651	811				123				2,045
		ES-765F	25.0	769	952				139		860	1,010	1,935
		ES-935F	26.0	936	1,136				163				2,270
		ES-1100F	30.0	約1,100	1,326				167				2,605
		ES-1500F	35.0	約1,500	1,850				194		1,060	1,210	2,365
		ES-2000F	40.0	約2,000	2,400				227	560	1,160	1,310	2,555
		ES-2500F	45.0	約2,500	3,070				252		1,260	1,410	2,700
		ES-3000F	物件ごとのお打ち合わせとなります。	約3,000	物件ごとのお打ち合わせとなります。								
		ES-4000F		約4,000									
		ES-5000F		約5,000									
ESP-FK(小型ボイラー)		ESP-55FK(2)	3.1	57	91	0.2	0.2～0.5	85～30	90	420	460	590	700
		ESP-95FK(2)	5.0	99	142				97	350			1,035
		ESP-140FK(2)	7.1	141	194				97				1,370
		ESP-180FK(2)	9.0	183	246				100				1,700
		ESP-220FK	10.1	224	299				108		560	690	1,440
		ESP-320FK	15.0	322	417				105				1,940
		ESP-450FK	16.0	453	583				138		760	890	1,545
		ESP-580FK	20.0	595	746				145	420			1,880
		ESP-645FK	24.0	651	811				133				2,045
		ESP-765FK	25.0	769	952				156		860	1,010	1,935
		ESP-935FK	26.0	936	1,136				176				2,270
		ESP-1100FK	30.0	約1,100	1,326				180				2,605
		ESP-1500FK	35.0	約1,500	1,850				209		1,060	1,210	2,365
		ESP-2000FK	40.0	約2,000	2,400				244	560	1,160	1,310	2,555
		ESP-2500FK	40.0	約2,500	3,070				305		1,260	1,410	2,700
		ESP-3000FK	物件ごとのお打ち合わせとなります。	約3,000	物件ごとのお打ち合わせとなります。				仕様によって異なります。				
		ESP-4000FK		約4,000									
		ESP-5000FK		約5,000									
ESP-F(ボイラー)		ESP-55F	3.1	57	仕様によって異なります。	1MPaまで製作可能	仕様によって異なります。	85～60	仕様によって異なります。				
		ESP-95F	5.0	99									
		ESP-140F	7.1	141									
		ESP-180F	9.0	183									
		ESP-220F	10.1	224									
		ESP-320F	15.0	322									
		ESP-450F	16.0	453									
		ESP-580F	20.0	595									
		ESP-645F	24.0	651									
		ESP-765F	25.0	769									
		ESP-935F	26.0	936									
		ESP-1100F	30.0	約1,100									
		ESP-1500F	35.0	約1,500									
		ESP-2000F	40.0	約2,000									
		ESP-2500F	45.0	約2,500									
		ESP-3000F	物件ごとのお打ち合わせとなります。	約3,000									
		ESP-4000F		約4,000									
		ESP-5000F		約5,000									

※1: ES-Fシリーズはヒーター容量が10kW未満の場合、最高沸き上がり温度は85℃、10kWを超す場合は80℃になります。ヒーター容量を変更される場合はご注意ください。
※2: 沸き上がり時間は水温15℃から最大設定温度(80℃もしくは85℃)までの沸き上がりにかかる時間を示しています。　※3: 圧力設定は仕様により異なります。

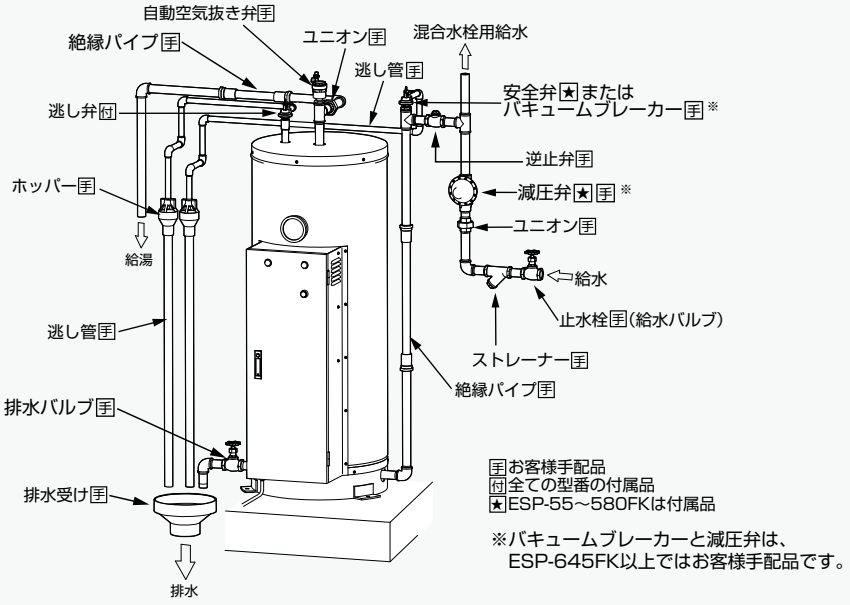
	配管口径		④温度・圧力表示	⑤アイボルト	⑥アンカーボルト穴(mm)	電源コード(m)	付属品				お客様手配品
	①給水 ②排水	③給湯					逃し弁	安全弁	減圧弁	その他	
	R¾(20A)	Rc¾(20A)	温度計 0〜120°C	なし	φ13×3	2 (圧着端子付)	R¾(20A) 97kPa (吹出口Rc½)	R¾(20A) 150kPa (吹出口Rc½)	Rc¾(20A) 80kPa	チーズ (給湯接続口用) キーハンドル	自動空気抜き弁 ストレーナー 止水栓(給水バルブ) 逆止弁 排水バルブ ユニオン・袋ナット
	R1(25A)	Rc1(25A)		M12×2	φ15×3	なし			Rc1(25A) 80kPa	チーズ (給湯接続口用) ブッシング (逃し弁接続用)	
	R1¼(32A)	Rc1¼(32A)	水高温度計 0〜0.15MPa 0〜120°C	M16×2	φ19×3			なし	なし (お客様手配品)		自動空気抜き弁 ストレーナー 止水栓(給水バルブ) 逆止弁 排水バルブ ユニオン・袋ナット バキュームブレーカR¾ (吹出口 R½) 減圧弁80kPa
	R1½(40A)	Rc1½(40A)			φ19×4						
	R2(50A)	Rc2(50A)		M20×2							
	物件ごとのお打ち合わせとなります。										
	R¾(20A)	R¾(20A)	水高温度計 0〜0.3MPa 0〜120°C	なし	φ13×3	2 (圧着端子付)	R¾(20A) 190kPa (吹出口Rc½)	R¾(20A) 250kPa (吹出口Rc½)	Rc¾(20A) 150kPa	ソケット (逃し弁接続用) キーハンドル	自動空気抜き弁 ストレーナー 止水栓(給水バルブ) 逆止弁 排水バルブ ユニオン・袋ナット
	R1(25A)	R1(25A)		M12×2	φ15×3	なし			Rc1(25A) 150kPa	ソケット (逃し弁接続用)	
	R1¼(32A)	R1¼(32A)		M16×2	φ19×3			なし	なし (お客様手配品)		自動空気抜き弁 ストレーナー 止水栓(給水バルブ) 逆止弁 排水バルブ ユニオン・袋ナット バキュームブレーカR¾ (吹出口 R½) 減圧弁150kPa
	R1½(40A)	R1½(40A)			φ19×4						
	R2(50A)	R2(50A)		M20×2							
	物件ごとのお打ち合わせとなります。										
	20A JISフランジ	20A JISフランジ	電流計 水高温度計 0〜120°C	仕様によって異なります。	Rc½(15A) (吹出口Rc½) ※3			なし	なし (お客様手配品)		自動空気抜き弁 ストレーナー 止水栓(給水バルブ) 逆止弁 排水バルブ ユニオン・袋ナット バキュームブレーカR¾ (吹出口 Rc½) 減圧弁
	25A JISフランジ	25A JISフランジ									
	32A JISフランジ	32A JISフランジ									
	40A JISフランジ	40A JISフランジ									
	50A JISフランジ	50A JISフランジ									
	物件ごとのお打ち合わせとなります。										

標準配管図　**ES-F**



標準配管図　**ESP-FK**

ESP-Fは仕様によって異なりますので、お問い合わせください。

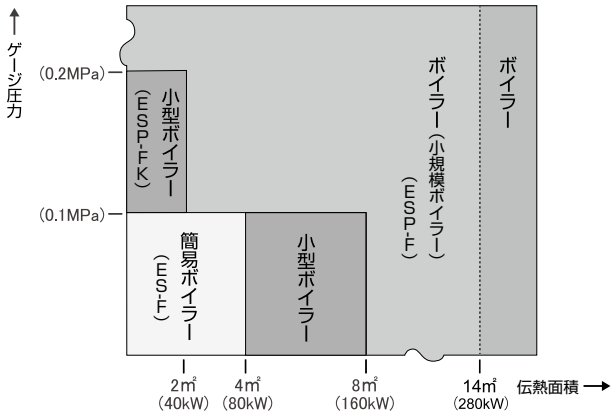


ボイラーの定義

簡易ボイラー…… 安全規則の適用を受けません。条件は最高使用圧力が0.1MPa以下であるとともにヒーター容量が80kW以下。
密閉式の小型電気温水器もこの中に含まれます。

小型ボイラー…… 設置報告書の提出義務と自主検査(1回/年)が必要です。条件は最高使用圧力が0.1MPa以下であるとともにヒーター容量が80kWを超え160kW以下。もしくは最高使用圧力が0.2MPa以下であるとともにヒーター容量が40kW以下。

ボイラー…… 設置届の提出義務と性能検査(1回/年)が必要です。簡易、小型ボイラー区分以外がボイラー区分となります。



ES-F（簡易ボイラー）

ESP-FK（小型ボイラー）

ESP-F（ボイラー）

項　目	簡易ボイラー	小型ボイラー	ボイラー	担当区分
都道府県労働局長が実施するタンクの検査	–	●検定（登録個別検定機関）	●構造検査および溶接検査（登録製造時等検査機関でも可）	メーカー
所轄労働基準監督省への届け出 法88条　規第10条　規第91条 届出の際必要な書類	–	●小型ボイラー設置報告書 （様式第26号） ●構造図および合格の印が押してある小型ボイラー明細書（検定書類） ●その他の書類 設置場所の周囲の状況を示す図面	●ボイラー設置届 （様式第11号） ●構造検査済印が押してあるボイラー明細書（検査書類） ●その他の書面 1.ボイラー室およびその周囲の状況 2.ボイラー室およびその配管の配置状況 3.ボイラーの据付基礎に関するもの 4.燃焼が正常に行われていることを監視するための措置	事業者
所轄労働基準監督署長への 落成検査申請書の提出 規第14条	–	–	●ボイラー落成検査申請書 （様式第15号）	ボイラーを設置した者
ボイラー室 規第18条	–	–	●ボイラーは専用の建物または建物の中の障壁で区画された場所（ボイラー室）に設置しなければならない。ただし、伝熱面積3m²（60kW）以下のボイラーまたは屋外式ボイラーについてはこの限りではない。 ●他、ボイラー室の出入口、ボイラーの据付位置、ボイラーと可燃物との距離等の規制がある。	事業者
ボイラー取扱作業主任者の選任 （取扱資格） 規第24条	–	–	●取扱ボイラー伝熱面積の合計が25m²（500kW）未満→特級、一級または二級ボイラー技士 ●伝熱面積が14m²（280kW）以下の温水ボイラー（小規模ボイラー）→ボイラー取扱技能講習終了者にて可	事業者
性能検査の申請 （ボイラー検査証有効期限の延長） 規第37条～40条　規第94条	–	●定期自主検査／使用開始後1年以内ごとに1回、下記の項目について定期自主検査を行わなければならない。 「ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置および付属品の損傷、または以上の有無」 ●記録は3年間保存すること。	●性能検査を受けようとする者は、ボイラー性能検査申請書（様式第19号）を所轄の労働基準監督署長へ提出すること。（登録性能検査機関でも可）	ボイラー検査証の有効期限の更新を受けようとする者

ES-F/ESP-FK/ESP-F シリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●屋外に設置しないでください。（屋外設置型を除く）●温水器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面にアンカーボルトで必ず水平に設置してください。●湿気の多い場所に製品を設置しないでください。●メンテナンススペースを確保してください。●本体より低い場所への給湯、および給湯加圧ポンプのご使用はおやめください。●工事の終わりに電装ケース内を清掃して、使用済みの部材や廃材などは取り除いてください。●据え付け寸法については事前にお渡しする資料をご確認ください。

【電気工事についての注意事項】

●アース工事を確認してください。●必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。●電源引き込みの際には切粉等が電装部に入らないようにしてください。

【配管工事についての注意事項】

●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。●逃し管は排水管に直接つながないで間接排水としてください。●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。

製品仕様

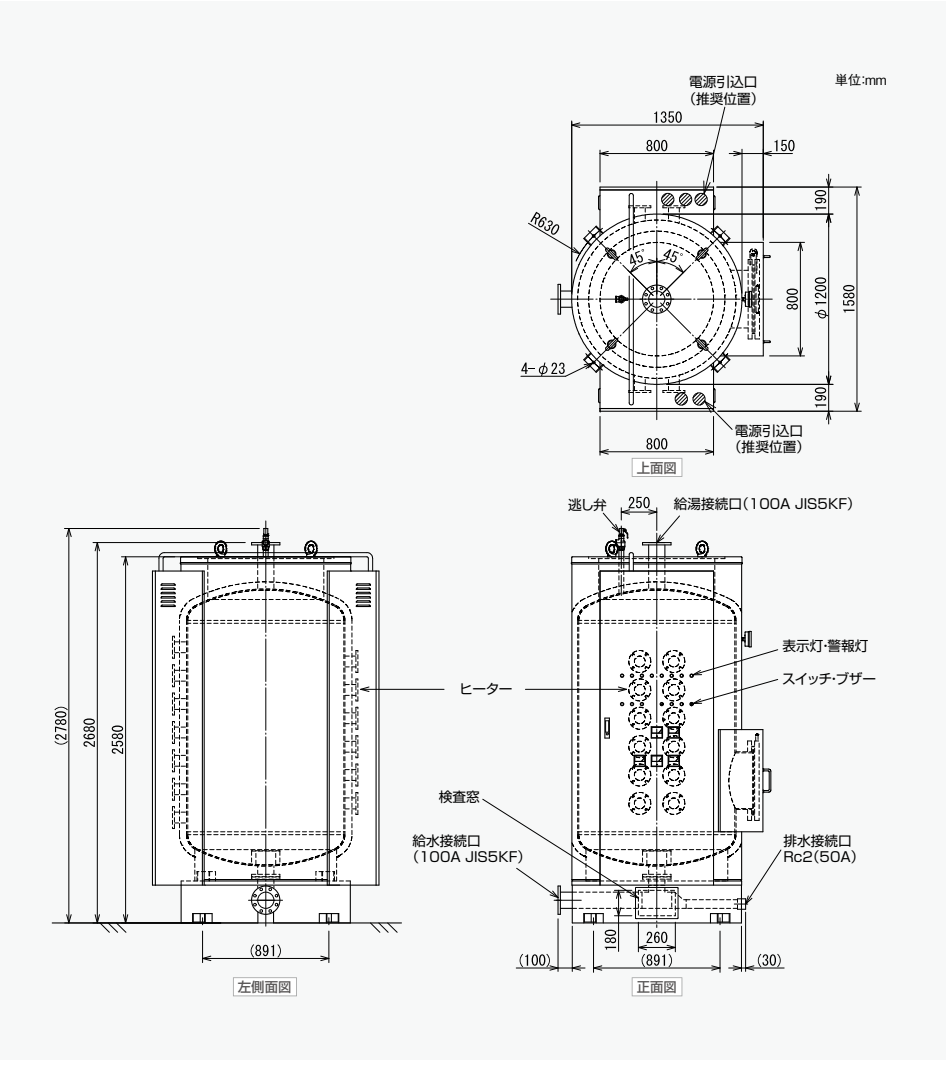
ES-Kシリーズ　製品の特長・価格についてはP.43

【参考】仕様表 ES-500K

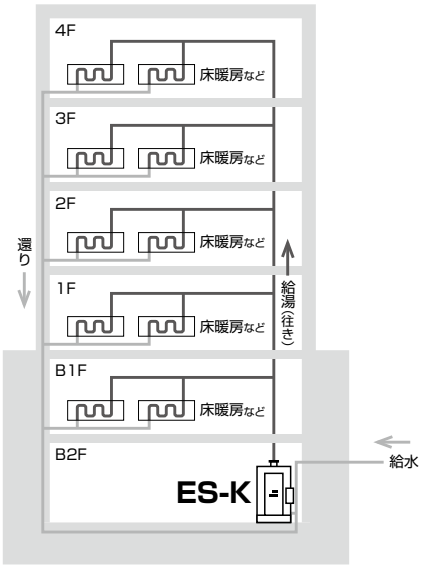
構造	型番	貯湯量(L)	電源	定格消費電力(kW)	最高使用圧力(MPa)	使用雰囲気温度(℃)	給水圧力(MPa)	給水温度(℃)	温度制御	設定温度範囲(℃)	沸き上がり時間(分)※	安全装置	設置場所	仕様変更
密閉式	ES-500K	1700	三相200V(±10%)	500	0.3	0〜40★	0.1〜0.5	85以下★	電子温度調節機	約30〜85	17	●漏電検出 ●空焚検出 ●過昇温検出 ●過昇圧検出 ●異常時主回路遮断	屋内	●ボイラー ●異電圧 ●四種個別警報灯 ●運転表示端子 ●四種一括警報端子 ●ポンプインターロック端子

※水温15℃の場合　★：凍結しないこと

【参考】寸法図 ES-500K



[参考]使用例(床暖房システムの場合)



ES-K シリーズ　施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●屋外に設置しないでください。(屋外設置型を除く) ●温水器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面にアンカーボルトで必ず水平に設置してください。●湿気の多い場所に製品を設置しないでください。●メンテナンススペースを確保してください。●本体より低い場所への給湯、および給湯加圧ポンプのご使用はおやめください。●工事の終わりに電装ケース内を清掃して、使用済みの部材や廃材などは取り除いてください。●据え付け寸法については事前にお渡しする資料をご確認ください。

【配管工事についての注意事項】

●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。●逃し管は排水管に直接つながないで間接排水としてください。●逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。

【電気工事についての注意事項】

●アース工事を確認してください。●必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。●電源引き込みの際には切粉等が電装部に入らないようにしてください。

製品仕様

ESTシリーズ　製品の特長・価格についてはP.44

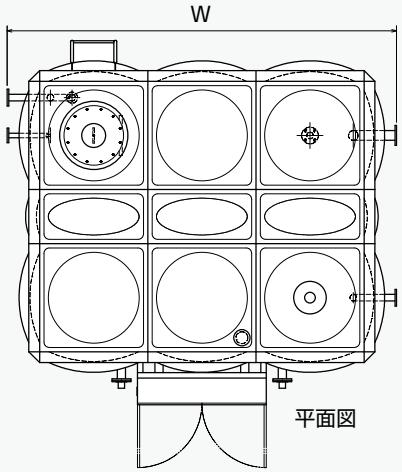
仕様表 ESTシリーズ

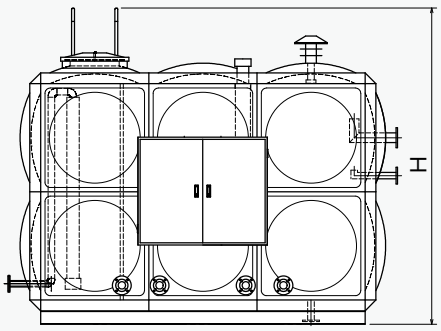
表は屋内定水位方式の例です。20tを超える貯湯量についてはお問い合わせください。

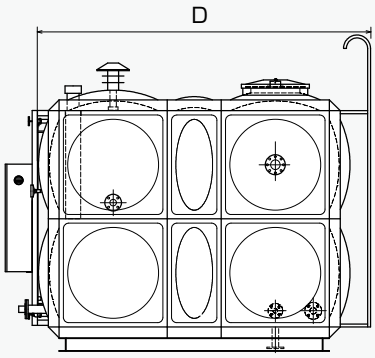
構造	型番	有効貯湯量(t)	標準電源	標準ヒーター容量(kW)	満水質量(kg)	設定温度範囲(℃)	沸き上がり時間(時間)※1	一次側使用水温(℃)	使用雰囲気温度(℃)	給湯圧力(MPa)	安全装置	付属品
開放式	EST-1	1	三相200V	10.1	1,490	60～85	8.1	85以下★	0～40★	0.1～0.4	●漏電検出 ●過昇温検出 ●異常満水検出 ●異常渇水検出	●ケミカルアンカーボルト ●電装ケース用鍵
	EST-2	2		20	2,830							
	EST-3	3		30	3,910							
	EST-4	4		40	5,230							
	EST-5	5		50	6,467		8.2					
	EST-7	7		70	8,740							
	EST-10	10		100	12,490							
	EST-15	15		150	18,547							
	EST-20	20		200	24,475							

※1:沸き上がり時間は水温15℃の場合です。仕様や方式により安全機構や付属品は異なります。 ★:凍結しないこと

寸法図







※図は屋内・定水位方式の例です。

型番	寸法(mm)		
	W	D	H
EST-1	1,600	1,880	2,425
EST-2	2,600		
EST-3			2,925
EST-4		2,380	
EST-5	3,100		
EST-7		2,880	
EST-10	3,600	3,380	
EST-15	5,100		
EST-20	5,600	3,880	

ESTの給水制御方式について

ESTは通常の電気温水器に比べてより大量のお湯を貯湯できる製品であり、ご利用方法に応じて給水制御方式をお選びいただきます。

使い切り方式
（ステップ貯湯）

ご使用量の少ない夜間や業務用電力契約時間に集中してお湯を沸かし上げる場合には、「使い切り方式」がおすすめです。
使い切り方式の場合、設定時刻に集中して沸かし上げを行いタンクを満水状態にします。それ以外の時間は使い切り運転として給湯し、給水および通電は行いません。
また、集中沸かし上げの給水中は、貯湯温度の低下を防止するため、設定温度「−10℃」になると給水遮断を行う「ステップ給水方式」で行います。その他、本体湯切れ防止機能をご活用いただく事で、設定時刻の集中沸かし上げ以外でも湯切れ防止や保温運転が可能となります。

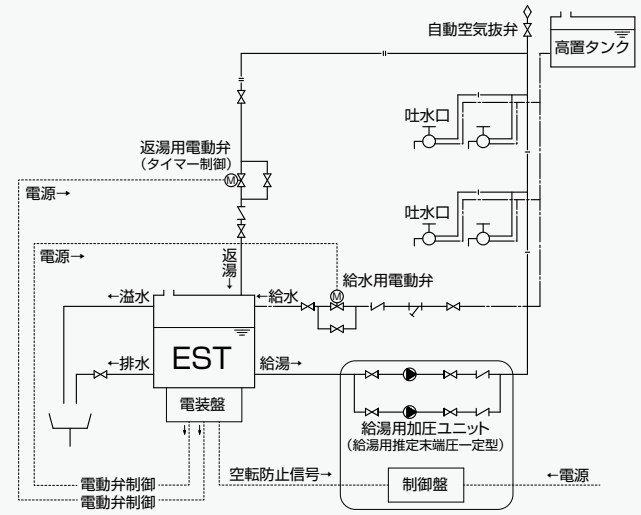
【おすすめの電力契約】 業務用蓄熱調整契約・深夜電力契約
※東京電力管内調べ。地域により電力契約方法は異なりますので電力会社へお問い合わせください。

定水位方式

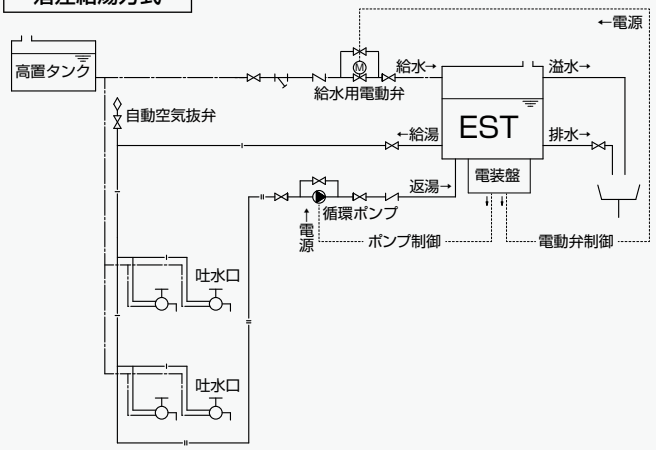
常に水位を一定に保つ「定水位方式」は、常時給水・ヒーター通電を行うことで大量給湯する場所でも湯切れを防ぎます。但し、一度に大量給湯を行うと、同時に貯湯槽内の給水も行うため、加熱能力が下回り貯湯槽の温度が低下する可能性があります。

給湯配管　参考図

加圧給湯方式

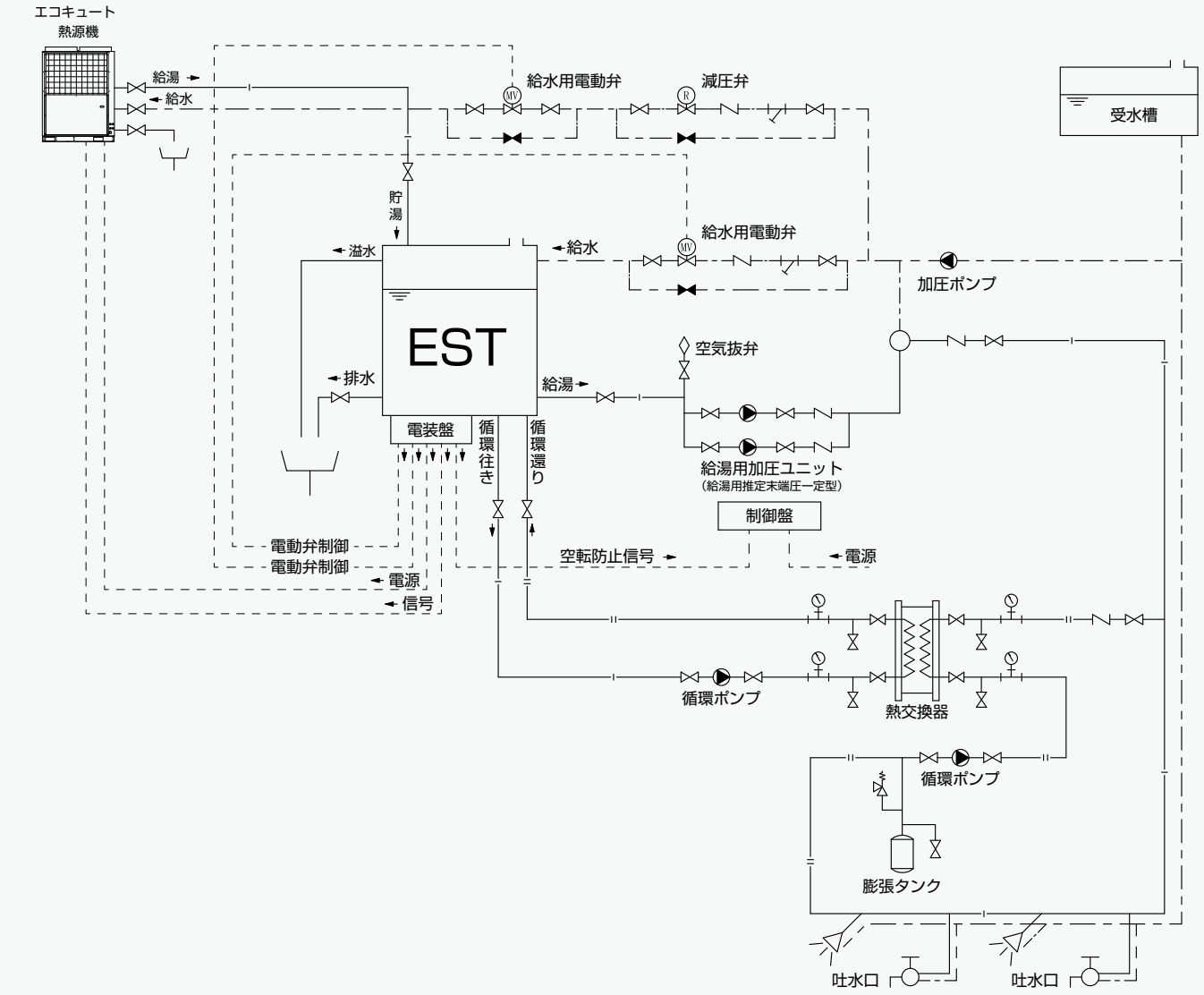


落差給湯方式



エコキュートとのハイブリッド事例

エコキュート併用方式

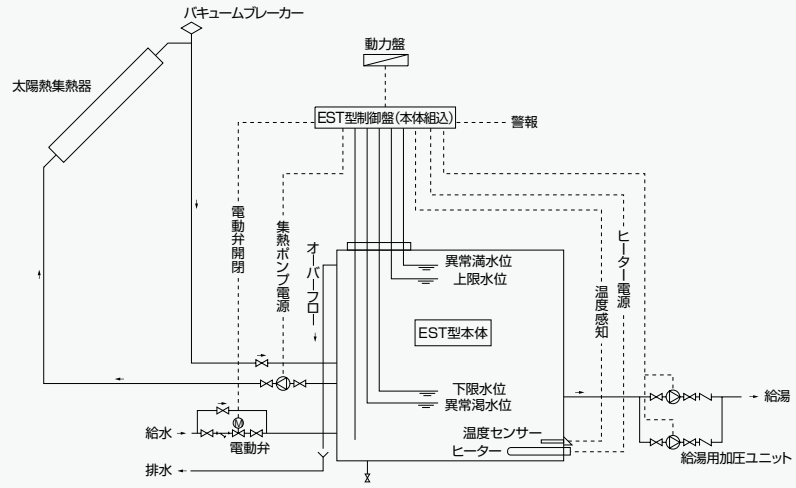


【特　長】

エコキュートを使用したハイブリッドシステム。
エコキュートの能力が不足した場合に電気ヒーターを稼働させて安定したお湯の供給が可能です。
寒冷地（北海道地区）ではエコキュートを補助熱源として多くご採用いただいています。

ソーラーシステム併用事例

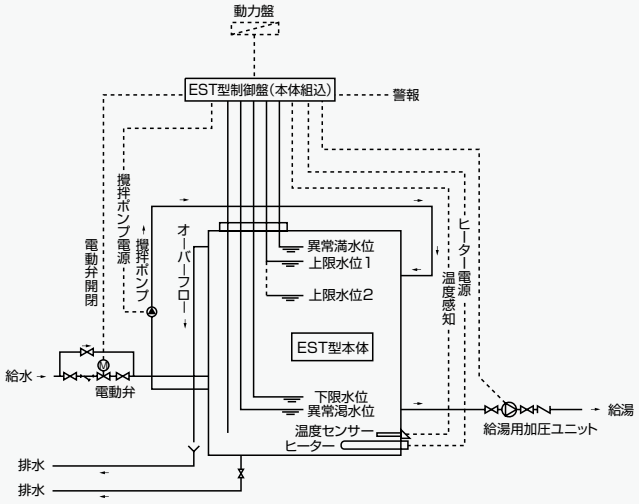
ソーラー併用方式



【特　長】
太陽熱を利用した省エネルギーシステム。
設備投資額の回収が期待できます。

本体制御例

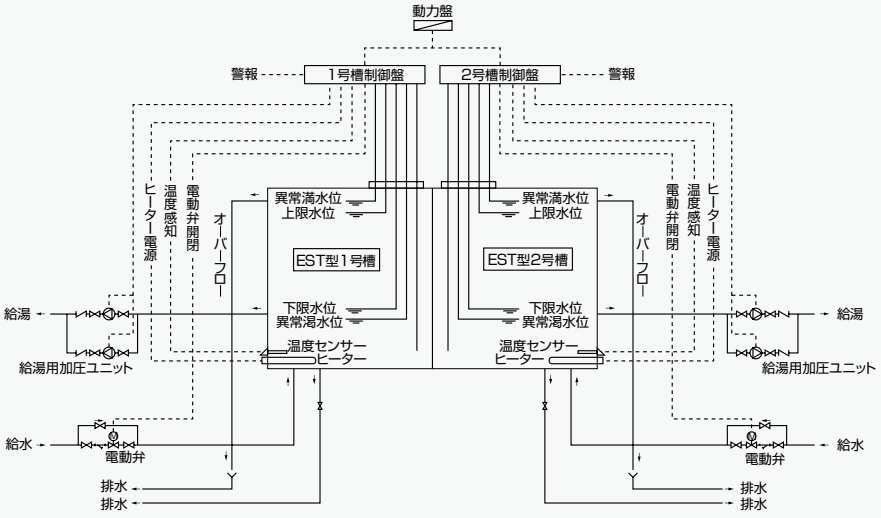
湯量切替方式



【特　長】
上限水位を切り替えることにより貯湯量を変更することができます。

研修所などで給湯負荷の変動に対応して貯湯量を調節することができます。

二槽方式



【特　長】
メンテナンス中にもお湯が使えます。使い切り方式との併用も可能。

EST シリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領･取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●屋外に設置しないでください。(屋外設置型を除く) ●温水器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面にアンカーボルトで必ず水平に設置してください。●湿気の多い場所に製品を設置しないでください。●メンテナンススペースを確保してください。●据え付け寸法については事前にお渡しする資料をご確認ください。

【配管工事についての注意事項】

●配管を施工する前に配管内をきれいに掃除し、温水器内にごみが入らないようにしてください。●異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。●排水管および溢水(オーバーフロー)管の先は、間接排水としてください。●排水管と溢水(オーバーフロー)管は接続しないでください。●給湯配管を鳥居配管にしないでください。

【電気工事についての注意事項】

●アース工事を確認してください。●必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。

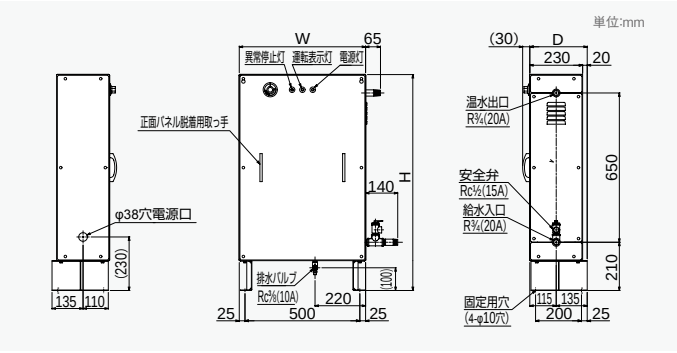
仕様表 EIJ/EILシリーズ

シリーズ	型番	寸法(mm) W	D	H	標準電源	標準ヒーター容量(kW)	質量(kg)	満水質量(kg)	一次側給水温度(℃)	給水圧力(MPa)	使用雰囲気温度(℃)	設定温度範囲(℃)	最高使用圧力(MPa)	最低使用流量(L/min)	設置場所	安全装置	付属品
EIJ	EIJ-10A	550	250	940	三相200V	10.1	40	42	60以下★	0.1〜0.4	0〜40★	30〜65	0.49	6	屋内	●過昇温検出 ●空焚き防止 ●漏電検出	なし
	EIJ-10B	590	(246)	830			28	30							屋外		
EIL	EIL-5	670	340	445	三相200V	5	28	30.7	75以下★	0.1以下		0〜80	0.1	—	屋内	●過昇温検出 ●空焚き防止 ●漏電検出	なし
	EIL-6					6											
	EIL-10	790				10.1	30	33.0									
	EIL-15	870				15	32	35.4									
	EIL-20	920	460	515		20	70	100.0									
	EIL-25					25											
	EIL-30					30											
	EIL-35		500	545		35	85	127.5									
	EIL-40					40											
	EIL-45					45											
	EIL-50		520	575		50	90	140.0									
	EIL-55					55											
	EIL-60					60											

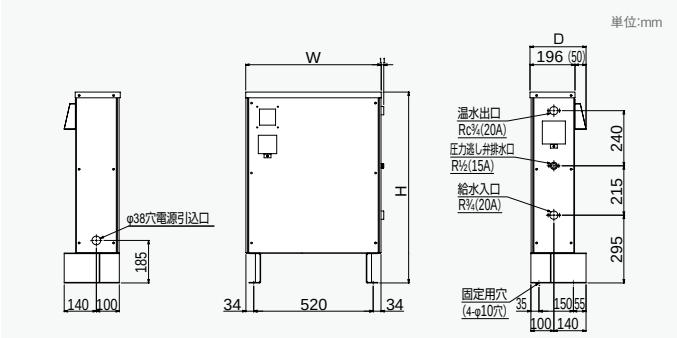
※製品の外観は変更になる場合があります。

★：凍結しないこと

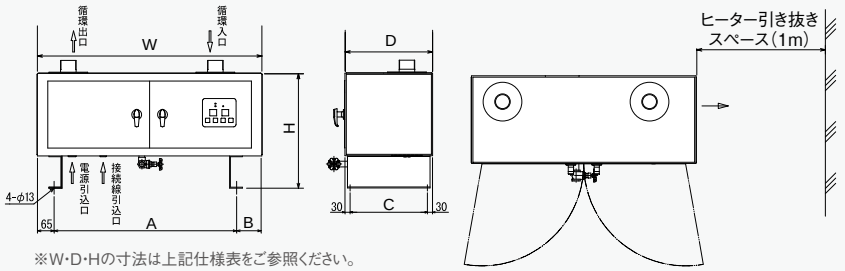
寸法図 EIJ-10A



寸法図 EIJ-10B



寸法図 EIL



※W・D・Hの寸法は上記仕様表をご参照ください。

型番	寸法(mm) A	B	C
EIL-5	510	95	280
EIL-6			
EIL-10	630		
EIL-15	710		
EIL-20	680	175	400
EIL-25			
EIL-30			

型番	寸法(mm) A	B	C
EIL-35	680	175	440
EIL-40			
EIL-45			
EIL-50			460
EIL-55			
EIL-60			

EIJ/EIL シリーズ 施工時の注意事項

詳細は工事要領・取扱説明書をご確認ください

【設置工事についての注意事項】

●床面に防水、排水処置を施してください。●水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。●屋外に設置しないでください。(EIL 屋外設置型を除く)●本体質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。●本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。

【配管工事についての注意事項】

●給水入口側に逆止弁、減圧弁、ストレーナー、止水栓を必ず取り付けてください。(EIJ)●密閉配管に接続する場合は給湯側の配管途中に必ず安全弁を取り付け、動作を確認してください。(EIL)●安全弁の吹出し処理は必ず行ってください。排水方法は間接排水としてください。(EIJ)●排水処理配管はかならず間接排水としてください。(EIL)●水道法適合品には安全弁が付いていませんので、給水側（機器から3m以内）に必ず取り付けてください。●昇温器と各配管の接続部はユニオンまたはフランジを使用して、メンテナンスの際に配管が外せるようにしてください。●接続配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。

【電気工事についての注意事項】

●必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。●結線部は正しく、ゆるみがないように配線作業をしてください。

製品仕様　業務用エコキュート Yフレーム　製品の特長・価格についてはP.49

仕様表 Yフレーム

（高圧ガス製造届必要、冷凍保安責任者不要）

型式	熱源機		CHP-80Y2
	標準仕様	タンクユニット	CHP-4800T/CHP-6000T
		ユニットシステム	CHP-801048-2/CHP-801060-2
	高圧仕様	タンクユニット	CHP-T060K-2/CHP-T080K-2/CHP-T100K-2/CHP-2T100K-2
		ユニットシステム	CHP-801060K-2/CHP-801080K-2/CHP-801100K-2/CHP-802100K-2

熱源機	電源（V）		三相200（50/60Hz）
	寸法（高さ×幅×奥行）（mm）		2000×1790×1010
	製品質量/運転質量（kg）		690/710
	設定温度範囲（℃）		60～90
	冷媒側設計圧力（MPa）		低圧側7.5/高圧側14.0
	減圧弁（kPa）※1		170（標準タンク）/450（高圧タンク）
	圧縮機	形式	半密閉型往復コンプレッサ
		電動機形式	インバータ駆動三相誘導電動機
		定格出力（kW）	15.8
	クランクケースヒーター（W）		140
	送風機（W）		プロペラファン 300×2台
	ポンプ（W）		シールレス　DC282V-140
	空気熱交換器		強制空冷クロスフィン
	給湯熱交換器		強制循環式二重管
	保護装置		高圧圧力スイッチ、高低圧圧力センサ、圧縮機圧力逃し弁、過電流継電器（送風機）、圧縮機電動機過昇温防止、過電流保護機能
	冷媒/冷媒量（kg）		CO_2（R744）/11.3
	一日の冷凍能力（トン）		9.6
	運転音（dB）		中間期：65℃＝60.0、90℃＝60.0　冬期：65℃＝61.0、90℃＝62.0
	設置場所		屋外
	付属品		リモコン※3

タンク※2	最高使用圧力（kPa）	190（標準タンク）/490（高圧タンク）
	最大給湯流量（L/min）	150（標準タンク・高圧タンク共通）
	材質	SUS444相当（標準タンク・高圧タンク共通） 板厚：t=0.9mm（標準仕様）、t=4mm（高圧仕様） 保温材：グラスウール75mm・24kg/m3（標準タンク・高圧タンク共通）

塗装色	アイボリーホワイト（マンセル値：2.5Y 8/1）

※1：貯湯タンクの仕様に合わせた減圧弁を設置、設定してください。（お客様手配品→P.98参照）
※2：標準タンクの寸法・貯湯量はP.88、高圧タンクの寸法・貯湯量はP.87をご参照ください。
※3：リモコン接続線はお客様手配品です。弊社指定品を必ずご使用ください。

性能仕様 Yフレーム

65℃出湯

項目		外気温度 冬期 DB7℃/ WB6℃	中間期 DB16℃/ WB12℃	夏期 DB25℃/ WB21℃	着霜期 DB2℃/WB1℃
性能	加熱能力（kW）	61.0	65.0	65.0	57.0
	貯湯能力（L/h）	937	1165	1363	817
	水温（℃）（給水→出湯）	9→65	17→65	24→65	5→65
	消費電力（kW）※1	16.3	16.2	14.7	20.6
	年間加熱効率※2	3.8			

90℃出湯

項目		外気温度 冬期 DB7℃/ WB6℃	中間期 DB16℃/ WB12℃	夏期 DB25℃/ WB21℃	着霜期 DB2℃/WB1℃
性能	加熱能力（kW）	58.2	64.0	65.0	52.7
	貯湯能力（L/h）	618	754	847	533
	水温（℃）（給水→出湯）	9→90	17→90	24→90	5→90
	消費電力（kW）※1	18.6	19.6	18.6	21.5
循環加熱能力（kW）※3		34.0	32.0	29.0	34.0

※1：消費電力は、圧縮機、ファン、ポンプを含むユニット全体のものです。
※2：実際の使用状況に近い条件から求めた一年間の平均性能。
※3：60℃入水における循環加熱能力。出湯温度はなりゆきになります。
◆上記は、一般社団法人日本冷凍空調工業会規格（JRA4060:2014「業務用ヒートポンプ」）に準拠

中間期COP:4.0（65℃出湯）
一般社団法人日本冷凍空調工業会規格（JRA4060:2009「業務用ヒートポンプ」）に準拠

Yフレーム 型番の見方

CHP-801060CK2（Yフレーム+6トン高圧循環加熱仕様の場合）

CHP - 80 1 060 C K - 2

- 2：当社識別コード
- K：高圧タンク
- C：循環加熱仕様
- 060：貯湯量
- 1：熱源機台数
- 80：Yフレーム
- CHP：シリーズ

項目	記号			内容
機種	80			Yフレーム（CHP-80Y2）
熱源機台数	1			熱源機1台
	2			熱源機2台
貯湯量/タンクラインナップ	標準タンク	標準仕様	048	4,800L
			060	6,000L
		循環加熱仕様	042	4,200L
			054	5,400L
	高圧タンク	標準仕様・循環加熱仕様共通	060	6,000L
			080	8,000L
			100	10,000L
仕様	なし			標準仕様
	C			循環加熱仕様
貯湯槽種類	なし			標準タンク（最高使用圧力190kPa）
	K			高圧タンク（最高使用圧力490kPa）

※仕様によっては型番が上記と異なる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

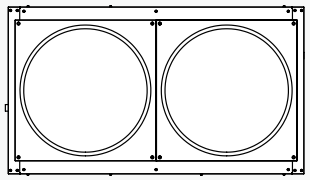
Yフレーム　寸法・各部名称

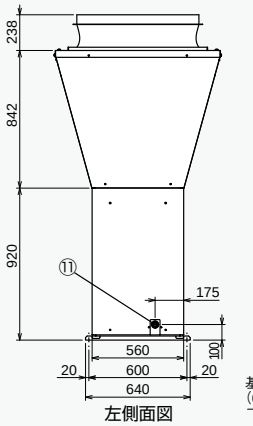
熱源機　CHP-80Y2（標準仕様）
CHP-80Y2C（循環加熱仕様）

本体質量：690kg
満水質量：710kg

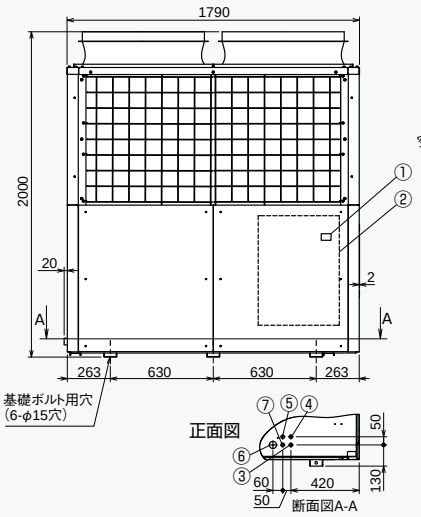
単位：mm

①運転表示点検窓（正面）
②制御盤位置（正面）
③外部信号等接続口（センサー等φ22穴）
④リモコン線接続口（φ22穴）
⑤操作配線接続口（φ22穴）
⑥電源取入口（φ44穴）
⑦遠方制御盤接続口（φ22穴）
⑧温水出口 Rc1（25A、CAC406）
⑨給水入口 Rc1（25A、CAC406）
⑩機内水抜き口 Rc¾（20A、CAC406）
⑪空気熱交換器ルームドレン Rc1
（25A、CAC406）

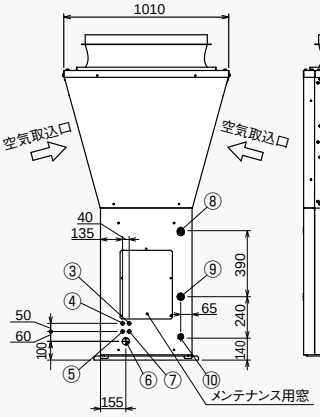

上面図



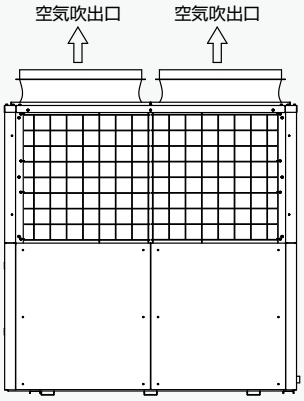
左側面図



正面図

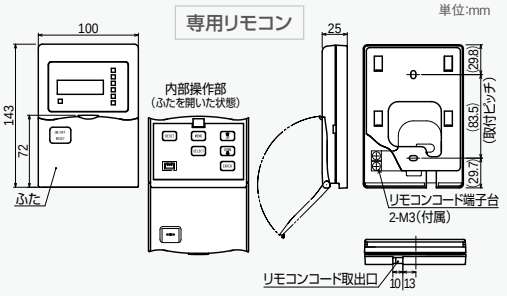


右側面図



背面図

専用リモコン　単位:mm



貯湯タンクユニット　CHP-T060K/CK,CHP-T080K/CK,CHP-T100K/CK（高圧タンクユニット）

単位：mm

共通仕様

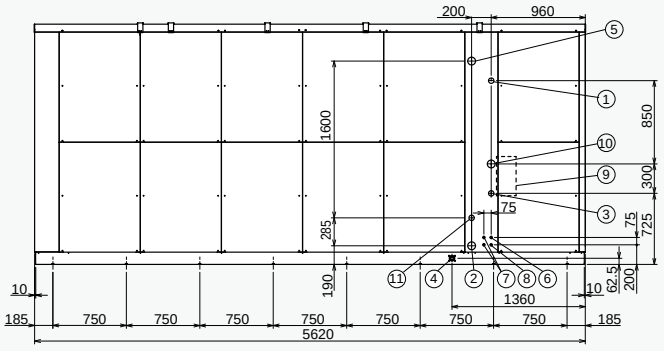
最高使用圧力(kPa)	490
最大給湯流量(L/min)	150
タンク材質	SUS444相当

CHP-T100K／T080K（標準仕様）

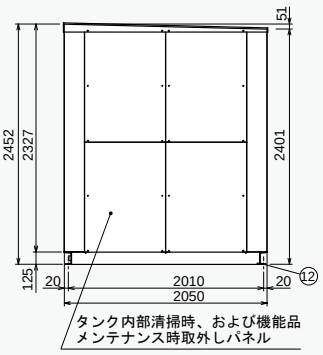
型　番	貯湯量	本体質量	満水質量
CHP-T080K	8000L	2370kg	10370kg
CHP-T100K	10000L	2460kg	12460kg

CHP-T100CK／T080CK（循環加熱仕様）

型　番	貯湯量	本体質量	満水質量
CHP-T080CK	8000L	2550kg	11350kg
CHP-T100CK	10000L	2640kg	13440kg



正面図



右側面図

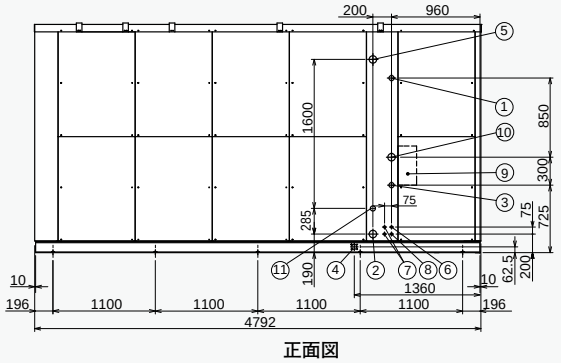
CHP-T060K（標準仕様）

型　番	貯湯量	本体質量	満水質量
CHP-T060K	6000L	2100kg	8100kg

CHP-T060CK（循環加熱仕様）

型　番	貯湯量	本体質量	満水質量
CHP-T060CK	6000L	2280kg	9080kg

※側面図はCHP-T080K/T100Kと共通です。
※⑫のアンカーボルト用穴はCHP-T080K/T100Kと異なります。



正面図

①温水入口　Rc1（25A）
②給水口　Rc2（50A）
③給水出口　Rc1（25A）
④タンク排水口　Rc1・1/4（32A）
⑤給湯口　Rc2（50A）
⑥凍結防止ヒータ用電源取入口（φ24穴）※1
⑦操作配線接続口（φ24穴）
⑧制御用温度センサ連絡線引込口（φ24穴）
⑨制御用温度センサ連絡線接続BOX
⑩中温水口　Rc2（50A）
⑪加熱水入口　Rc1（25A）※2
⑫アンカーボルト用穴　CHP-T100K/T080K：16-φ22穴／CHP-T060K：10-φ22穴

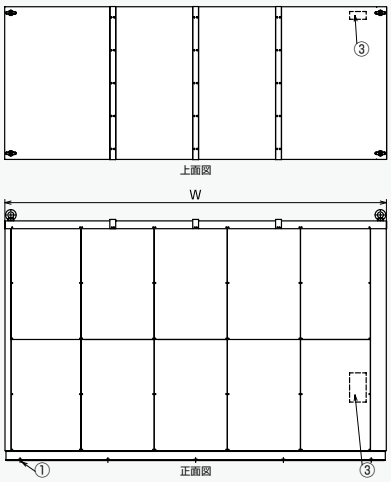
※1　凍結防止ヒーター等の電源線施工時に使用します。
※2　循環加熱仕様のときに使用します。

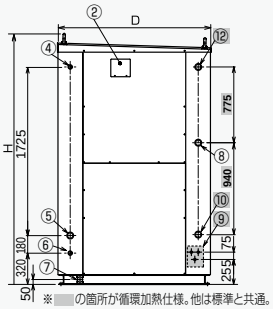
貯湯タンクユニット　CHP-T/TC（標準タンクユニット）

①アンカーボルト取付穴（10-φ22穴）
②逃し弁点検窓
③温度センサー連絡線接続箱
④温水入口 Rc1（25A、CAC406、熱源機より）
⑤給水接続口 Rc2（50A、CAC406）
⑥給水出口 Rc1（25A、CAC406、熱源機へ）
⑦タンク排水口Rc1 1/4（32A、SUS304）
⑧給湯接続口 Rc2（50A、CAC406）
⑨配線等引込口（φ24下穴）
⑩加熱水出口 Rc2（50A、CAC406）
⑪加熱水入口 Rc2（50A、CAC406）
※⑨〜⑪は循環加熱仕様

型番		貯湯量（ℓ）		質量（kg）				寸法（mm）		
				本体		満水		W	D	H
CHP-4800T	**CHP-4200TC**	4,800	**4,200**	1,140	**1,160**	5,990	**6,010**	3,160	1,560	2,570
CHP-6000T	**CHP-5400TC**	6,000	**5,400**	1,370	**1,390**	7,430	**7,450**	3,910	1,560	2,570

※太字は循環加熱仕様



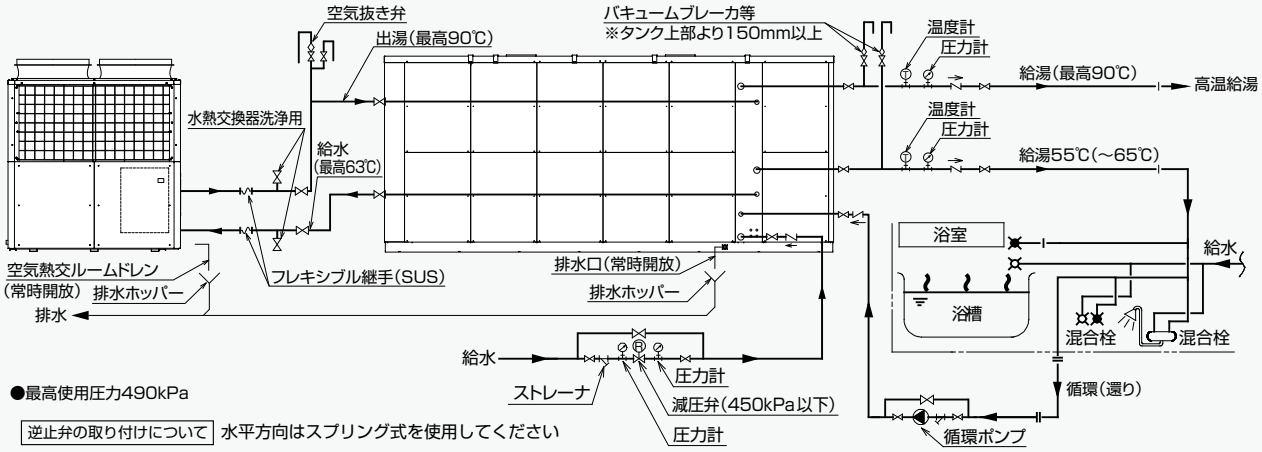


※■の箇所が循環加熱仕様。他は標準と共通。

配管施工例

■熱源機と貯湯槽を上下に設置する場合の使用限界はP.98をご参照ください。　■Yフレームと標準タンクを組み合わせた配管施工例はP.93をご参照ください。

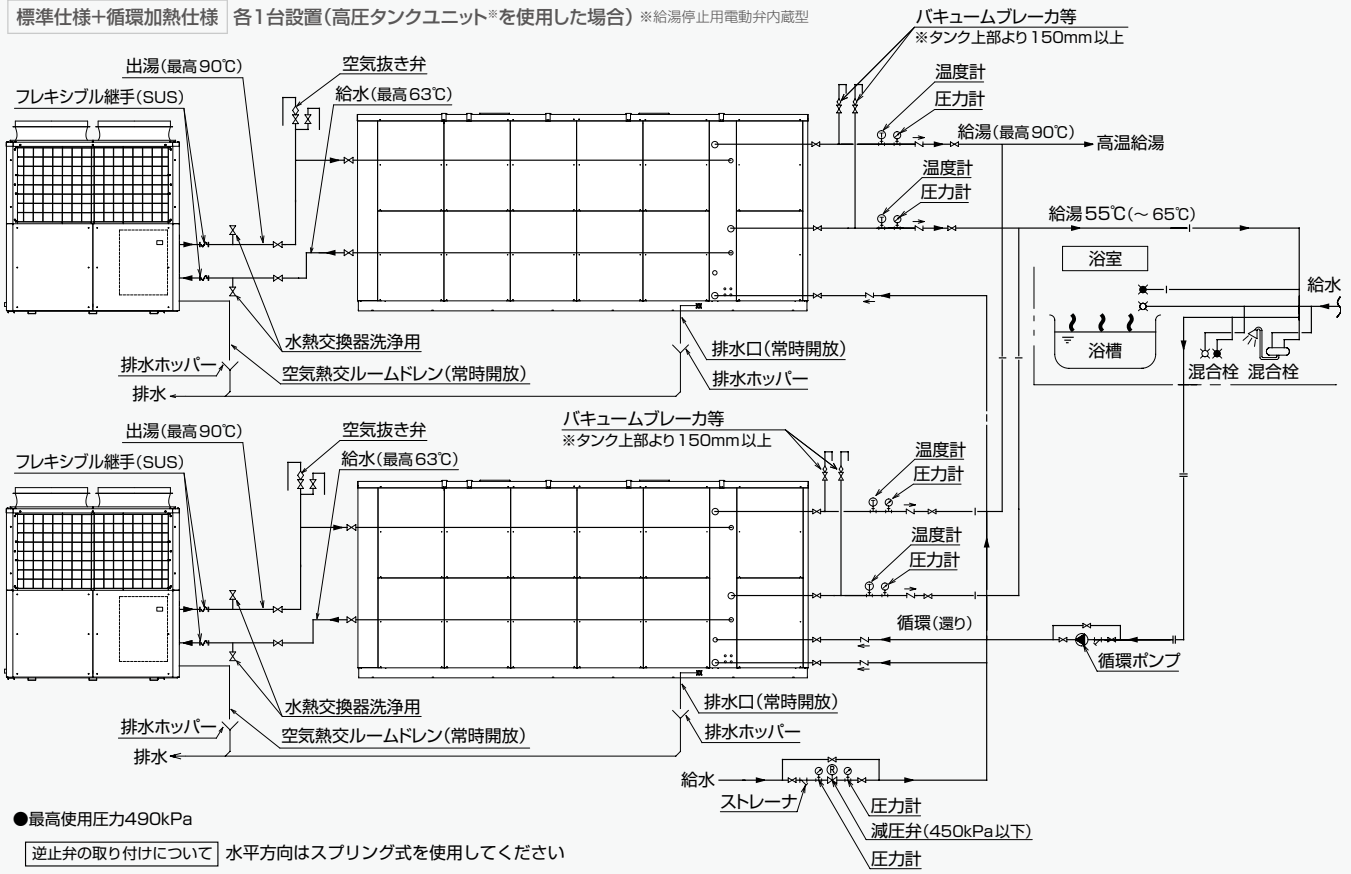
循環加熱仕様　1台設置（循環高圧タンクユニットを使用した場合）



●最高使用圧力490kPa

逆止弁の取り付けについて　水平方向はスプリング式を使用してください

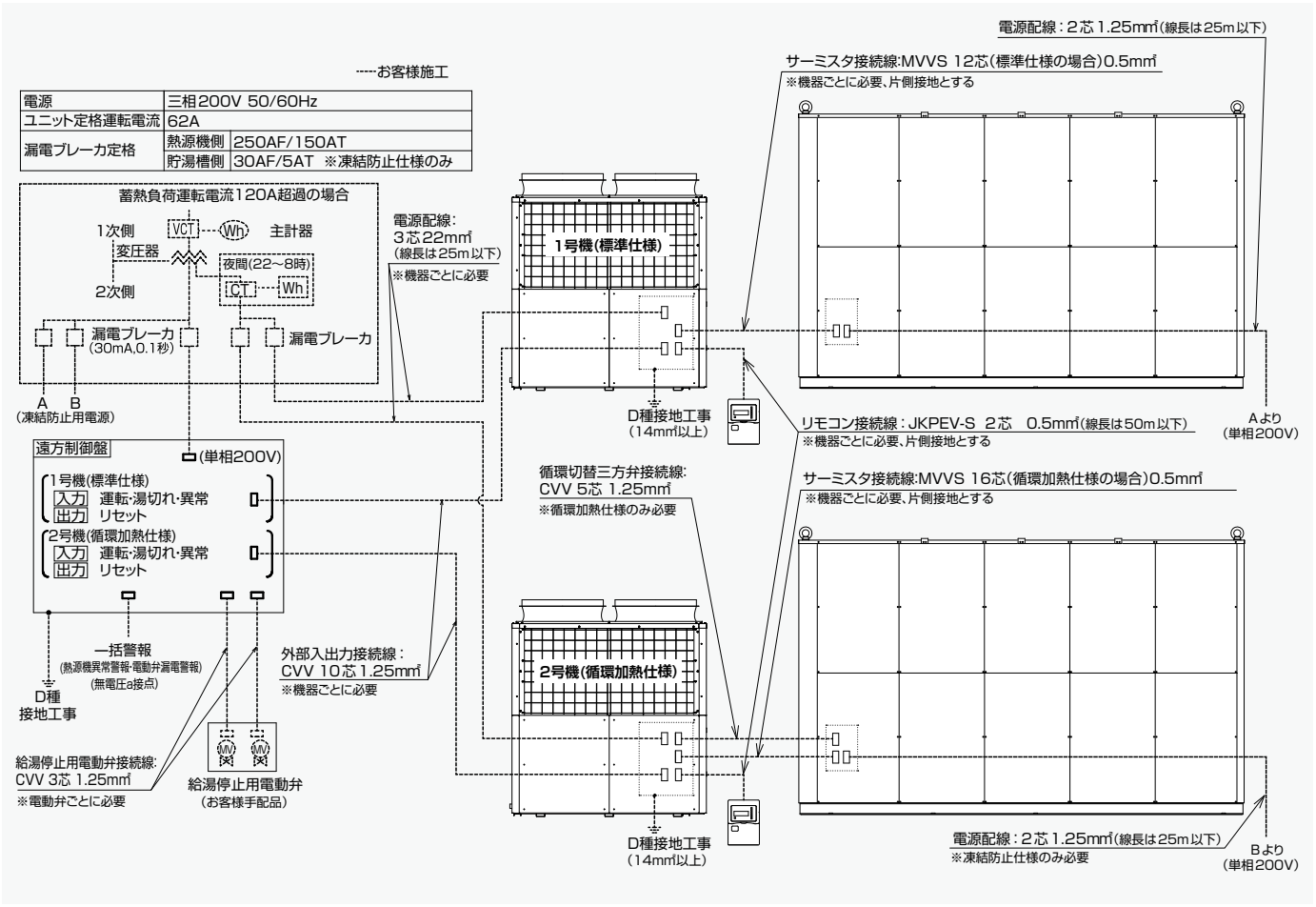
標準仕様+循環加熱仕様　各1台設置（高圧タンクユニット※を使用した場合）※給湯停止用電動弁内蔵型



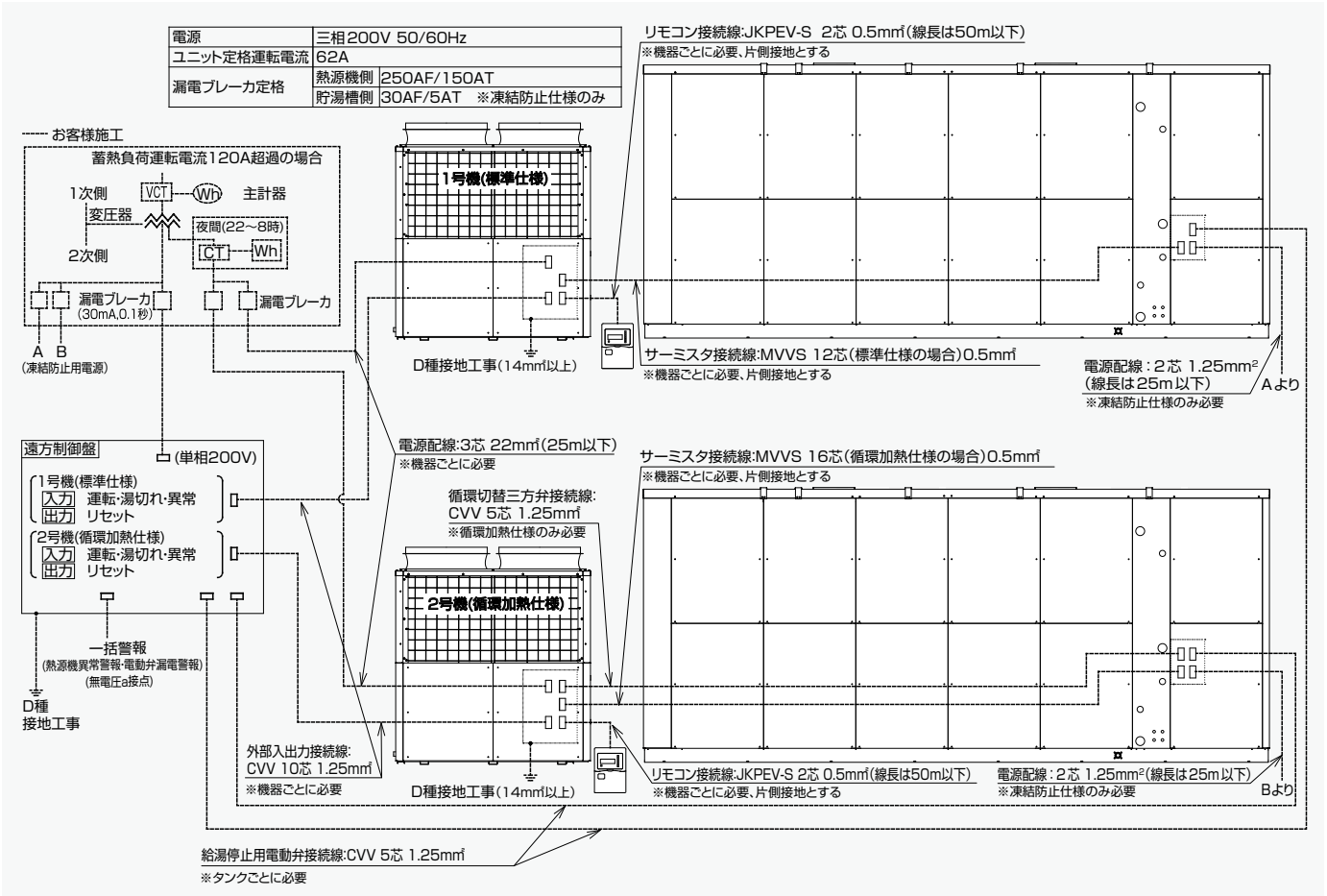
●最高使用圧力490kPa

逆止弁の取り付けについて　水平方向はスプリング式を使用してください

Yフレーム　電気配線施工例(標準タンクの場合)　※詳細配線は除く



Yフレーム　電気配線施工例(高圧タンクの場合)　※給湯停止用電動弁内蔵型。詳細配線は除く



業務用エコキュート Y フレーム 施工時の注意事項 詳細は技術ガイドをご確認ください。

【設置場所についての注意事項】

●据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼してください。●据え付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。●機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼してください。●基礎に固定されているか確認してください。●1日の法定冷凍能力が3トン以上20トン未満の冷凍設備を設置して使用するときは、運転開始の20日前までに各都道府県知事へ高圧ガス製造届を届けなければなりません。イトミック業務用エコキュートYフレーム（イトミック業務用エコキュート、熱源機型番：CHP-80Y）は1日の冷凍能力が9.6トンなので、「第二種製造者」となります。●高圧ガス製造のための施設の位置、構造の変更、高圧ガスの種類を変更する場合は、高圧ガス製造施設等変更届が必要になります。但し、軽微な変更の工事の場合は、届出をする必要はありません。高圧ガスの製造および販売の事業を廃止する場合は、遅滞なく高圧ガス製造廃止届、高圧ガス販売事業届を提出する必要があります。●油（機械油を含む）の飛沫や蒸気所、温泉地等の硫化ガスの発生する所など、特殊な場所で使用すると故障の原因となります。●高周波を発生する機械がある所は避けてください。●搬入試運転、日常の保守のため、メンテナンススペース、風吸込みスペース、通路、手すり等を確保してください。●設置場所までの経路ではタラップ、鉄梯子、ハッチ等は安全のため避けてください。●熱源機の吹出口、吸込口の近くに障害物を置かないでください。性能が低下したり、保護装置が働いたりし、運転ができないことがあります。●強い風が熱源機の吹出口に向かって吹きつけるおそれのある所は避けてください。●降雪地区でのご使用の場合、熱源機に防雪フードなどを取り付けてください。●山間部や樹木の多い場所では、ネットの取付等の落ち葉対策を講じてください。●貯湯槽ユニットは、タンク内の湯水を排水するための排水溝を設けることが可能な場所に据え付けてください。●運転音や振動が他へ伝わったり増大したりしないよう強度が十分な場所を選んで機器を設置してください。●異常音が発生しないよう基礎の強度、水平度を充分確認して据え付けてください。●熱源機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選んで機器を設置してください。

【電気工事についての注意事項】

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および技術ガイドに従って施工し、必ず専用回路を使用してください。●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。●漏電ブレーカを取り付けてください。●ブレーカの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。●アース線を必ず接続してください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。●アース（接地）工事は万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程および据え付け説明書に基づき、電気工事士によるD種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行ってください。ブレーカの定格および電線の太さは、内線規程に定められたものを使用してください。●電源電圧200V±10%以内、相間電圧アンバランス3%以内でご使用ください。●必要に応じて、ノイズ対策および、高調波抑制対策ガイドラインに基づき、対策をしてください。●ノイズによる誤動作防止のためリモコン接続線は中継接続は避け、電源線と同一管内に収めないでください。●リモコン接続線およびサーミスタ接続線は、ノイズによる誤動作防止のため弊社指定品を必ずご使用ください。別売品として販売しております。詳細は販売店にお問い合わせください。

【指定リモコン接続線：JKPEV-S 2芯 0.5mm2　50m以下】

【配管工事についての注意事項】

●当該水道事業者の条例に基づき認定水道業者が施工してください。●技術ガイドの水質基準に適合した水道水以外は原則として使用しないでください。井戸水などは腐食などにより漏水することがありますので、使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。●熱源機と組み合わせる貯湯槽の仕様に合わせた減圧弁を設置、設定してください。●各接続配管には必ずユニオン継手を使用し、給水接続口付近にはストレーナ、止水弁を取り付けてください。●給湯配管は100℃以上の耐熱性、耐食性を有する材料をご使用ください。（銅管、ステンレス鋼管等）●湯切れの際に給湯を止めるための電動弁を取り付けてください。設置台数や使用方法により取付有無が変わりますので詳細は販売店にご相談ください。●階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁・バキュームブレーカ・定流量弁などの負圧対策を行ってください。●異種金属を接続する場合は、絶縁フランジなどを使用して異種金属接触腐食対策を行ってください。●熱源機と貯湯槽が水平設置の場合、放熱、配管抵抗を考慮し5m以内が理想です。●凍結のおそれがある場合には、凍結防止工事を行ってください。●タンク排水口は膨張水を排水するため、必ず開放とし排水ホッパーを設け、排水管は耐熱性・耐食性を有する材料を使用してください。（耐熱塩ビ管など）高温の膨張水が排出される場合があります。

製品仕様　業務用エコキュート 中型機　製品の特長・価格についてはP.50

仕様表

（高圧ガス製造届不要、冷凍保安責任者不要）

型式	熱源機		CHP-26H4
	タンクユニット※1		CHP-500T/CHP-1000T/CHP-1500T/CHP-2000T/CHP-2500T/CHP-3000T/CHP-3500T/CHP-4000T
	ユニットシステム※1		CHP-500U-5/CHP-1000U-5/CHP-1500U-5/CHP-2000U-5/CHP-2500U-5/CHP-3000U-5/CHP-3500U-5/CHP-4000U-5
熱源機	電源(V)		三相200(50/60Hz)
	寸法(高さ×幅×奥行)(mm)		1705×1300×890
	製品質量/運転質量(kg)		480/500
	設定温度範囲(℃)		60～90
	冷媒側設計圧力(MPa)		低圧側7.5/高圧側14.0
	減圧弁(kPa)※2		170
	圧縮機	形式	半密閉型往復コンプレッサ
		電動機形式	三相誘導電動機
		定格出力(kW)	8.4
	クランクケースヒーター(W)		100
	送風機(W)		プロペラファン 110 ×2台
	ポンプ(W)		シールレス　AC200V-100
	空気熱交換器		強制空冷クロスフィン
	給湯熱交換器		強制循環式二重管
	保護装置		高圧圧力スイッチ、高低圧圧力センサ、圧縮機電動機過昇温防止、圧縮機破裂板、過電流継電器(圧縮機)、ヒューズ(送風機、ポンプ)
	冷媒/冷媒量(kg)		CO_2(R744)/6.8
	一日の冷凍能力(トン)		2.4(50Hz)/2.9(60Hz)
	運転音(dB)		50Hz=54、60Hz=55(冬期・中間期・夏期・着霜期共通)
	設置場所		屋外
	付属品		リモコン※3
タンク※3	最高使用圧力(kPa)		190
	最大給湯流量(L/min)		70
	材質		SUS444相当　板厚：t=0.9mm　保温材：グラスウール75mm・24kg/m3
塗装色			アイボリーホワイト(マンセル値：5Y 7.5/1)

※1：貯湯タンクの仕様に合わせた減圧弁を設置、設定してください。(お客様手配品→P.98参照)
※2：貯湯タンクの寸法・貯湯量はP.92をご参照ください。
※3：リモコン接続線はお客様手配品です。弊社指定品を必ずご使用ください。

性能仕様

65℃出湯

項目		外気温度							
		冬期 DB7℃/WB6℃		中間期 DB16℃/WB12℃		夏期 DB25℃/WB21℃		着霜期 DB2℃/WB1℃	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
性能	加熱能力(kW)	24.0	28.5	26.3	30.5	29.3	36.0	17.2	21.0
	貯湯能力(L/h)	369	438	471	546	615	755	247	301
	水温(℃)(給水→出湯)	9→65		17→65		24→65		5→65	
	消費電力(kW)※1	6.20	7.50	6.55	7.70	6.70	8.40	5.55	6.80
	年間加熱効率※2	50Hz：3.9 / 60Hz：3.8							

90℃出湯

項目		外気温度							
		冬期 DB7℃/WB6℃		中間期 DB16℃/WB12℃		夏期 DB25℃/WB21℃		着霜期 DB2℃/WB1℃	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
性能	加熱能力(kW)	24.5	28.5	25.5	30.5	27.0	33.5	18.1	21.9
	貯湯能力(L/h)	260	303	300	359	352	437	183	222
	水温(℃)(給水→出湯)	9→90		17→90		24→90		5→90	
	消費電力(kW)※1	7.40	8.85	7.50	9.25	7.80	9.70	6.45	7.85
循環加熱能力(kW)※3		13.2	13.0	14.0	18.0	15.2	17.5	10.2	10.0

※1：消費電力は、圧縮機、ファン、ポンプを含むユニット全体のものです。
※2：実際の使用状況に近い条件から求めた一年間の平均性能。
※3：60℃入水における循環加熱能力。出湯温度はなりゆきになります。
◆上記は、一般社団法人日本冷凍空調工業会規格(JRA4060:2014「業務用ヒートポンプ」)に準拠

中間期COP:4.0(65℃出湯、50Hz/60Hz)
一般社団法人日本冷凍空調工業会規格(JRA4060:2009「業務用ヒートポンプ」)に準拠

中型機 型番の見方

CHP-2500UC-5(中型機+2500L循環加熱仕様の場合)

CHP - 2500 U C - 5
- 5：当社識別コード
- C：循環加熱仕様
- U：熱源機とタンクのセット(ユニット)
- 2500：貯湯量2,500L(タンク5本)
- CHP：シリーズ

項目	記号			内容
機種	U			中型機熱源機(CHP-26H4)とタンクのセット
貯湯量/タンクラインナップ	標準タンク	標準仕様	500/1000/1500/2000/2500/3000/3500/4000	500L/1,000L/1,500L/2,000L/2,500L/3,000L/3,500L/4,000L
		循環加熱仕様	500/1000/1500/2000/2500/3000/3500	500L/1,000L/1,500L/2,000L/2,500L/3,000L/3,500L
仕様	なし			標準仕様
	C			循環加熱仕様(貯湯タンク+循環加熱用500Lタンク)

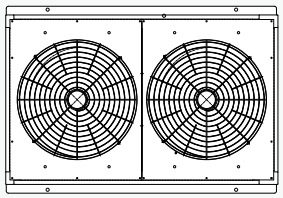
※仕様によっては型番が上記と異なる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

熱源機　CHP-26H4（標準仕様）／CHP-26H4C（循環加熱仕様）

単位：mm

本体質量：480kg
満水質量：500kg

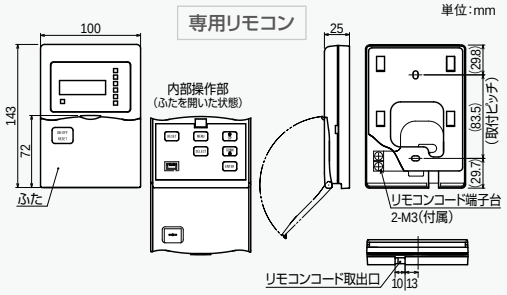
① 運転表示点検窓（正面）
② 外部信号等接続口（センサー等φ24下穴）
③ 電源取入口（φ39下穴）
④ 制御盤位置（正面）
⑤ 温水出口Rc3/4（20A、CAC406）
⑥ 給水入口Rc3/4（20A、CAC406）
⑦ 空気熱交換器ルームドレンRc1（25A、C3604BD）
⑧ 水抜き口Rc3/4（20A、CAC406）

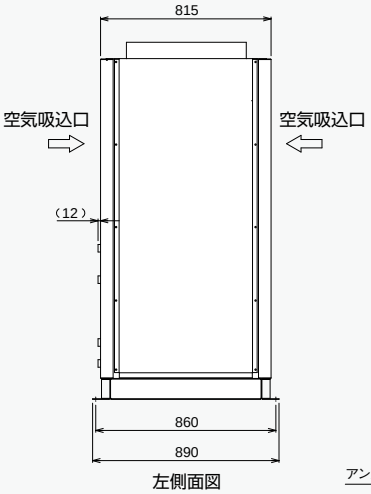


上面図

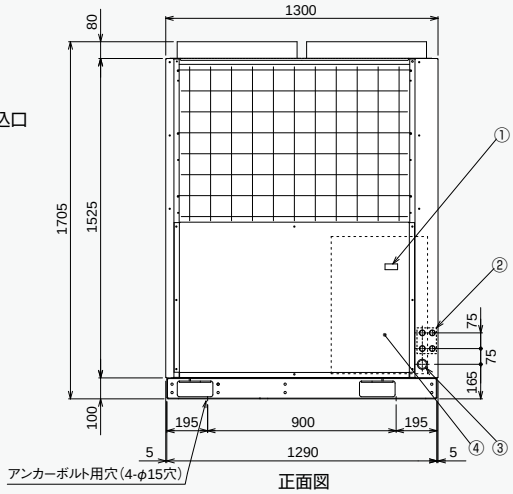
専用リモコン

単位：mm

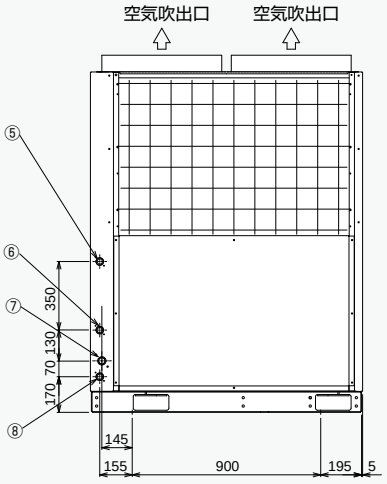




左側面図



正面図

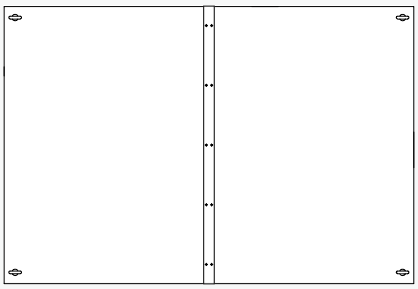


背面図

貯湯タンクユニット　CHP-T/TC（標準タンクユニット）

①タンク排水口 Rc1 1/4（SUS304）
②給水出口 Rc3/4（20A、CAC406、熱源機へ）
③給水接続口Rc1 1/4（SUS304）
④温水入口 Rc3/4（20A、CAC406、熱源機より）
⑤アンカーボルト取付穴（6-φ22穴）
⑥温度センサー連絡線引込口（φ24下穴）
⑦凍結防止ヒーター用電源引込口（φ24下穴）
⑧給湯接続口 Rc1 1/4（SUS316）
⑨温度センサー連絡線接続箱
⑩逃し弁点検窓
⑪加熱水出口 Rc1 1/4（SUS316）
⑫加熱水入口 Rc1 1/4（SUS316）
⑬配線等引込口（φ24下穴）

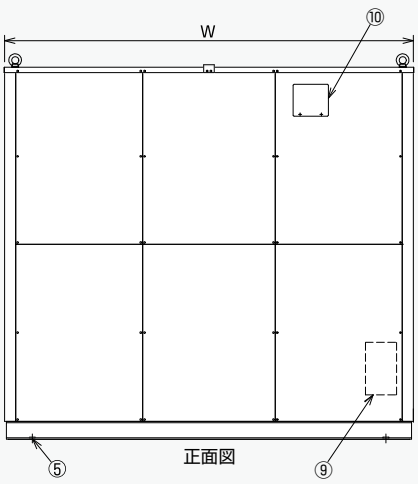
※⑪～⑬は循環加熱仕様



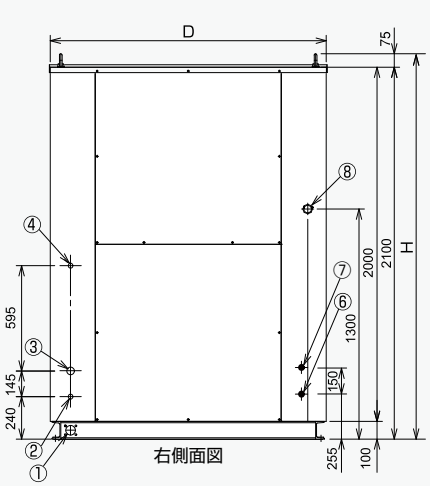
上面図

型番		貯湯量(ℓ)		質量(kg) 本体		質量(kg) 満水		寸法(mm) W	D	H	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ
CHP-500T	–	500	–	260	–	770	–	920	920	2,165	–	–	–	–	–	–	–
CHP-1000T	**CHP-500TC**	1,000	**500**	440	**450**	1,450	**1,460**	1,560	920	2,165	595	145	240	345	355	545	755
CHP-1500T	**CHP-1000TC**	1,500	**1,000**	570	**580**	2,090	**2,100**	2,310	920	2,165							
CHP-2000T	**CHP-1500TC**	2,000	**1,500**	620	**630**	2,640	**2,650**	1,560	1,560	2,175							
CHP-2500T	**CHP-2000TC**	2,500	**2,000**	770	**780**	3,300	**3,310**	2,310	1,560	2,175							
CHP-3000T	**CHP-2500TC**	3,000	**2,500**	830	**840**	3,850	**3,860**	2,310	1,560	2,175	1,539	245	140	665	675	385	915
CHP-3500T	**CHP-3000TC**	3,500	**3,000**	980	**990**	4,510	**4,520**	3,060	1,560	2,175							
CHP-4000T	**CHP-3500TC**	4,000	**3,500**	1,040	**1,050**	5,060	**5,070**	3,060	1,560	2,175							

※太字は循環加熱仕様

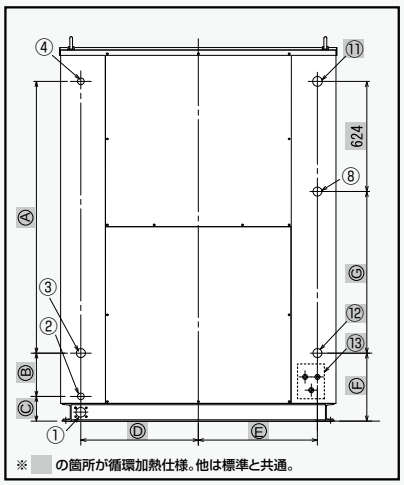


正面図



右側面図

循環加熱仕様 右側面図

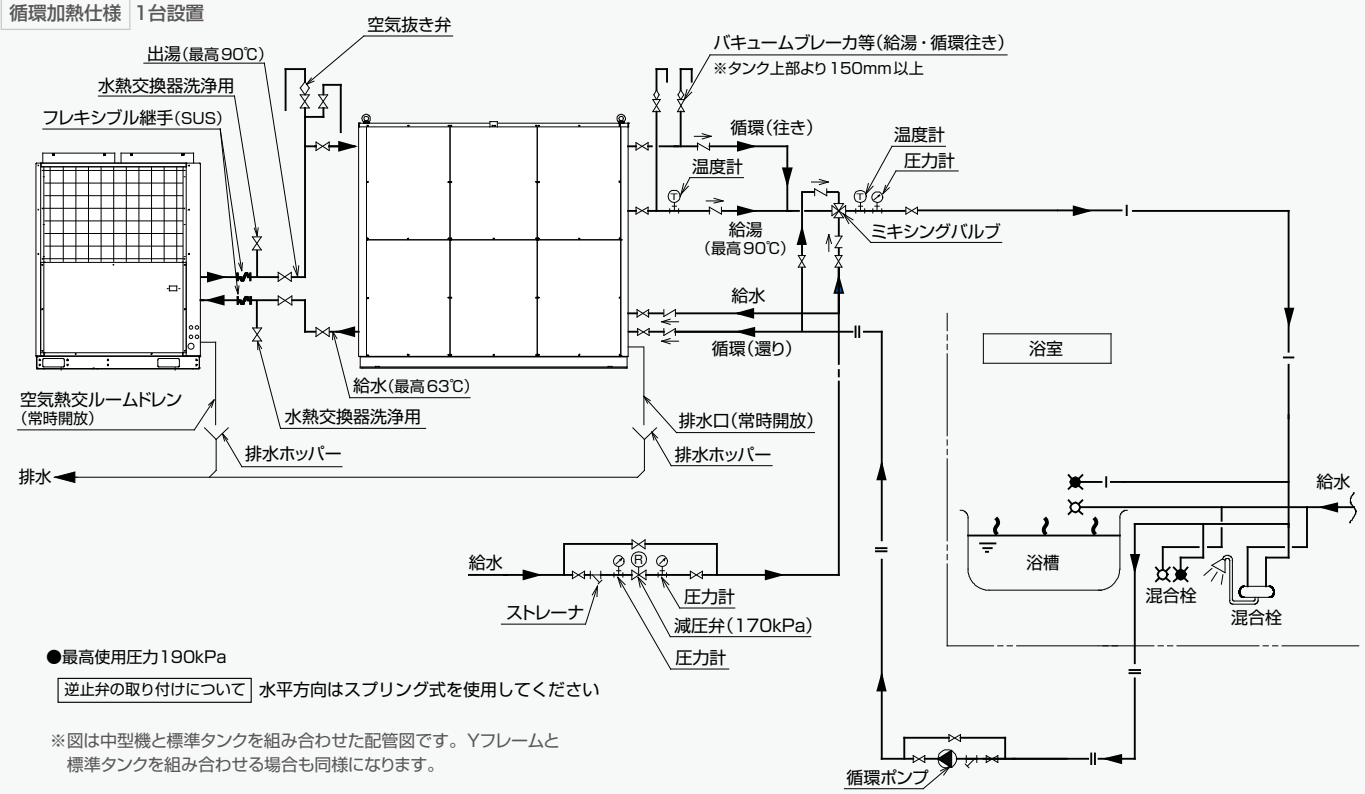


※ ■ の箇所が循環加熱仕様。他は標準と共通。

配管施工例

■熱源機と貯湯槽を上下に設置する場合の使用限界はP.98をご参照ください。

循環加熱仕様　1台設置

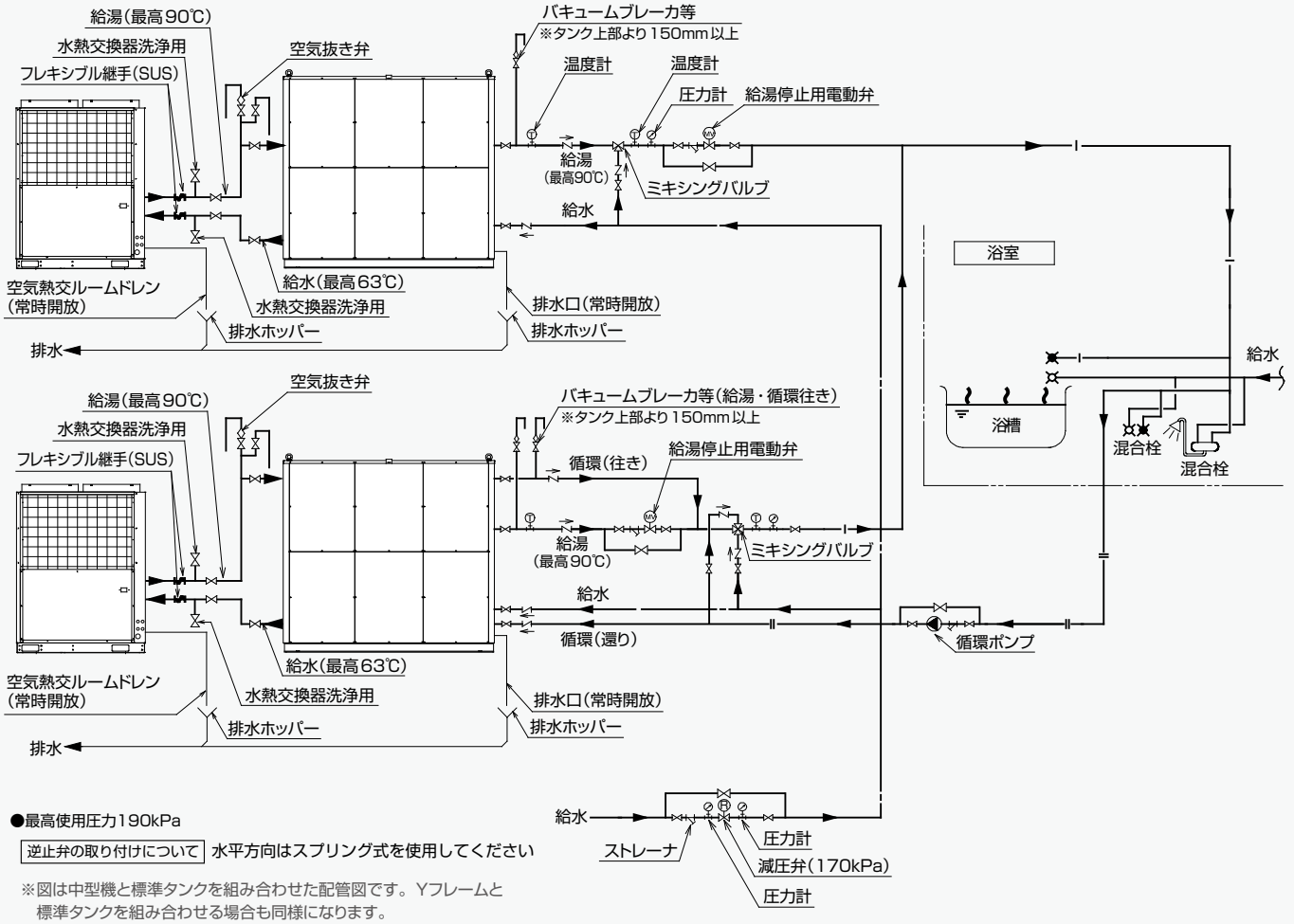


●最高使用圧力190kPa

逆止弁の取り付けについて　水平方向はスプリング式を使用してください

※図は中型機と標準タンクを組み合わせた配管図です。Yフレームと標準タンクを組み合わせる場合も同様になります。

標準仕様+循環加熱仕様　各1台設置

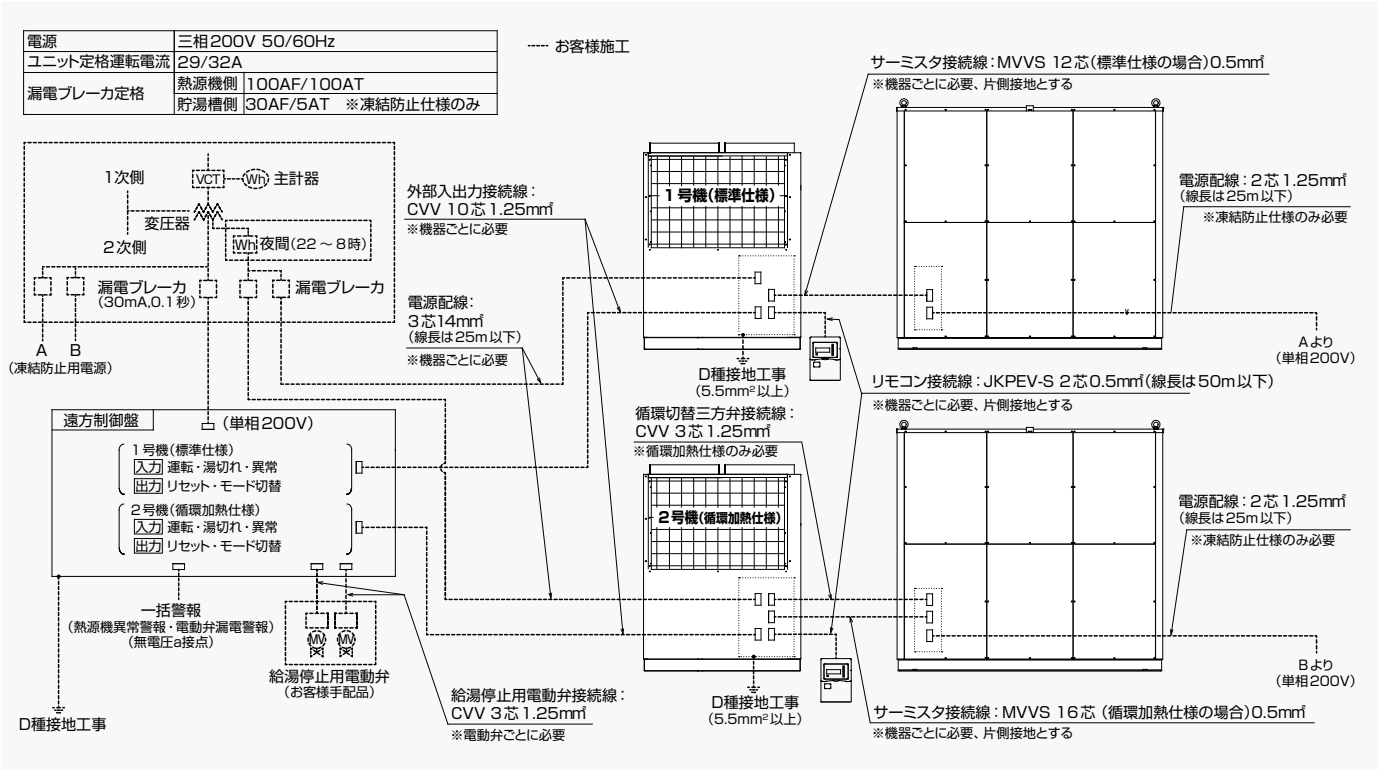


●最高使用圧力190kPa

逆止弁の取り付けについて　水平方向はスプリング式を使用してください

※図は中型機と標準タンクを組み合わせた配管図です。Yフレームと標準タンクを組み合わせる場合も同様になります。

中型機　電気配線施工例　※詳細配線は除く



業務用エコキュート 中型機 施工時の注意事項

詳細は技術ガイドをご確認ください。

【設置場所についての注意事項】

●据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼してください。●据え付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。●機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼してください。●基礎に固定されているか確認してください。●油(機械油を含む)の飛沫や蒸気所、温泉地等の硫化ガスの発生する所など、特殊な場所で使用すると故障の原因となります。●高周波を発生する機械がある所は避けてください。●搬入試運転、日常の保守のため、メンテナンススペース、風吸込みスペース、通路、手すり等を確保してください。●設置場所までの経路ではタラップ、鉄梯子、ハッチ等は安全のため避けてください。●熱源機の吹出口、吸込口の近くに障害物を置かないでください。性能が低下したり、保護装置が働いたりし、運転ができないことがあります。●強い風が熱源機の吹出口に向かって吹きつけるおそれのある所は避けてください。●降雪地区でのご使用の場合、熱源機に防雪フードなどを取り付けてください。●山間部や樹木の多い場所では、ネットの取付等の落ち葉対策を講じてください。●貯湯槽ユニットは、タンク内の湯水を排水するための排水溝を設けることが可能な場所に据え付けてください。●運転音や振動が他へ伝わったり増大したりしないよう強度が十分な場所を選んで機器を設置してください。●異常音が発生しないよう基礎の強度、水平度を充分確認して据え付けてください。●熱源機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選んで機器を設置してください。

【電気工事についての注意事項】

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据え付け説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。●漏電ブレーカを取り付けてください。●ブレーカの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。●アース線を必ず接続してください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。●アース(接地)工事は万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程および据え付け説明書に基づき、電気工事士によるD種接地工事(接地抵抗値100Ω以下)を行ってください。ブレーカの定格および電線の太さは、内線規程に定められたものを使用してください。●電源電圧200V±10%以内、相間電圧アンバランス3%以内でご使用ください。●必要に応じて、ノイズ対策および、高調波抑制対策ガイドラインに基づき、対策をしてください。●ノイズによる誤動作防止のためリモコン接続線は中継接続は避け、電源線と同一管内に収めないでください。●リモコン接続線およびサーミスタ接続線は、ノイズによる誤動作防止のため弊社指定品を必ずご使用ください。別売品として販売しております。詳細は販売店にお問い合わせください。

【指定リモコン接続線:JKPEV-S 2芯 0.5mm2　50m以下】

【配管工事についての注意事項】

●当該水道事業者の条例に基づき認定水道業者が施工してください。●技術ガイドの水質基準に適合した水道水以外は原則として使用しないでください。井戸水などは腐食などにより漏水することがありますので、使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。●熱源機と組み合わせる貯湯槽の仕様に合わせた減圧弁を設置、設定してください。●各接続配管には必ずユニオン継手を使用し、給水接続口付近にはストレーナ、止水弁を取り付けてください。●給湯配管は100℃以上の耐熱性、耐食性を有する材料をご使用ください。(銅管、ステンレス鋼管等)●湯切れの際に給湯を止めるための電動弁を取り付けてください。設置台数や使用方法により取付有無が変わりますので詳細は販売店にご相談ください。●階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁･バキュームブレーカ･定流量弁などの負圧対策を行ってください。●異種金属を接続する場合は、絶縁フランジなどを使用して異種金属接触腐食対策を行ってください。●熱源機と貯湯槽が水平設置の場合、放熱、配管抵抗を考慮し5m以内が理想です。●凍結のおそれがある場合には、凍結防止工事を行ってください。●タンク排水口は膨張水を排水するため、必ず開放とし排水ホッパーを設け、排水管は耐熱性･耐食性を有する材料を使用してください。(耐熱塩ビ管など) 高温の膨張水が排出される場合があります。

製品仕様　業務用エコキュート 小型機　製品の特長・価格についてはP.51

仕様表 小型機

	シリーズ名	[水道直圧給湯]小型機
システム	システム型式	CHP-101005K
	仕向地(設置地域)	一般地(-10℃まで対応)
	適用電力契約	業務用電力／低圧電力
	電源	三相200V 50／60Hz 共用
	電源容量(ブレーカー容量／力率)	12A(20A／95%)
	使用保証外気温度	-10℃～43℃
	沸き上げ温度設定	65℃～90℃
	給湯温度設定(設定温度給湯側)	35℃～48℃、50℃、55℃、60℃
	設置場所	屋外
	日本水道協会 給水用具認証登録	A-436
ヒートポンプユニット	型式	CHP-10H
	年間加熱効率	4.0
	入水温度範囲	5℃～55℃
	運転音(中間期／冬期)	47dB／51dB
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	920×792(+117)×299(+62)(mm)
	質量	73kg
	冷媒名及び封入量	R744(CO2) 1.25kg
	設計圧力	高圧部：13.3MPa/低圧部：8.0MPa

直圧給湯対応貯湯ユニット	型式		CHP-560T
	タンク容量		560L
	減圧弁圧力		170kPa
	最高使用圧力	高温給湯側	190kPa
		設定温度給湯側	500kPa
	タンク保温性能(10時間放置後の温度低下)		2.5℃
	外形寸法(高さ×幅×奥行)		2,132×685×800(mm)
	質量(製品質量／満水時質量)		83kg/約643kg
リモコン	給湯温度設定(設定温度給湯側)		35℃～48℃、50℃、55℃、60℃
	設置場所		屋内
制御仕様	停電バックアップ		48 時間
	給湯停止弁出力		開／閉×2回路
	ピークカット		最大12時間
	休止設定		日数・曜日・期間
	残湯量実績表示		●
	給湯量実績表示		●

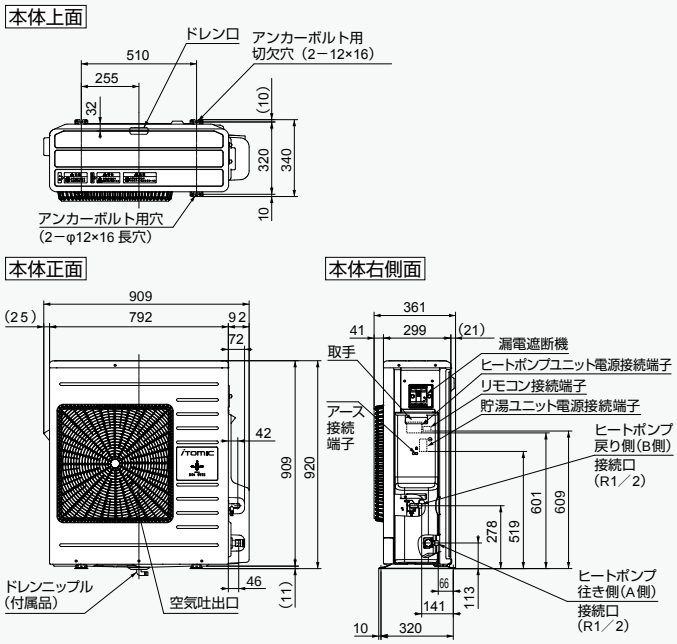
性能仕様 小型機

加熱特性		着霜期 (外気温度 DB2℃／WB1℃)	冬期 (外気温度 DB7℃／WB6℃)	中間期 (外気温度 DB16℃／WB12℃)	夏期 (外気温度 DB25℃／WB21℃)
65℃ 設定時 (標準条件)	加熱能力	7.1kW	9.0kW	10.0kW	9.0kW
	沸き上げ量	102L/h	138L/h	179L/h	189L/h
	沸き上げ温度	65℃	65℃	65℃	65℃
	入水温度	5℃	9℃	17℃	24℃
	消費電力	2.48kW	2.33kW	2.33kW	1.90kW
	年間加熱効率	4.0			
90℃ 設定時 (高温条件)	加熱能力	7.5kW	9.0kW	10.0kW	9.0kW
	沸き上げ量	76L/h	96L/h	118L/h	117L/h
	沸き上げ温度	90℃	90℃	90℃	90℃
	入水温度	5℃	9℃	17℃	24℃
	消費電力	2.85kW	2.85kW	3.03kW	2.50kW

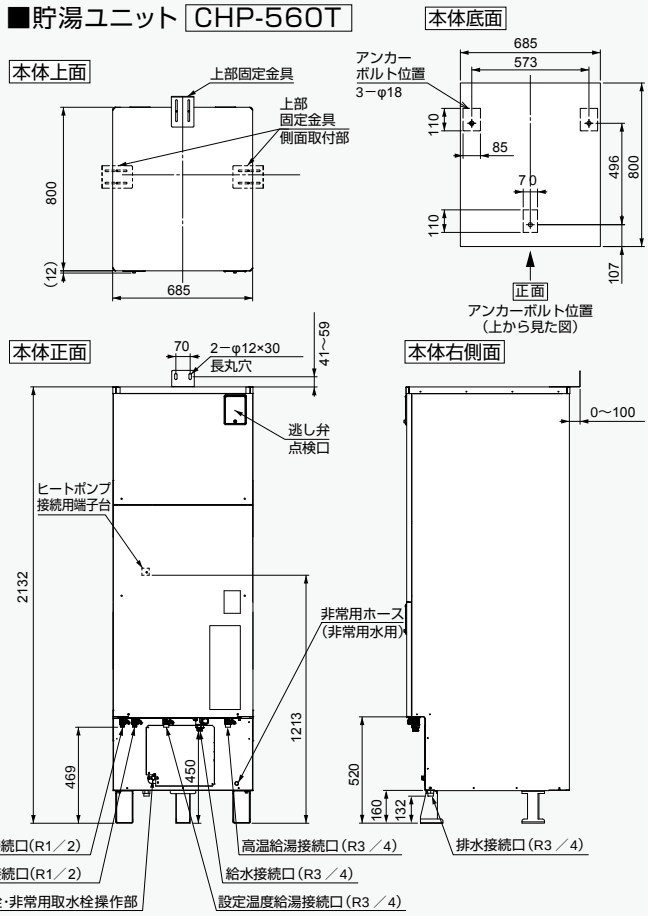
◆上記は日本冷凍空調工業会規格(JRA4060:2014)に準拠

寸法・各部名称

■ヒートポンプユニット CHP-10H

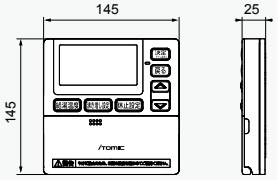


■貯湯ユニット CHP-560T



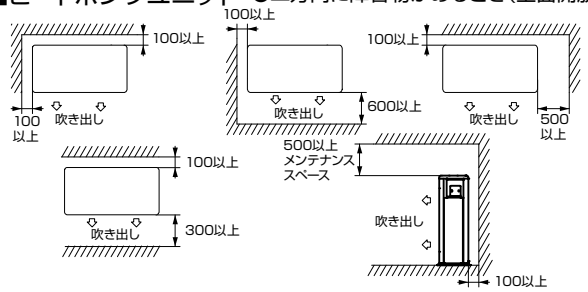
■リモコン

●リモコンは周囲温度 -10℃～43℃の場所に設置してください。

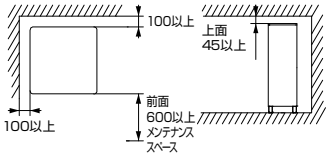


据え付け必要寸法（単位：mm）

■ヒートポンプユニット ●二方向に障害物があるとき（上面開放）



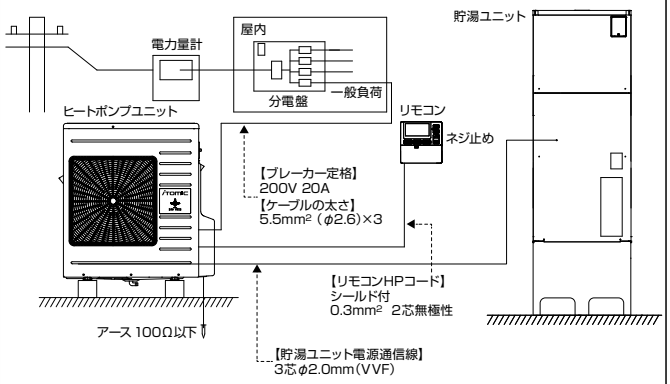
■貯湯ユニット



※三方向に障害があるときやビルトイン設置をする場合は、販売店にお問い合わせください。※ヒートポンプユニットは運転中に運転音が発生し冷風が出ますので、住宅の近くやご近所の迷惑になるような場所には設置しないでください。　※ヒートポンプユニットは四方が閉塞された深さ1m以上の窪地のような場所には設置しないでください。※積雪地区に据え付ける場合は、雪が空気吸込口、吹出口から入らないようにしてください。

電気配線工事

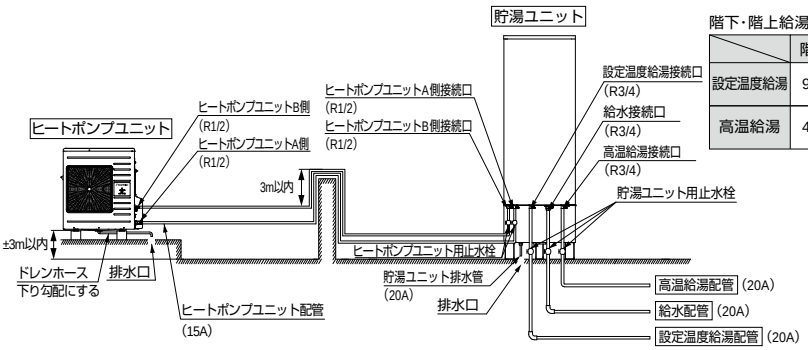
■電気配線工事概要



配管施工の据え付け制約

●ヒートポンプユニット接続配管
配管全長：15m以内(片道)
曲り箇所：10か所まで(片道)
高低差：±3m以内
配管：15A銅管または
　　95℃以上の耐熱性、耐食性を有するもの

- 給湯配管を鳥居配管とする場合は最上部に空気抜き弁を取り付けてください。
- 階下給湯の場合は貯湯ユニットの直近の給湯配管に吸気弁と空気抜き弁を取り付けてください。
- ヒートポンプユニットを貯湯ユニットより高い位置に設置する場合は、出湯配管の立ち上げ部の角に自動空気抜き弁を設置してください。



階下・階上給湯

	階上給湯	階下給湯
設定温度給湯	9m以内	-15m以内
高温給湯	4m以内	-3.5m以内

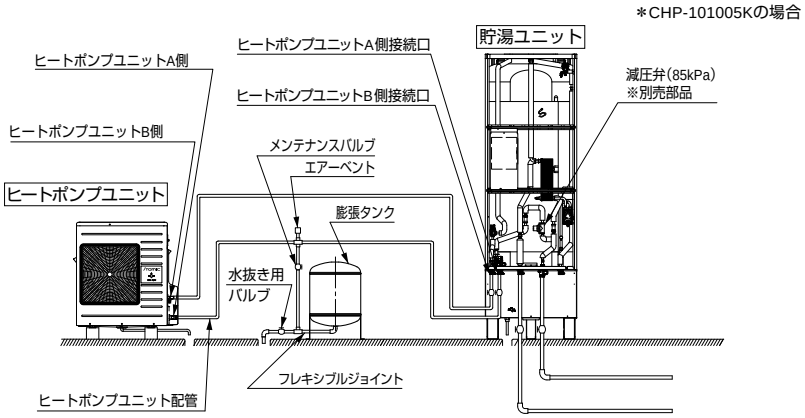
井戸水及び硬度の高い水道水使用時について

●お客様にて別途膨張タンクをご準備いただく必要があります。
●膨張タンクは、最高使用圧力200kPa以上、封入圧力100kPa、最大使用入水量は下記のものをご使用ください。

貯湯ユニット		
1本	2本	3本
19L 以上	38L 以上	56L 以上

※屋外設置方法などの対応については、膨張タンクのメーカーが指定する方法に従ってください。
●ヒートポンプユニット、貯湯タンク、膨張タンクの高低差は1m以内にしてください。
●貯湯ユニット給水側に別売の85kPaの減圧弁を取り付けてください。
●本機での給水元圧は300kPa以上をおすすめします。
●井戸ポンプには砂こし器（60メッシュ以上）を設置する等、異物が本機に流入しないようにしてください。
●水は飲料水の基準に適合し下記水質基準を満たした水でご使用ください。

＊CHP-101005Kの場合



井戸水使用水質基準

水素イオン濃度(25℃)	5.8～8.6pH
電気伝導率(25℃)	70mS/m以下
塩化物イオン Cl^-	100mg/L 以下
硫酸イオン SO_4^{2-}	50mg/L 以下
Mアルカリ度pH4.8（酸消費量）	75mg/L 以下

全硬度 $CaCO_3$	200mg/L 以下
カルシウム硬度 $CaCO_3$	150mg/L 以下
シリカ SiO_2	50mg/L 以下
イオウイオン S^{2-}	検出されないこと
アンモニウムイオン NH_4^+	0.1mg/L 以下

鉄 Fe	0.3mg/L 以下
銅 Cu	1.0mg/L 以下
残留塩素 Cl	1.0mg/L 以下
遊離炭酸 CO_2	30mg/L 以下

※水質により本商品の部品が腐食、劣化した場合は、有償にて部品交換致します。

推奨部品

■PAMインバーター 浅井戸用自動コンパクトポンプ（日立アプライアンス株式会社）

型式	出力	電源	全揚程	吸上高さ	揚水量	業務用エコキュート適用
WM-P400W	400W	単相100V（50/60Hz共用）	12m	8m	42L/分	10kWタイプ1システムまで
WM-K750W	750W	三相200V（50/60Hz共用）	12m	7m	64L/分	10kWタイプ2システムまで 15kWタイプ1システムまで

■砂こし器（日立アプライアンス株式会社）

型式	材質	フィルター網目	配管口径	業務用エコキュート適用
GF-30W	砲金	100メッシュ	30mm	10kWタイプ2システムまで 15kWタイプ1システムまで
GF-C30W	鋳鉄	100メッシュ	30mm	

☆この価格は事業者様向けの積算見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。詳しくは日立ポンプ総合カタログをご覧ください。

■給湯停止弁（株式会社ベン製）

製品記号	呼び径	タイプ	給水用具認証登録番号
BM-13SHN	20A	標準タイプ	E-487
		フルボアタイプ	-
	25A	標準タイプ	E-487
		フルボアタイプ	-

■逆止弁（株式会社ベン製）

		製品記号
呼び径	20A	CS7N-F
	25A	CS7N-F
	32A	CS7N-F
	40A	CS7N-F
	50A	CS7N-F

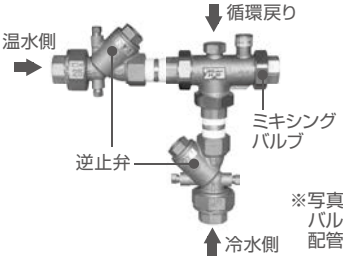
給水用具認証登録番号 F-113

■ミキシングバルブセット（株式会社ベン製）

		製品記号
呼び径	25A	JRG3400N-936
	32A	JRG3400N-946
	40A	JRG3400N-956
	50A	JRG3400N-966

給水用具認証登録番号 E-604

●ミキシングバルブ1個と逆止弁2個のセットです。



※写真はミキシングバルブセット。配管径25A用です。

■膨張タンク（日立金属株式会社製）

	型式
給湯用膨張タンク	ST-76V
	ST-116V
	ST-167V

※屋外設置の場合は同形式の屋外仕様を指定の上、価格はメーカーにお問い合わせください。

※製品記号や価格は2015年1月現在のものです。ご購入および詳細については下記にお問い合わせください。

株式会社ベン：営業本部　TEL:03（3759）0170　FAX:03（3759）1414
日立金属株式会社：営業統括部　TEL:03（5765）4289　FAX:03（5765）8313

日立アプライアンス株式会社製品の問い合わせ先
日立コンシューマ・マーケティング（株）
家電ビジネス情報センター　TEL:0120（3121）19　FAX:0120（3121）34

業務用エコキュート 小型機 施工時の注意事項

詳細は工事要領書をご確認ください。

【設置場所についての注意事項】

●据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼してください。●据え付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。●機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼してください。●基礎に固定されているか確認してください。●塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）、油（機械油を含む）の飛沫や蒸気所、温泉地等の硫化ガスの発生する所、船舶・車両など、特殊な場所には据え付けないでください。（塩害処理は耐塩害仕様と耐重塩害仕様があり、別途費用がかかります。）●高周波を発生する機械がある所は避けてください。●搬入試運転、日常の保守のため、メンテナンススペース、風吸込みスペース、通路、手すり等を確保してください。●設置場所までの経路ではタラップ、鉄梯子、ハッチ等は安全のため避けてください。●熱源機の吹出口、吸込口の近くに障害物を置かないでください。性能が低下したり、保護装置が働いたりし、運転ができないことがあります。●強い風が熱源機の吹出口に向かって吹きつけるおそれのある所は避けてください。●降雪地区でのご使用の場合、熱源機に防雪フードと高置台などを取り付けてください。また、積雪により製品が埋まったり天板に積雪しないよう、雪解けを設置するか、あるいは雪かきを行ってください。●山間部や樹木の多い場所では、ネットの取付等の落ち葉対策を講じてください。●貯湯槽ユニットは、タンク内の湯水を排水するための排水溝を設けることが可能な場所に据え付けてください。また、火山による降灰等が発生する地域での設置には、ドレン水の詰りが発生しやすいので、ドレンエルボ部分は取り外して清掃できるようにしてください。●運転音や振動が他へ伝わったり増大したりしないよう強度が十分な場所を選んで機器を設置してください。●異常音が発生しないよう基礎の強度、水平度を充分確認して据え付けてください。●熱源機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選んで機器を設置してください。●ヒートポンプユニットは屋外に据え付けてください。●直圧給湯対応ユニットは給湯中に運転音が発生します。また、ヒートポンプユニットは沸し上げ中や沸き増し中、および凍結防止運転中には運転音が発生し、冷風が出ますので、住宅近くやご近所の迷惑になる場所には据え付けないでください。ヒートポンプユニットは夜間にも運転しますので特にご注意ください。

【電気工事についての注意事項】

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据え付け説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。●漏電ブレーカを取り付けてください。●ブレーカの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。●アース線を必ず接続してください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。●アース（接地）工事は万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程および据え付け説明書に基づき、電気工事士によるD種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行ってください。ブレーカの定格および電線の太さは、内線規程に定められたものを使用してください。●リモコン接続線は中継接続や、電力線と同一管内に収めないでください。●電源電圧200V±10%以内、相間電圧アンバランス3%以内でご使用ください。●電力契約の種類によって、電気料金単価が異なります。

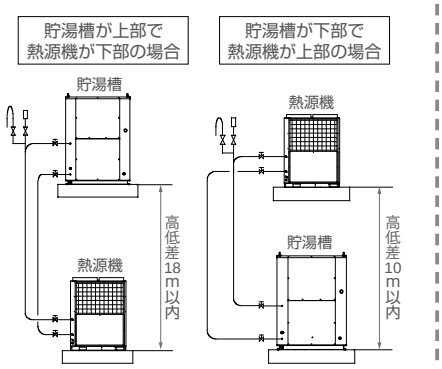
【配管工事についての注意事項】

●上水道に直結する場合は、当該水道事業者の条例に基づき認定水道業者が指定された配管材料を使って施工してください。●技術ガイドの水質基準に適合した水道水以外は原則として使用しないでください。（補償の適用外になります。）井戸水などは腐食などにより漏水することがありますので、使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。温泉水は使用できません。●使用方法に合わせた減圧弁を設置、設定してください。●各接続配管には必ずユニオン継手を使用し、給水接続口付近にはストレーナ、止水弁を取り付けてください。●給湯配管は100℃以上の耐熱性、耐食性を有する材料をご使用ください。（銅管、ステンレス鋼管等）●複数台を並列に接続する場合は、偏流を防止するため電動弁を取り付けてください。設置台数や使用方法により取付有無が変わりますので詳細は販売店にご相談ください。●階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁・バキュームブレーカ・定流量弁などの負圧対策を行ってください。●異種金属を接続する場合は、絶縁フランジなどを使用して異種金属接触腐食対策を行ってください。●凍結のおそれがある場合には、凍結防止工事を行ってください。●タンク排水口は膨張水を排水するため、必ず開放とし排水ホッパーを設け、排水管は耐熱性・耐食性を有する材料を使用してください。（耐熱塩ビ管など）高温の膨張水が排出される場合があります。●貯湯ユニット内およびタンク関連配管には逆止弁を取付けないでください。

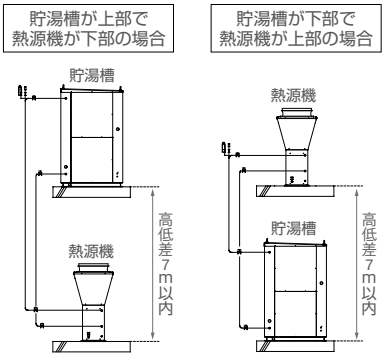
その他工事関連（中型機・Y フレームの場合。小型機については P.96 をご参照ください。）

熱源機と貯湯槽を上下に設置する場合の使用限界

中型機と標準タンクを組み合わせる場合



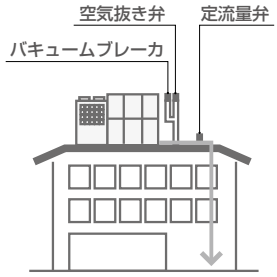
Yフレームと標準タンク/高圧タンクを組み合わせる場合



※図は標準タンク

階下給湯について

階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁・バキュームブレーカ・定流量弁などの負圧対策を行ってください。※詳しくはお問い合わせください。



配管口径一覧

熱源機

配管口＼シリーズ	Y フレーム	中型機	小型機
温水・給水	Rc1(25A)	Rc¾(20A)	R ½(15A)
空気熱交ルームドレン	Rc1(25A)	Rc1(25A)	φ32
水抜き口	Rc¾(20A)	Rc¾(20A)	※

※技術資料をご確認ください。

貯湯タンク

シリーズ		標準タンク										高圧タンク		
標準仕様	貯湯量(L)＼配管口	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	4,800	6,000	6,000	8,000	10,000
	温水・給水(熱源機側)	Rc3/4(20A)								Rc1(25A)		Rc1(25A)		
	給湯・給水	Rc1(25A)				Rc1 ¼(32A)				Rc2(50A)		Rc2(50A)		
	排水口	Rc1(25A)			Rc1 ¼(32A)					Rc1 ¼(32A)		Rc1 ¼(32A)		
循環加熱仕様	貯湯量(L)＼配管口	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	—	4,200	5,400	6,000	8,000	10,000
	温水・給水(熱源機側)	Rc¾(20A)							—	Rc1(25A)		Rc1(25A)		
	給湯・給水	Rc1(25A)			Rc1 ¼(32A)				—	Rc2(50A)		Rc2(50A)		
	排水口	Rc1(25A)		Rc1 ¼(32A)					—	Rc1 ¼(32A)		Rc1 ¼(32A)		
	加熱水入口・出口(循環)	Rc1(25A)		Rc1 ¼(32A)					—	Rc2(32A)	Rc2(50A)	Rc1(25A)		

シリーズ		小型機タンクユニット
標準仕様	貯湯量(L)＼配管口	560
	温水・給水(熱源機側)	R ½(15A)
	給湯・給水	R¾(20A)
	排水口	R¾(20A)

※熱源機1台・タンク1台を接続する際の仕様です。タンクを複数台接続する際の仕様については技術資料をご確認ください。

配管施工 推奨バルブ類　※お客様手配品　※小型機についてはP.97をご参照ください

ミキシングバルブ
JRG3400N型
温水と冷水を接続するだけで給湯温度をコントロール。循環式にも対応可能。直結給水も可能です。

減圧弁
RD-31N 型
給水一次側には必ず減圧弁を取り付けてください。

電動バルブ
BM-12SHN 型
複数台設置時に、湯切れを起こしたシステムの給湯を止めることで水の混入を防ぎます。

バキュームブレーカ
VD-5N 型
階下給湯を行う場合は必ず設置してください。

逆止弁（スプリング式）
CS-7N 型
流体の流れを常に一定方向に保ち、逆流を防止します。

空気抜き弁
AF-10 型
配管などに留まる空気を自動的に排出します。

※掲載しているバルブ類は全て株式会社ベンの製品です。詳細はメーカーへお問い合わせください。

対応可能機種　Y Yフレーム　小 小型機　中 中型機

耐塩害・耐重塩害仕様　Y 小 中

日本冷凍空調工業会規格(JRA9002)に基づいた塗装を外装や機器に施すことと、材質を強化することによって、海塩粒子が機器に付着して発生する腐食を起こりにくくする仕様です。耐重塩害仕様は耐塩害仕様よりもさらに塗装回数(厚み)を多くした仕様です。

凍結防止・寒冷地仕様　Y 中

凍結防止仕様は熱源機およびタンクユニット内の配管部に凍結防止ベルトヒーターを取り付けた仕様です(ヒーターは設定温度で自動でON。−15℃まで対応)。寒冷地仕様ではさらに熱源機内で水を循環させることで凍結を防ぎます。(−20℃まで対応)

※デフロスト運転時は貯湯できません。

高温給水仕様　Y 中

入水温度で運転制御を行う仕様です。熱源機への入水温度最高 63℃までの対応となります。

※高水圧対応仕様との組み合わせも可能です。
※入水温度≦59℃で運転開始します(起動確認動作)

熱源機単独での仕様のため、当社タンクユニットは使用できません。別途タンクが必要です。

水道法適合品　Y 小 中

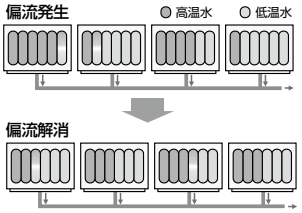
日本水道協会(JWWA)規定に基づき、バルブ等部材の信頼性を高めた仕様で、水道本管からの直結給水を行う場合はこの仕様をご指定ください。

※導入には所轄の水道局への確認が必要となります。
※給水用具認証番号:A-377(Yフレーム/中型機), A-436(小型機)

複数台制御仕様　Y 中

エコキュートを複数台設置した際に発生する「偏流」を、自動で給湯調整を行うことで解消する仕様です。均等給湯を可能にし、エネルギーのムダ使いを減らします。

※制御可能台数は最大7台、同時給湯台数は最大4台まで設定可能です。



高水圧対応仕様　中

中型機の熱源機の耐水圧を490kPaまで高めた仕様です。外形寸法は変わりません。

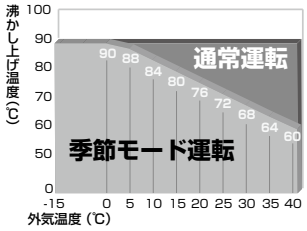
※入水温度50℃までですが、高温給水仕様と組み合わせることで最高63℃まで対応可能です。
※Yフレームの熱源機は標準で高水圧対応です。
※別途タンクが必要になります。

循環加熱仕様　Y 中

即湯循環式に対応したシステムです。

季節モード　中

外気温度に応じて沸かし上げ温度を変化させる運転モードです。高温のお湯がそれほど必要ではない夏にこのモードで運転することでムダな沸かし上げ運転を削減できます。



国土交通省指定の仕様に対応

国土交通省監修の公共建築工事標準共通仕様書（平成 25 年度版）に基づき、標準仕様にて対応しています。

各種仕様における型番について
仕様によっては型番末尾の記号が標準仕様と異なります。詳しくはお問い合わせください。

水質の基準について

水道水を使用しても、水質によっては、水ポンプ、水制御弁、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなることがあります。本装置の使用に際しては、以下の水質基準表に適合した水道水を使用してください。一項目でも基準値を超えるものがある場合は、比較的短時間に障害の危険があると判断されます。

※小型機で井戸水を使用する場合はP.96をご参照ください。

冷凍空調器用水質ガイドライン JRA-GL-02-1994に準ずる

	項目	基準値 補給水	基準値 循環水	傾向 腐食	傾向 スケール生成
基準項目	pH（25℃）	7.0～8.0	7.0～8.0	○	○
	電気伝導率(25℃)（mS/m）	30以下	30以下	○	○
	塩化物イオン（mgCl⁻/L）	30以下	30以下	○	
	硫酸イオン（mgSO_4^{2-}/L）	30以下	30以下	○	
	酸消費量(pH4.8)（mg$CaCO_3$/L）	50以下	50以下		○
	全硬度（mg$CaCO_3$/L）	70以下	70以下		○
	カルシウム硬度（mg$CaCO_3$/L）	50以下	50以下		○
	イオン状シリカ（mgSiO_2/L）	30以下	30以下		○

	項目	基準値 補給水	基準値 循環水	傾向 腐食	傾向 スケール生成
参考項目	鉄（mgFe/L）	0.3以下	1.0以下	○	○
	銅（mgCu/L）	0.1以下	1.0以下	○	
	硫化物イオン（mgS^{2-}/L）	検出されないこと	検出されないこと	○	
	アンモニウムイオン（mgNH_4^+/L）	0.1以下	0.1以下	○	
	残留塩素（mgCl/L）	0.3以下	0.1以下	○	
	遊離炭酸（mgCO_2/L）	4.0以下	0.4以下	○	

注1：傾向欄内の○印は、腐食または、スケール生成傾向のいずれかに関する因子を示す。
注2：参考項目の成分も含有されると障害を起こす事は、はっきりしているが、含有量との定量的関係がまだ得られていないので基準項目に準じる値とする。

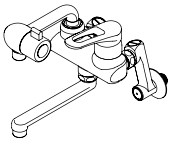
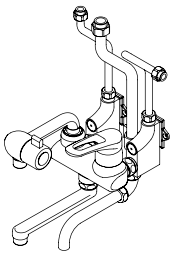
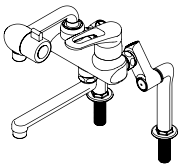
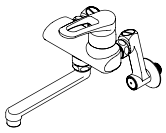
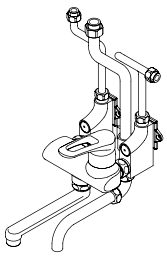
熱源機と貯湯タンクの対応表

熱源機種別	タンク種別		タンク貯湯量(L)											
中型機	標準	標準仕様	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	−	−	−	−
		循環加熱仕様	−	500 +500	1,000 +500	1,500 +500	2,000 +500	2,500 +500	3,000 +500	3,500 +500	−	−	−	−
Yフレーム	標準	標準仕様	−	−	−	−	−	−	−	−	4,800	6,000	−	−
		循環加熱仕様	−	−	−	−	−	−	−	−	4,200 +600	5,400 +600	−	−
	高圧	標準仕様	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6,000	8,000	10,000
		循環加熱仕様	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6,000 +800	8,000 +800	10,000 +800

※循環加熱仕様タンクの「+」以降の数字は循環専用タンクの貯湯量になります。

仕様表 MZ-N3/N3Pシリーズ

▶MZ-6N3～9N3、MZ-N3Pシリーズ、寸法図は次ページ以降

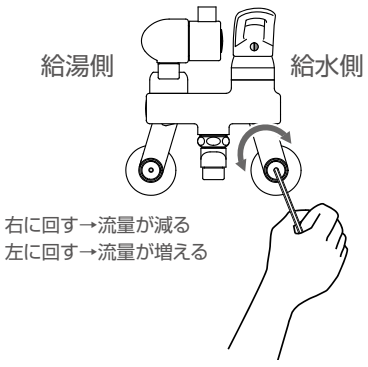
名称	まぜまぜ(MZ-N3)				
対応シリーズ	EWS/EWRシリーズ				
対応製品	EWS/EWR	EWS※4	EWS/EWR		EWS※4
型番	MZ-1N3	MZ-2N3	MZ-3N3	MZ-4N3	MZ-5N3
製品外観※1					
配管方法	埋め込み配管	露出配管	立ち上がり配管	埋め込み配管	露出配管
機能※2	熱 混 水	熱 混 水	熱 混 水	混 水	混 水
本体質量(kg)	3.4	4.9	4.2	2.8	4.3
給水圧力	0.05～0.3MPa				
付属品※3	●送り座金×2 ●六角棒スパナ	●タッピング皿ネジ×4 ●オーバーフロー管セット×1 ●オーバーフロー管固定バンド×1 ●オーバーフロー管固定バンド用ネジ×2 ●給水管×2 ●給湯管×1 ●給水アダプタ×1 ●パッキン×8 ●六角棒スパナ	●取付脚×2 ●六角棒スパナ	●送り座金×2 ●六角棒スパナ	●タッピング皿ネジ×4 ●オーバーフロー管セット×1 ●オーバーフロー管固定バンド×1 ●オーバーフロー管固定バンド用ネジ×2 ●給水管×2 ●給湯管×1 ●給水アダプタ×1 ●パッキン×8 ●六角棒スパナ
仕様変更	熱湯用赤ハンドルキャップ ノズル変更(混合湯) ノズル変更(熱湯)			ノズル変更(混合湯)	

※1: 図は付属品を取り付けた状態です。 ※2: 熱熱湯　混混合湯　水水　※3: お使いの湯沸器の種類によって使用しない付属品もあります。※4：EWS用の配管付属。

調整の方法

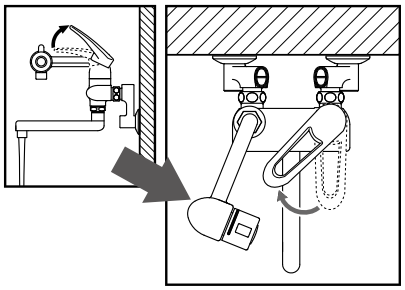
流量調整ネジを六角棒スパナ呼び3(六角レンチ 3mm)で回して調整します。

出湯量の調整方法

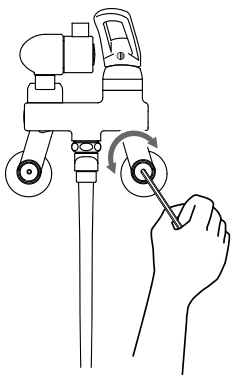


混合湯の温度の調整方法

①混合レバーで最大量出湯してから湯側一杯に回します。



②希望の温度になるように給水側の流量調整ネジを調整します。



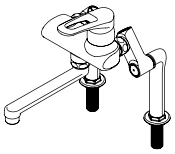
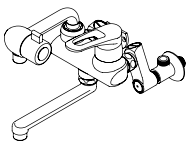
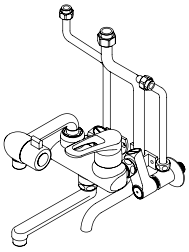
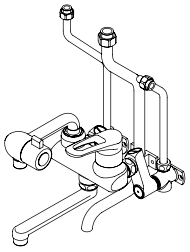
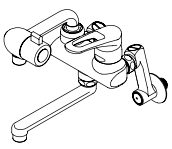
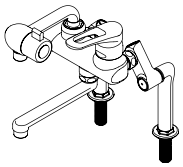
まぜまぜ 混合水栓についてのご注意

◆まぜまぜの混合水栓側は、出湯時に必ず湯水を混合する構造になっています。レバーを湯側一杯に回しても、給湯器で設定した温度で出湯されることはありません。
◆混合湯温の調整はレバー左右で行うか、流量調整ネジで行ってください。
◆混合湯温は給水温度に左右されます。給水温度が低いと混合湯温も低くなり、給水温度が高いと混合湯温も高くなります。
◆レバーの上げ下げによる出湯量の調整はできません。お湯を使用される場合、レバーを上一杯にしないとお湯にならない場合があります。

製品仕様

まぜまぜ　MZ-N3/N3Pシリーズ　製品の特長・価格についてはP.53

仕様表

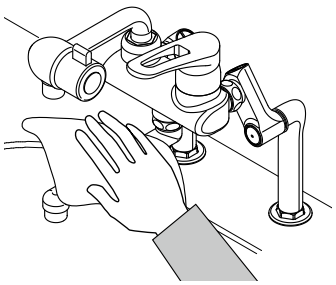
名称	まぜまぜ(MZ-N3)				まぜまぜP(MZ-N3P)	
対応シリーズ	EWS/EWRシリーズ				ESDシリーズ ES-DWUB	
対応製品	EWS/EWR		EWR※4		ESD全シリーズ	
型番	MZ-6N3	MZ-7N3	MZ-8N3	MZ-9N3	MZ-1N3P	MZ-3N3P
製品外観※1						
配管方法	立ち上がり配管	埋め込み露出配管	埋め込み露出配管	露出配管	埋め込み配管	立ち上がり配管
機能※2	混 水	熱 混 水	熱 混 水	熱 混 水	熱 混 水	熱 混 水
本体質量(kg)	3.7	3.7	4.7	4.7	3.4	4.2
給水圧力	0.05〜0.3MPa					
付属品※3	●取付脚×2 ●六角棒スパナ	●取付脚×2 ●送り座金×2 ●タッピング皿ネジ×3 ●六角棒スパナ	●取付脚×2 ●送り座金×1 ●タッピング皿ネジ×3 ●オーバーフロー管セット×1 ●オーバーフロー管固定バンド×1 ●オーバーフロー管固定バンド用ネジ×2 ●給水管×1 ●給湯管×1 ●ワッシャー×2 ●パッキン×5 ●六角棒スパナ	●取付脚×2 ● タッピング皿ネジ×5 ●オーバーフロー管セット×1 ●オーバーフロー管固定バンド×1 ●オーバーフロー管固定バンド用ネジ×2 ●給水管×1 ●給湯管×1 ●ワッシャー×2 ●パッキン×5 ●六角棒スパナ	●送り座金×2 ●六角棒スパナ	●取付脚×2 ●六角棒スパナ
仕様変更	ノズル変更(混合湯)	熱湯用赤ハンドルキャップ ノズル変更(混合湯) ノズル変更(熱湯)				

※1: 図は付属品を取り付けた状態です。 ※2: 熱熱湯 混混合湯 水水 ※3: お使いの湯沸器の種類によって使用しない付属品もあります。※4 : EWR用の配管付属。

お手入れ

本体の清掃

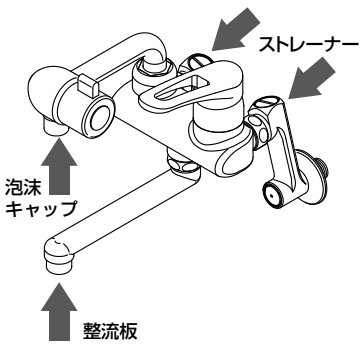
まぜまぜが汚れた場合は水にぬらして絞った柔らかい布などで拭いてください。みがき粉や薬品はご使用にならないでください。



ストレーナー・整流板・泡沫キャップの清掃

（管理技術者の方が行ってください）

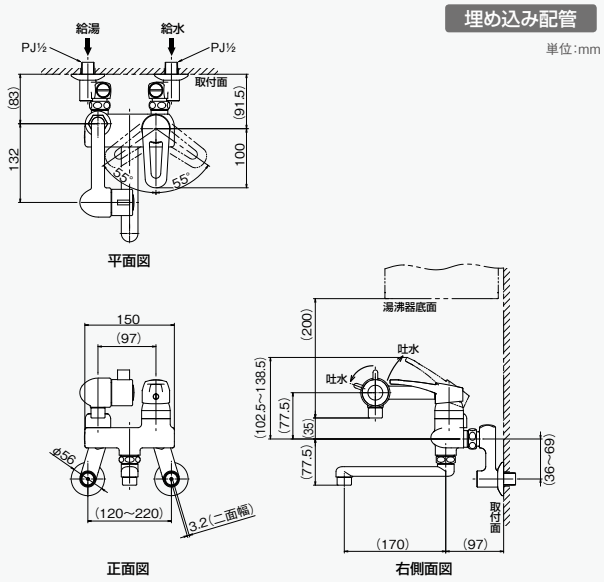
まぜまぜに入っている網（ストレーナーおよび整流板）が配管のゴミなどによって詰まると流量不足などの原因になりますので、日常的に清掃を行ってください。(手順は取扱説明書をご参照ください)



寸法図 MZ-1N3/MZ-1N3P

埋め込み配管

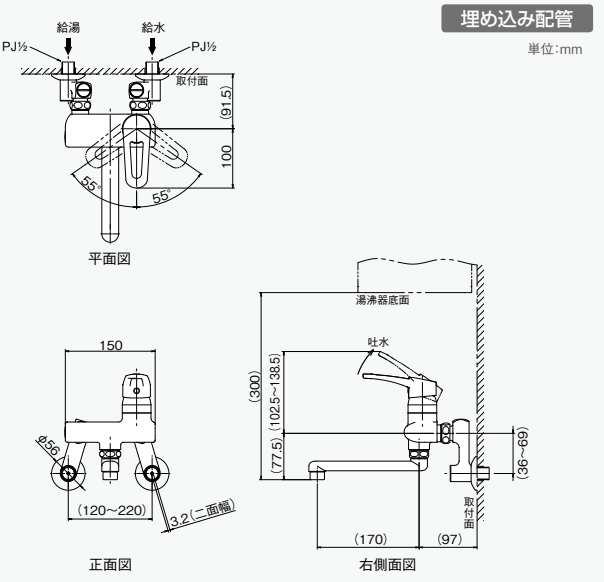
単位:mm



寸法図 MZ-4N3

埋め込み配管

単位:mm

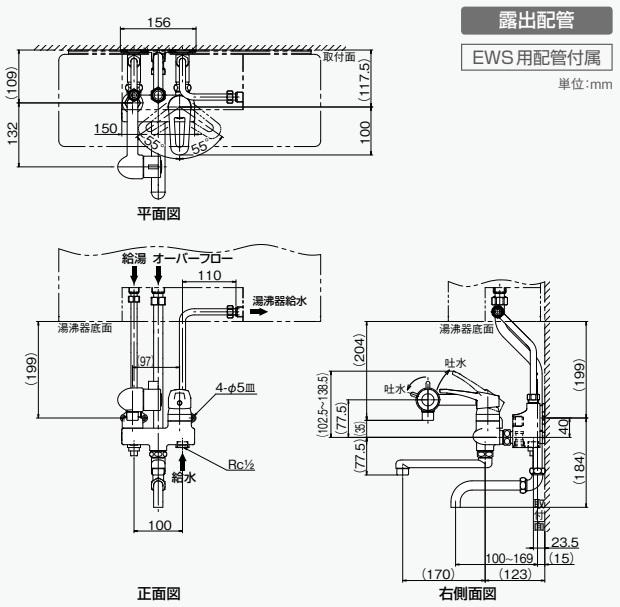


寸法図 MZ-2N3

露出配管

EWS用配管付属

単位:mm

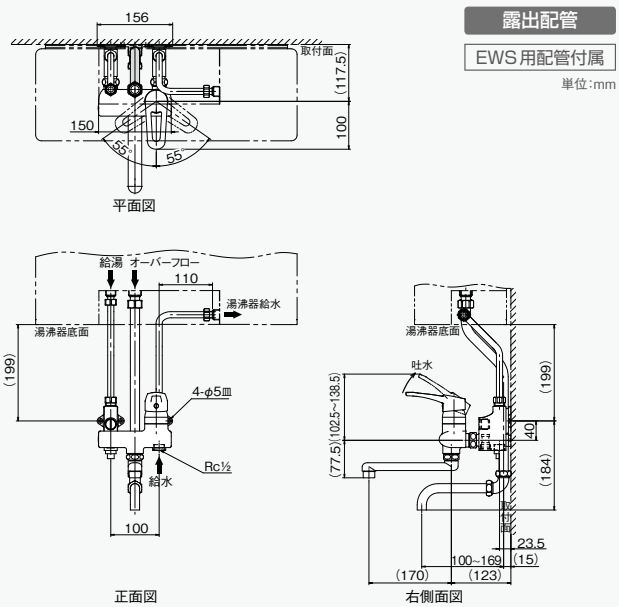


寸法図 MZ-5N3

露出配管

EWS用配管付属

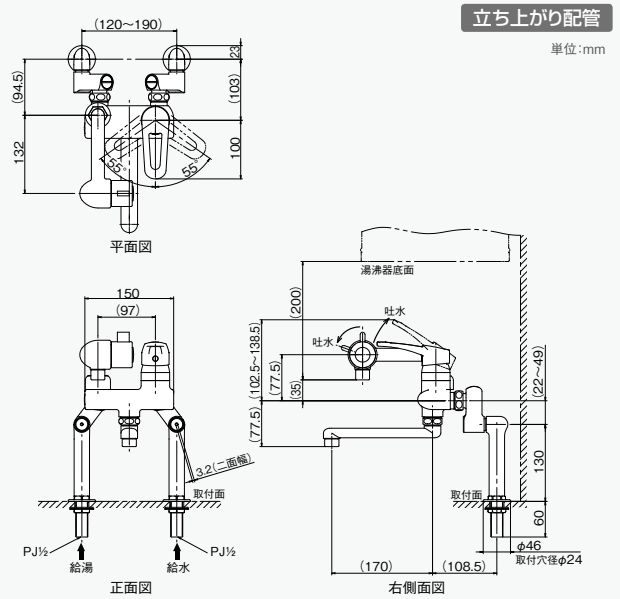
単位:mm



寸法図 MZ-3N3/MZ-3N3P

立ち上がり配管

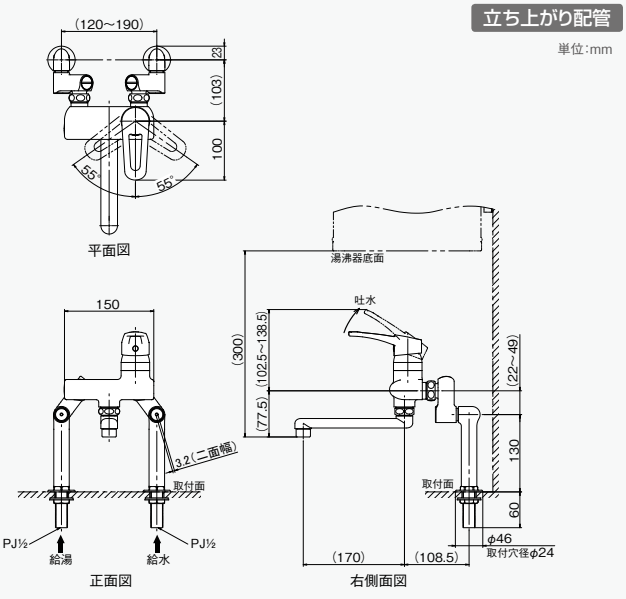
単位:mm



寸法図 MZ-6N3

立ち上がり配管

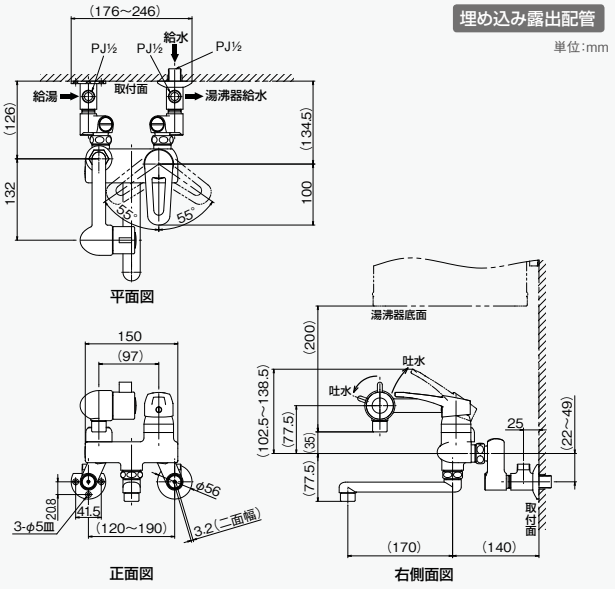
単位:mm



寸法図 **MZ-7N3**

埋め込み露出配管

単位:mm

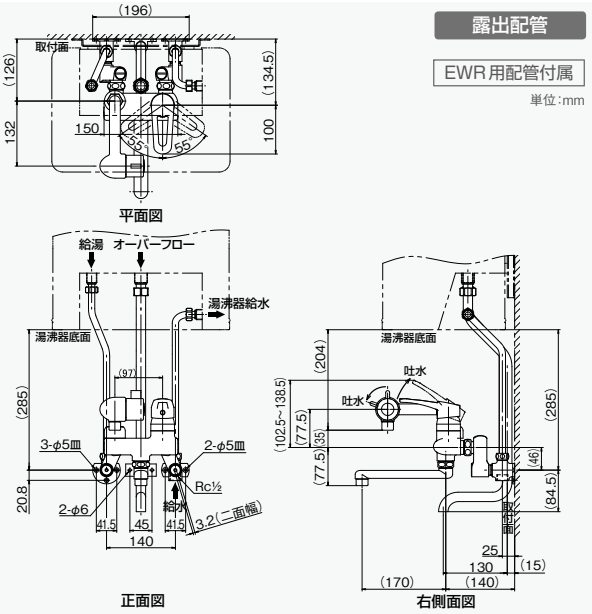


寸法図 **MZ-9N3**

露出配管

EWR用配管付属

単位:mm

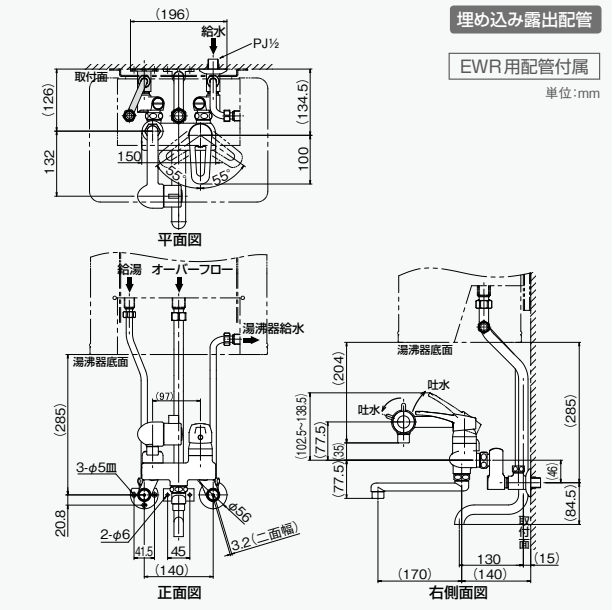


寸法図 **MZ-8N3**

埋め込み露出配管

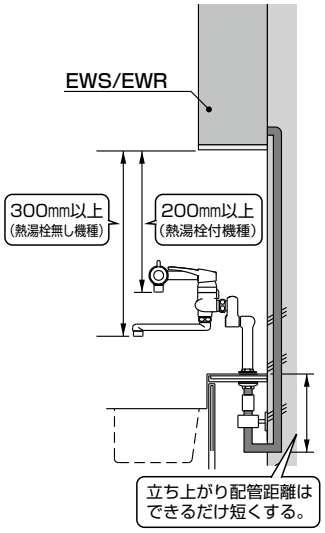
EWR用配管付属

単位:mm



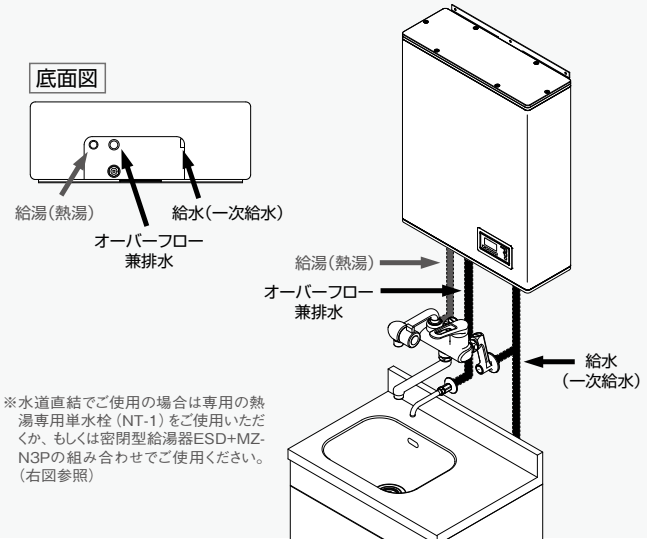
まぜまぜの設置に関する注意事項

- ●施工は工事要領書に沿って行ってください。
- ●冬季に凍結する場所の場合は保温工事を行ってください。
- ●メンテナンススペースを取って設置してください。
- ●本体質量および使用時の荷重に耐えられる場所かご確認ください。
- ●壁面取付の場合は取付場所が垂直になっているかご確認ください。
- ●EW底面から給湯口まで一定の距離を取る必要があります。詳細は右図を参照してください。
- ●MZ-3/6/9N3は立ち上がる距離をできるだけ短くして設置してください。
- ●まぜまぜの混合湯口には絶対に浄水器を取り付けないでください。混合湯が出なくなります。
- ●他社製の部品は使用しないでください。
- ●給水圧力0.05~0.3MPaの範囲内でご使用ください。



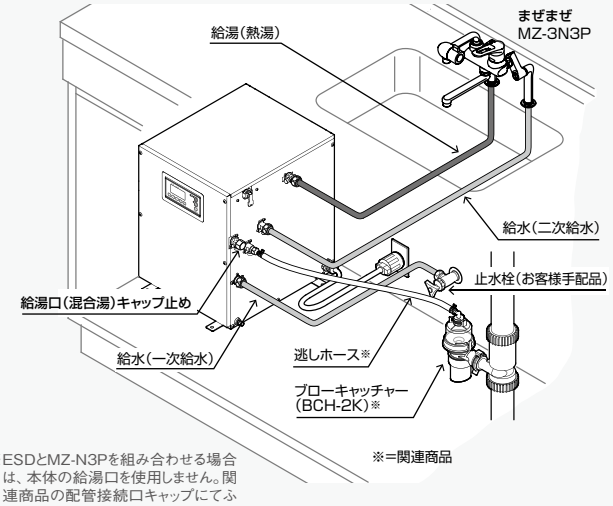
標準配管図　(図は一例です。実際の施工は工事要領書に従って行ってください)

EWS+MZ-1N3



※水道直結でご使用の場合は専用の熱湯専用単水栓(NT-1)をご使用いただくか、もしくは密閉型給湯器ESD+MZ-N3Pの組み合わせでご使用ください。(右図参照)

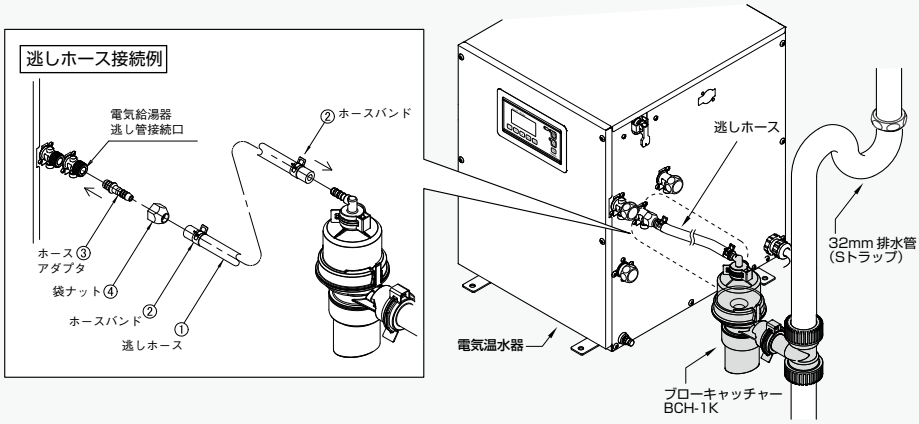
ESD+MZ-3N3P



※ESDとMZ-N3Pを組み合わせる場合は、本体の給湯口を使用しません。関連商品の配管接続口キャップにてふさいでください。(P.19参照)

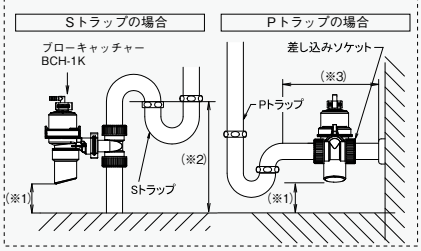
BCH-K 取付例

ESNシリーズ　BCH-1K取付の例



取付時の注意

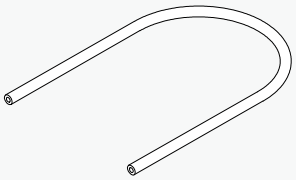
（※1）水抜きのスペースを確保するため床面より54mm 以上必要です。
（※2）ブローキャッチャーを排水管に取り付けるためのストレート部が174mm以上必要です。
（※3）90mm以上必要です。
確保できない場合は、取り付けることができません。



BCH-K 逃しホースセット部品構成

逃しホース×1セット

①逃しホース(標準L=700)×1



②ホースバンド ×2

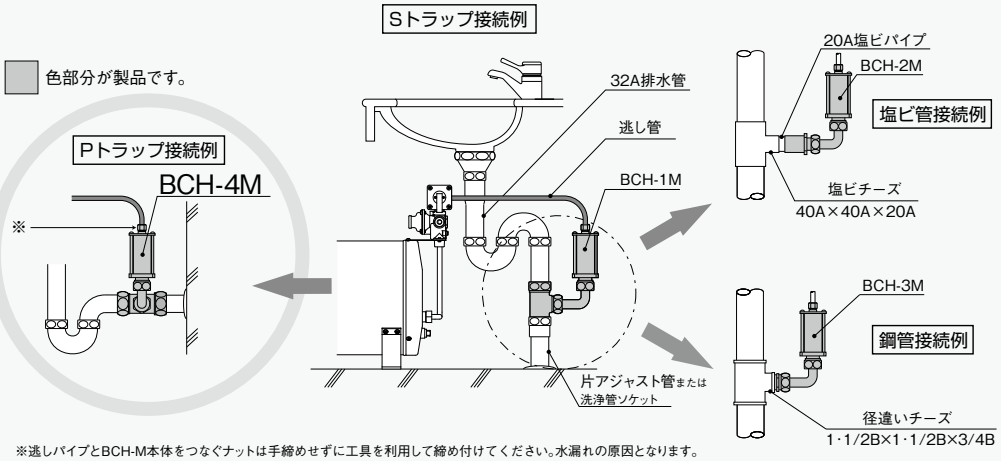
③ホースアダプタ ×1

Oリング(P5)付

④袋ナットM14×1

逃しホースセットは温水器とBCH-Kシリーズを接続するホースです。
BCH-Kをご使用になる際は必須商品となります。

BCH-M 取付方法

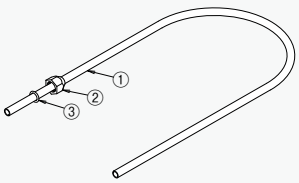


※逃しパイプとBCH-M本体をつなぐナットは手締めせずに工具を利用して締め付けてください。水漏れの原因となります。

◆BCH-6MはBCH-2Mと同じ取付方法です。

BCH-M 逃し銅管セット部品構成

逃し銅管×1セット



①逃し銅管(標準L=700)×1
②M14袋ナット×1
③Oリング×1

逃し銅管セットは温水器とBCH-Mシリーズを接続する銅管です。BCH-Mをご使用になる場合、膨張水用排水口を設置する場合は必須商品となります。

※ES-N3/N4シリーズでは温水器本体に付属しているため、別途ご購入の必要はありません。

用途･形状が似ている製品の比較表

設置タイプや用途が近い製品において、ご使用になる現場や予算に合わせて最適な製品をお選びいただけるよう、使用方法・施工性・コスト等を比較します。

電気瞬間湯沸器			
製品画像			
シリーズ名・型番		EI-N5	DE-10／15N1
標準電源		三相200V	
構造		瞬間式	
ヒーター容量		10.1kW・15kW・20kW・30kW・40kW	10.1kW・15kW
給湯温度		約60℃	約50℃
配管口径		20A	15A
仕様変更	異電圧	○	×
	単相200V	EI-10/15/20N5 ○ ／ EI-30/40N5 ×	
	屋外	○	
	遠方発停	○	
	その他	お問い合わせください。	仕様変更はできません。
温度制御		比例制御方式	
おすすめしたい用途／お客様		•24時間店舗・美容室・**厨房の食器洗浄機等**に対応 •食洗機など**使用頻度が高く**、多めの流量が必要なお客様 •仕様変更が必要なお客様 •**30kW以上であればシャワーにも対応** •大きな電気容量を確保できるお客様	•手洗い・**洗い物**用 •**洗い物程度の給湯量**が必要で、コンパクトな電気瞬間湯沸器を探しているお客様 ※シャワーでは給湯能力が足りません。
イニシャルコスト		•さまざまな**仕様変更が可能**な独自の柔軟な基本設計となっており、DE-10/15N1よりも製品価格は高めです。	•大量生産向けの基本設計でリーズナブルな定価設定。仕様変更はできません。
ランニングコスト		・使った時に使った分だけしか電力を消費しません。 ・ヒーター容量に応じて多機種を揃えていますが、大きな電気容量が必要になります。	•使った時に使った分だけしか電力を消費しません。 •EI-N5と比較して最高出湯温度の設定が10℃低く、消費電力が抑えられます。
機能		•**20Aの配管口径**で、多くの流量が取れます。 •外装カバーの板厚を1mmにし、剛性を高めています。	•外装カバーの板厚を0.5mmとして軽量化しました。
設置場所／施工性		•収まりやすいスクエアフォルム。	•小型で比較的軽量。狭小スペースにも設置可能。
サイズ		•天地左右の寸法は大きめですが、一般的なガス給湯器よりも**薄型**です。	•EI-N5よりもさらに**薄型。縦長のスリム形状**ですっきり収まります。
施工性		•4点のボルト止めで壁面に取付。 •離隔距離を取る専用金具を別売でご用意しています。 •**電源コードは本体上部から**の取り出しとなります。	•4点のボルト止めで壁面に取付。EI-N5よりも軽量なため施工は容易です。 •本体側の固定金具によってそのまま壁面と離して設置できます。 •**電源コードは背面から**取れるので、スッキリした外観。
詳細ページ		P.34・73	P.34・73

飲用&洗い物用／洗い物専用		
製品画像		
シリーズ名・型番	EWS/EWR	i HOT14（ EWM-14 ）
構造	貯湯式	
貯湯量	**12L～65L**	**14L**
標準電源	単相100V／200V	単相100V
ヒーター容量	**貯湯量に応じて各種**	**701W**
貯湯温度	60℃～95℃で細かな設定が可能 （Hiモードは最高約98℃）	65℃／85℃の2段階切替のみ
おすすめしたい用途／お客様	•**飲用など高温のお湯**を必要としているお客様。 •**多機能**さを求められるお客様 •オフィスビルの給湯室や店舗などでご利用になりたい場合	•飲用や多くの機能性は必要なく、**簡単な洗い物**などで使われるお客様 •ガス瞬間湯沸かし器から安価な電気給湯器への入れ替えをご検討されているお客様
イニシャルコスト	•高温のお湯を作ることが出来る構造のため、iHOT14よりも製品価格は高めです。 •仕様により価格が大きく異なります。	•洗い物用に特化し、外装や機能を簡素化することでリーズナブルな価格を実現しています。
ランニングコスト	•全シリーズに搭載している**給湯コントローラー**はお客様の**使用状況に合わせて通電を調整可能。**省エネ・節電になります。	•電源を切らない場合は**通電（加熱／再沸かし上げ）を繰り返し**ます。
機能	•細かな温度調節（60～95℃）や、湯水を自動で給排水して新しいお湯が使えるなど、**充実した機能**が選べます。 •ヒーター変更や電源種類の変更など**各種仕様変更に対応**し、貯湯量も選べます。	•設定可能な沸し上げ温度は「高温沸かし上げ（85℃）」と「中温沸かし上げ（65℃）」の2種類です。 •**仕様変更に対応しておらず**、電源やヒーター、貯湯量は選べません。
設置場所／施工性	•大型の本体取付板で壁面へ取り付けます。 •開放式で給湯圧力がないため、水栓より上に本体を取り付ける必要があります。 •洗い物にも利用する場合は、**当社の専用水栓を使用する必要**があります。	•簡易型の背板とボルトで壁面に簡単に取り付けることができます。 •**100Vの家庭用コンセント**と給排水設備があればすぐに施工可能です。 •本体に出湯管が付属しているため、水栓を別途用意する必要がありません。 •雑居ビルなどの狭小スペースでも設置できます。 •**仮設店舗やプレハブ等**でもすぐに施工可能です。
サイズ	•ラインナップが多く、貯湯量によりサイズが変わります。 •EWSシリーズは**全機種奥行き190mmの薄型設計。**	•一般的な**ガス給湯器と同等程度でコンパクトサイズ。**入れ替え時でも違和感がありません。
その他	•給湯コントローラーは見やすく扱いやすいため、高機能を手軽に使うことができます。 •EWRシリーズは、仕様変更にて本体底面の給湯接続口に蛇口を直接取り付けることができます。	•レバーとダイヤル操作のみでお湯が使えます。 •取り付け施工性に特に配慮した製品です。
詳細ページ	P.21・63	P.33・72

飲用&洗い物用		
製品画像		
シリーズ名	EWS/EWR	ESD
構造	開放式	密閉式
貯湯量	12L～65L	12L～50L
標準電源	単相100V／200V	単相200V
貯湯温度	60℃～95℃で細かな設定が可能 （Hiモードは最高約98℃）	60℃～93℃
おすすめしたい用途／お客様	•**シンク下に給湯器を置けるスペースがない**お客様	•**吊戸棚などがあり壁面に設置できない**お客様 •給湯器を目立たない場所に設置したいお客様（店舗では隠蔽設置の特性が活かせるので、カウンター下、パントリー内など人目に付かない場所への設置が可能です。）
イニシャルコスト	•減圧弁・逃し弁を必要としない大気開放式構造のため、ESDよりも製品価格が抑えられます。	•飲用を可能とする高温での沸し上げを密閉式で実現するため、間欠エア抜き弁を搭載。ミキシング機能によって洗い物に適したお湯を出す混合湯口と飲用対応の熱湯口の2つの給湯口を標準装備しているため、製品価格はEWS/EWRよりも高めとなります。
ランニングコスト	•給湯コントローラーにより、**各種の節電設定が可能**です。 •夏場はスイッチひとつで運転オフに設定でき、不要な電力消費を抑えます。	
機能	•**開放式のため、給湯圧力がありません。** •水を大気内で最高約98℃までの高温沸かし上げが可能なため、**カルキを除去できます。**	•**密閉式のため、給湯圧力があります。**
設置場所／施工性	•大型の本体取付板で壁面へ取り付けます。 •**膨張水排水器具の取り付けは不要**です。 •開放式で給湯圧力がないため、水栓より上に本体を取り付ける必要があります。 •洗い物にも利用する場合は、**当社の専用水栓を使用する必要**があります。	•シンク下に設置して、配管／電源接続します。 •**膨張水排水器具が別途必要**です。 •飲用給湯・混合給湯用の2つの給湯口を設けているため、熱湯用の水栓と混合水栓両方を取り付けることが可能です。
サイズ	•EWSシリーズは**全機種奥行き190mm**の薄型。	•角型形状で**シンク下にすっきり**収まります。 •膨張水排水器具が必要なので、本体の設置スペース以外に空間が必要となります。
その他	•大気開放式のため、密閉式よりも高温の沸し上げ温度を実現。給湯室での利用に最適です。	•**給湯圧のある飲用／洗い物両用タイプ**なので、使用範囲が広がります。
詳細ページ	P.21・63	P.17・61

手洗い・洗い物用		
製品画像		
シリーズ名	ES-N3	ESN
構造	密閉式	
貯湯量	5.4L～40L	6L～30L
標準電源	単相100V/200V	単相100V/200V
貯湯温度	30℃～75℃	
おすすめしたい用途／お客様	•メンテナンス性、カスタマイズ性に重点を置かれるお客様	•スッキリとした外観の床置式温水器をお探しのお客様。
ランニングコスト	•Bタイプはタイマー運転に加え、夏場オフ機能など**各種の節電設定**が可能です。	
機能	•タイマーの付いて無いタイプはダイヤルでON/OFFと温度設定を行うシンプルなタイプ、Bタイプは再沸かし上げ機能やスケジュール運転の2系統化など各種の機能を備えた**給湯コントローラー**を搭載。	
設置場所／施工性	•配管が露出しているので**簡単に接続**でき、**メンテナンスも容易**です。 •各種の仕様変更に適した形状です。	•角型形状で、洗面所などの床面に**スッキリと収まります**。配管類は本体内にまとめられています。 •施工は本体外側の各接続口をつなぐだけです。
サイズ	•左右にスペースがあれば高さにスペースが無くても収まりやすい**横長形状**。	•高さにスペースがあれば左右にスペースが無くても収まりやすい**縦長形状**。
その他	•密閉式のため、市販の混合水栓がご利用可能です。	
詳細ページ	P.30・70	P.27・69

固定出湯の手洗い用（小型）		
製品画像		
型番	ESW03A/03T	EIC-05A0
構造	貯湯式	瞬間式
標準電源	単相100V／200V	単相200V
ヒーター容量	0.6kW	5kW
出湯温度	約32～39℃	約35/38/45℃
おすすめしたい用途／お客様	•季節を問わず安定した湯温が必要で、**大きい電気容量が確保できない**お客様	•**使用頻度が少ない**／**手洗い程度**の給湯量が必要で、**電気容量が確保できる**お客様 •**手のひらに乗る程の超小型**のため、極めて狭いスペースでも取り付けできます。
イニシャルコスト	•リーズナブルなタイマー無しと、タイマー付が選べます。	•手洗いに用途を絞ることで、これまでの瞬間式では実現できなかった低価格になっています。 •5kWのヒーターに対応する、32A以上の電力が必要です。
ランニングコスト	•沸かし上げたお湯はそのままだと冷えてしまうため、**保温に電気を使います**。	•必要な時に適量だけ沸かし上げるので、**都度使用する電気代だけ**で済み、保温のための電力は不要です。 •待機電力はほとんどありません。
機能	•75℃で沸かしたお湯に給水を混ぜて、手洗いや洗い物に適した温度で出湯します。出湯温度は、温度調節ダイヤルにより**約32～39℃**に変更可能です。	•給水をそのまま瞬間的に沸かしますので、**水道圧力のまま湯切れせずに**お湯が使えます。 ※加熱能力の範囲において。 詳細→P.73
設置場所／施工性	•上部に**左右に回転可能な配管**を配置しているため、設置場所に合わせた施工が可能です。 •**電源は家庭用コンセントから取ることも可能**です。 •**膨張水を排水する器具を取り付ける必要**があります。	•瞬間式のため膨張水は発生しません。**排水器具は不要**です。 •質量は1.5kgと軽く、配管接続も給水／給湯だけ。 •**電源は端子台から**取る必要があります。 •壁面取り付け器具が付属しています。
サイズ	•貯湯タンクを備えながら非常にコンパクトなサイズを実現。手洗いに適した設計で、イトミックの貯湯式電気温水器の中で最少・最軽量。	•貯湯タンクが無く、手洗い専用に開発された超小型の設計。業界最小・最軽量※の手のひらサイズを実現。 ※当社調べ
その他	•本体上部中央に設けた逃し弁テストレバーの動作確認口は、メンテナンス時の動作確認が簡単で、誤操作やいたずらを防ぎやすい構造です。	•湯切れがなく、いつでも快適に手洗いができます。 •**超小型設計で配管接続も少ない**ので、存在を忘れるほどシンプルです。
詳細ページ	P.31・71	P.34・73

ヒーター容量変更表/標準プラグ表

小型電気温水器 ヒーター容量変更表

【表の見方】◎=標準　○=基準(仕様変更の基準となるヒーター容量です。電源仕様変更はシリーズによって価格が異なりますのでお問い合わせください)
△=ヒーター UP(仕様変更:1kW毎に本体価格より¥15,000UP。納期は都度お問い合わせください)
▼=ヒーター DOWN(仕様変更:定価には変更ございません。納期は都度お問い合わせください)　⊿=設定なし

シリーズ	電源	単相100V			単相200V				三相200V(仕様変更)			
	kW / 貯湯量(L)	0.5	0.7	1.1	1.1	1.5	2.0	3.1	1.1	1.5	2.0	3.1
ESN	6	▼	▼	◎	◎				○			
	12	▼	▼	◎	▼	◎			▼	○		
	20	▼	▼	◎	▼	▼	◎	△		▼	○	
	25			◎		▼	◎	△			○	△
	30			◎		▼	◎	△			○	△

シリーズ	電源	単相100V			単相200V						三相200V(仕様変更)					
	kW / 貯湯量(L)	1.1	1.5	2.0	1.1	1.5	2.0	3.1	4.0	5.0	1.1	1.5	2.0	3.1	4.0	5.0
ES-N3	5.4	◎	△	△	◎	△	△	△			○	△	△	△		
	10	◎	△	△	◎	△	△	△			○	△	△	△		
	20	▼	◎	△	▼	◎	△	△			▼	○	△	△		
	30	▼	◎	△	▼	▼	◎	△	△	△	▼	▼	○	△	△	△
	40	▼	◎	△	▼	▼	▼	◎	△	△	▼	▼	▼	○	△	△

シリーズ	電源	単相100V	単相200V
	kW / 貯湯量(L)	0.6	0.6
ESW03A/03T	3	◎	◎

シリーズ	電源	単相100V(仕様変更)			単相200V				三相200V(仕様変更)			
	kW / 貯湯量(L)	0.5	0.7	1.1	1.1	1.5	2.0	3.1	1.1	1.5	2.0	3.1
ESD	12			○	▼	◎				○	△	
	20			○		▼	◎	△			○	△
	25			○		▼	◎	△			○	△
	30			○		▼	◎	△			○	△
	35			○			▼	◎			▼	○
	50			○			▼	◎			▼	○

シリーズ	電源	単相100V(仕様変更)		単相200V					三相200V(仕様変更)		
	kW / 貯湯量(L)	1.5	2.0	1.5	2.0	3.1	4.0	5.0	3.1	4.0	5.0
ES-DWUB	50	○	△	▼	▼	◎	△	△	○	△	△
	80	○	△	▼	▼	◎	△	△	○	△	△

シリーズ	電源	単相100V			単相200V						三相200V(仕様変更)				
	kW / 貯湯量(L)	0.75	1.5	2.0	0.75	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0	0.75	1.5	2.25	3.0	4.5
EWS	20		◎	△		◎	△					○			
	30		◎	△			◎	△					○		
	40		◎	△				◎	△					○	
EWR	12	◎	△		◎	△					○				
	20	▼	◎	△		◎	△					○			
	30		◎	△			◎	△					○		
	45		◎	△				◎	△					○	
	65		◎	△					◎	△					○

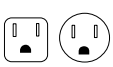
シリーズ	電源	単相100V			単相200V						三相200V(仕様変更)				
	kW / 貯湯量(L)	0.75	1.5	2.0	0.75	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0	0.75	1.5	2.25	3.0	4.5
ETC	12	◎	△		◎	△					○				
	20	▼	◎	△		◎	△					○			
	45		◎	△			◎	△					○		
	60		◎	△				◎	△					○	
	90		◎	△					◎	△					○
ETR	12	◎	△		◎	△					○				
	20	▼	◎	△		◎	△					○			
	30		◎	△			◎	△					○		
	45		◎	△				◎	△					○	
	65		◎	△					◎	△					○

シリーズ	電源	単相100V
	kW / 貯湯量(L)	0.701
i HOT14(EWM-14)	14	◎

シリーズ	電源	単相100V	単相200V
	kW / 貯湯量(L)	1.5	1.5
ワクワク(WKT-14)	14	◎	◎

標準プラグ表

2005年4月以前にご注文いただいた製品は現行の標準プラグと異なる場合があります。買替の際にはご注意ください。

電源		単相100V			単相200V		三相200V
ヒーター容量		1.1kW以下	1.5kW以下	2kW以下	3.1kW以下	4/5kW	6kW以下
プラグ品番		CAT-146 (電源プラグ・コードー体型)	3222N-L6	WF6330	3222N-L6	WF6330	WF6420
プラグ形状							
定格量		125V15A	250V20A	250V30A	250V20A	250V30A	250V20A
対応コンセント参考品番	パナソニック 上段:埋込型 下段:露出型	WF3002EK WK3001W	WF2520B/W WK2520B/W	WF2330B/W WK2330	WF2520B/W WK2520B/W	WF2330B/W WK2330	WF2420BK/WK WK2420K
	アメリカン電機 上段:埋込型 下段:露出型	20 無し	3220-L6 3221-L6	3320-L6 3321-L6	3220-L6 3221-L6	3320-L6 3321-L6	4220 4221
対応コンセント形状							

■i HOT14(EWM-14)の電源プラグは家庭用コンセントにてお使いいただけます。詳細はP.73　※単相100V 3kWの電源コード端末は圧着端子のみとなりますので電源コードの接続には十分ご注意ください。

給湯計算について

有効出湯量の計算

電気温水器全般

混合湯の出湯量を求めることができます。

（必要な情報）

① 貯湯量(L)	温水器の貯湯量を示します。
② 沸上温度(℃)	温水器のタンク内温度を示します。
③ 水温(℃)	水道水の水温を示します。
④ 使用湯温(℃)	混合栓からの出湯温度を示します。

（計算方法）

$$① \text{貯湯量} \times \frac{(\ ② \text{沸上温度} - ③ \text{水温}\ )}{(\ ④ \text{使用湯温} - ③ \text{水温}\ )} \times 0.75 = \text{有効出湯量(L)}$$

※貯湯式電気温水器は給湯を開始すると同時に給水が行われるため、貯湯温度が低下します。そのため上記の計算では、有効出湯量は貯湯量の75%程度を目安に計算しております。製品ごとの仕様や、使用環境・設置状況により、実際の有効出湯量は変動いたします。

（計算例）

①貯湯量…20L　②沸上温度…75℃　③水温…15℃　④使用温度…35℃　の場合

$$① 20\text{L} \times \frac{(\ ② 75℃ - ③15℃\ )}{(\ ④ 35℃ - ③15℃\ )} \times 0.75 = \text{約45L}$$

（有効出湯量の計算例から分かること）

貯湯量20Lで沸上75℃の時、手洗い用35℃のお湯は約45L連続給湯可能。
35℃のお湯を1人当たり0.5L使用する場合、おおよそ90回連続使用が可能。

沸上時間の計算

電気温水器全般

電気温水器の沸かし上げ時間を求めることができます。

（必要な情報）

① 貯湯量(L)	温水器の貯湯量を示します。
② 沸上温度(℃)	温水器の沸かし上げ設定温度を示します。
③ 水温(℃)	水道水の水温を示します。
④ ヒーター容量(kW)	温水器のヒーター容量を示します。

（計算方法）

$$\frac{① \text{貯湯量} \times (\ ② \text{沸上温度} - ③ \text{水温}\ )}{④ \text{ヒーター容量} \times 860\text{kcal/h}} \times 60\text{分} = \text{沸上時間(分)}$$

（計算例）

①貯湯量…20L　②沸上温度…75℃　③水温…15℃　④ヒーター容量…2.0kW　の場合

$$\frac{① 20\text{L} \times (\ ② 75℃ - ③15℃\ )}{④ 2.0\text{kW} \times 860\text{kcal/h}} \times 60\text{分} = \text{約42分}$$

※使用したお湯の沸上時間算出は貯湯量①に使用した湯量(L)を当てはめ計算できます。
※ヒーター容量は1.0kW当たり860kcal/hです。

（沸上時間の計算例から分かること）

全ての湯(20L)を使用した後は再度沸上時間に約42分を要する(2.0kW、水温15℃の場合)。
使用した分だけのお湯の沸上時間は公式の①に使用した湯量(L)を当てはめ計算する。
例)0.5Lだけ使用した場合、沸上時間は約1分かかる。1.0Lなら約2分かかる。

本カタログに掲載の「選定のヒント」は、上記計算方法を元に算出した目安です。ご使用環境によって、実際にご利用いただける湯量や沸き上げ時間は変動いたします。

必要貯湯量の給湯計算　　大型電気温水器

一日に必要な貯湯量を算出することができます。

（必要な情報）

浴槽湯量	①　L	浴槽に貯める湯量を示します。
使用人数	②　人	施設の使用人数を示します。
入浴時間	③　h	浴槽の入浴時間（合計時間）を示します。
使用湯量	④　L/人（シャワー含む入浴用）	シャワーを含む入浴に使用する湯量を示します。
	⑤　L/人（洗面用、その他）	洗面、その他で一日に使用する湯量を示します。

（その他の条件）

沸上温度	⑥　℃	温水器の貯湯温度を示します。
使用湯温度	⑦　℃	実際に使用する湯温を示します。
給水温度	⑧　℃	水道水の水温を示します。
浴槽の湯張り率	⑨	浴槽の湯張り率を示します。
浴槽温度降下	⑩　℃/h	1時間当たりの降下温度を示します。
温水器保温効率	⑪	温水器の保温効率を示します。

（計算方法）

●浴槽湯量

$$\frac{①\ 浴槽湯量 \times ⑨\ 浴槽湯張り率 \times (⑦\ 使用温度 - ⑧\ 給水温度)}{⑥\ 沸上温度 \times ⑪\ 温水器保温効率 - ⑧\ 給水温度} = Ⓐ\ L$$

●入浴用（シャワー含む）

$$\frac{④\ 使用湯量 \times ②\ 使用人数 \times (⑦\ 使用温度 - ⑧\ 給水温度)}{⑥\ 沸上温度 \times ⑪\ 温水器保温効率 - ⑧\ 給水温度} = Ⓑ\ L$$

●洗面用・その他

$$\frac{⑤\ 使用湯量 \times ②\ 使用人数 \times (⑦\ 使用温度 - ⑧\ 給水温度)}{⑥\ 沸上温度 \times ⑪\ 温水器保温効率 - ⑧\ 給水温度} = Ⓒ\ L$$

●浴槽用さし湯

$$\frac{①\ 浴槽湯量 \times ⑨\ 浴槽湯張り率 \times ⑩\ 浴槽温度降下 \times ③\ 入浴時間}{⑥\ 沸上温度 \times ⑪\ 温水器保温効率 - ⑦\ 使用湯温度} = Ⓓ\ L$$

Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ+Ⓓ=　Ⓔ小計　　L

Ⓔ小計の必要湯量に湯量変動や放熱などを考慮し20%（係数1.2）余裕を持たせた設定とする。

Ⓔ　×　1.2　=　　合計　　L　　の貯湯量が必要となります。

（計算例）

計算条件

浴槽湯量	①　300　L	沸上温度	⑥　85℃
使用人数	②　　4　人	使用湯温度	⑦　43℃
入浴時間	③　　2　h	給水温度	⑧　5℃（冬期を見込み）
使用湯量	④　50L/人（シャワー含む入浴用）	浴槽の湯張り率	⑨　0.8
	⑤　10L/人（洗面用、その他）	浴槽温度降下	⑩　4℃/h
		温水器保温効率	⑪　0.95

計算結果

●浴槽湯量

$$\frac{①\ 300L \times ⑨\ 0.8 \times (⑦\ 43℃ - ⑧\ 5℃)}{⑥\ 85℃ \times ⑪\ 0.95 - ⑧\ 5℃} = Ⓐ\ 120\ L$$

●入浴用（シャワー含む）

$$\frac{④\ 50L \times ②\ 4人 \times (⑦\ 43℃ - ⑧\ 5℃)}{⑥\ 85℃ \times ⑪\ 0.95 - ⑧\ 5℃} = Ⓑ\ 100\ L$$

●洗面用・その他

$$\frac{⑤\ 10L \times ②\ 4人 \times (⑦\ 43℃ - ⑧\ 5℃)}{⑥\ 85℃ \times ⑪\ 0.95 - ⑧\ 5℃} = Ⓒ\ 20\ L$$

●浴槽用さし湯

$$\frac{①\ 300L \times ⑨\ 0.8 \times ⑩\ 4℃/h \times ③\ 2h}{⑥\ 85℃ \times ⑪\ 0.95 - ⑦\ 43℃} = Ⓓ\ 50\ L$$

Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ+Ⓓ=　Ⓔ小計　290　L

Ⓔ小計の必要湯量に湯量変動や放熱などを考慮し20%（係数1.2）余裕を持たせた設定とする。

290　×　1.2　=　　合計　約350　L　　の貯湯量が必要となります。

Q&A

電気温水器

共通

Q01 業務用と家庭用の違いは何ですか? 114
Q02 ガス湯沸器との違いは何ですか? 114
Q03 どんな用途で使われているのですか? 114
Q04 飲用とその他の用途との違いは何ですか? 114
Q05 使用中にお湯がぬるくなることはありませんか? 114
Q06 貯湯式と瞬間式との違いは何ですか? 114
Q07 密閉式、開放式とは何ですか? 115
Q08 先止式、元止式とは何ですか? 115
Q09 減圧弁、逃し弁とは何ですか? 115
Q10 減圧弁の設定値を変更したいのですが、どうすれば良いですか? 115
Q11 逃し弁から常に水が出ているのですが故障ですか? 115
Q12 給湯配管はどれ位まで伸ばせますか? 116
Q13 3mを超える給湯配管には対応できないのですか? 116
Q14 組込形とは何ですか? 隠ぺい設置は可能ですか? 116
Q15 井戸水は使用可能ですか? 116
Q16 井戸水を利用した場合に発生しやすい不具合を教えてください。 116
Q17 直列配管、並列配管は可能ですか? 117
Q18 鳥居配管は何が問題なのですか? 117
Q19 ボールタップを用いた給水方式とはどういうものですか? 117
Q20 対応可能な仕様変更にはどのようなものがあるのですか? 117
Q21 沸上時間はどうやって求めるのですか? 117
Q22 カタログに記載されている「選定のヒント」はどのような計算で決めているのですか? 117
Q23 最高使用圧力とは何ですか? 118
Q24 定期的に交換をする必要がある消耗部品はありますか? 118
Q25 ボイラー区分とは何ですか? 118
Q26 小型ボイラーの届け出や義務とは何ですか? 118
Q27 ボイラーの性能検査は何故必要なの? 119
Q28 水道法適合品とは何ですか? 119
Q29 電気温水器の設置には火災報知機は必要ですか? 119
Q30 バキュームブレーカーとは何ですか? 119
Q31 業務用蓄熱調整契約とは何ですか? 119
Q32 海辺から設置場所までの距離に基準はあるのですか? 120
Q33 電気給湯器の転倒防止対策(耐震対策)は必要ですか? 120
Q34 転倒防止対策はどのように行うのですか? 120
Q35 転倒防止対策の告示に適合していることを証明する資料等はありますか? 120

機種別

Q36 二次給水口とは何ですか? ESD ESN ES-N3 ESW03 121
Q37 ブローキャッチャー(BCH)とは何ですか? ESD ESN ES-N3 ESW03 121
Q38 20Aの塩ビ排水管へBCH-2Mを取り付けることはできますか? BCH 121
Q39 壁掛タイプのEWS/EWRシリーズはなぜまぜまぜ (MZ-N3) を使用しなくてはいけないのですか? EWS EWR MZ-N3 122
Q40 まぜまぜ(MZ-N3)はどうやって湯水を混合しているのですか? EWS EWR MZ-N3 122
Q41 まぜまぜ(MZ-N3)に浄水器を取り付けることはできますか? EWS EWR MZ-N3 122
Q42 EWS/EWRシリーズとまぜまぜ (MZ-N3) を使用する場合はなぜ給水源が「タンク以下」でなくてはならないのですか? EWS EWR MZ-N3 122
Q43 EWS/EWRシリーズに単水栓は使えますか? EWS EWR 123
Q44 ESDシリーズにEWシリーズ用のまぜまぜMZ-N3は使用できますか? ESD MZ-N3P 123
Q45 壁掛型のEWS/EWRシリーズと同様に、置台型のETC/ETRシリーズやワクワク(WK-14)もオーバーフロー配管の設備は必要ですか? EWS EWR ETC ETR WK-14 123
Q46 自動給排水機能や自動湯水入替機能とはどのような機能ですか? ESD EWS 123
Q47 EWS/EWRシリーズの給湯横引配管は何mまで対応可能ですか? EWS EWR 123
Q48 EWS/EWRシリーズとまぜまぜ (MZ-N3) の取付位置に制限はありますか? EWS EWR MZ-N3 124
Q49 電気瞬間湯沸器に採用されているフィードフォワード制御とは何ですか? また従来のフィードバック制御とは? EI DE 124
Q50 電気瞬間湯沸器には安全弁が必要ですか? EI DE 124
Q51 電気瞬間湯沸器のEIシリーズはシャワーに使用できますか? EI 124
Q52 深夜電力専用型の電気温水器とはどういうものですか? ES-RM ES-RMK ES-CM 125
Q53 ES-Fは屋外に設置できますか? ES-F 125
Q54 海辺付近の屋外にES-Fを設置したいのですが錆びない仕様はありますか? ES-F 125
Q55 ESTとはどのような電気温水器なのですか? 20トンを超える大きさでも製作可能なのですか? EST 125
Q56 ESTは現場施工の対応は可能ですか? EST 125
Q57 ESTは階下給湯は可能ですか? EST 126
Q58 ESTの耐久性とは具体的にどのような点ですか? EST 126
Q59 ESTは業務用蓄熱調整契約に対応可能ですか? EST 126

業務用エコキュート

共通

Q60 エコキュートは環境にやさしいって本当ですか? 127
Q61 エコキュートは何℃までお湯を沸かせるのですか? 127
Q62 エコキュートは家庭用と業務用とで何が違うのですか? 127
Q63 業務用エコキュートは何種類のラインナップがあるのですか? 127
Q64 熱源機は屋内設置は可能ですか? 127
Q65 井戸水は使用可能ですか? 127
Q66 水道直結は可能ですか? 127
Q67 グリーン購入法の適合品ですか? 127

機種別

Q68 高圧ガス保安法の対象機器ですか? Yフレーム 128
Q69 ECOドックプランとは何ですか? Yフレーム 中型機 128
Q70 最適化運転とはどのような運転のことですか? Yフレーム 中型機 128
Q71 最適な受電契約は何が良いのですか? Yフレーム 中型機 128

Q 01 業務用と家庭用の違いは何ですか?

A 業務用の電気温水器は、使用頻度や一度に使われる給湯量、給湯温度など多くの点で家庭用とは異なり、耐久性が求められます。イトミックの電気温水器は、業務用に求められる厳しい使用条件下でも充分にお使いいただけるように、強固な外装や耐久性の高い部品などを使用し、業務用に特化した製品開発を行っています。
また、様々な現場に合わせて電源などの各種仕様を変更可能で、製品によってはご希望に合わせて貯湯量20トン以上の大型製品も製作可能です。

Q 02 ガス湯沸器との違いは何ですか?

A 電気温水器はガス湯沸器や灯油ボイラーのように燃焼系の機構を持たないため、クリーンで環境に優しく安全です。
・CO／CO_2が出ないので換気設備が不要
・火を使用せずガス漏れの心配がない
・燃焼音がなく静かで、隠ぺい設置も可能（所定の条件をクリアする必要があります）

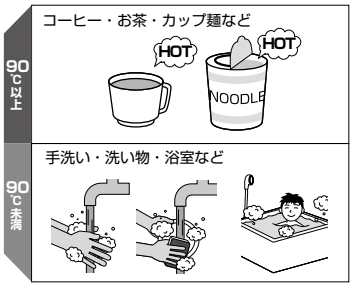
隠ぺい設置▶Q14

Q 03 どんな用途で使われているのですか?

A 最も多いのは洗い物や手洗い、バス・シャワーでの利用です。90℃以上の熱湯を出せる機種は飲用として使用されています。
また、精密部品の洗浄用や食品の解凍用、温水を利用した暖房など、様々な用途に利用されています。

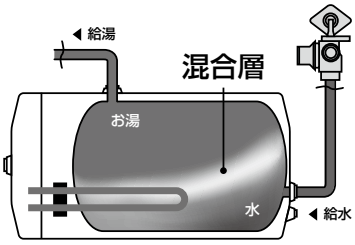
Q 04 飲用とその他の用途との違いは何ですか?

A イトミックでは、90℃以上の沸上温度設定が可能な機種を飲用向け、90℃未満の機種を洗面や手洗い、洗い物、シャワーなど向けとしています。電気温水器の沸上温度の違いで用途を分けることに法的な決まりはなく、用途の面から分類しています。
※実際の飲用には、沸き上げ温度90℃以上かつ貯湯温度80℃以上の設定にてご使用ください。



Q 05 使用中にお湯がぬるくなることはありませんか?

A お湯と水は簡単には混ざらないため、ぬるくなりません。お湯で満たされたタンクの中に給水すると、混合層という間仕切りができます。混合層の中ではゆっくりと湯水が混ざっていきますが、混合層より上ではお湯、下では水のままなので、貯湯タンク内で湯水が混ざらないのです。
※連続してお湯を使い過ぎるとぬるくなることがあります。
※混合層は、密閉式電気温水器において特にしっかりとつくられます。

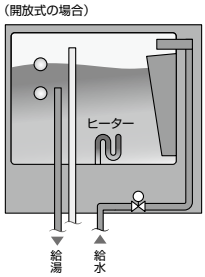


Q 06 貯湯式と瞬間式との違いは何ですか?

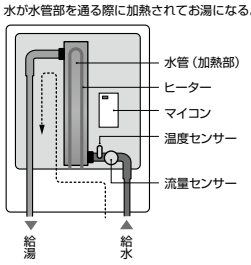
A 貯湯式とはタンク（湯槽）に水を貯めてから沸かす構造です。
・ヒーター容量が小さいので低ランニングコスト
・必要な量のお湯を貯めておけるタンクが必要
※貯湯式には密閉式と開放式の2種類があります。

瞬間式とは給湯栓を開くと同時に瞬時に加熱しながら給湯する構造です。
・給水圧に近い給湯圧が得られる
・湯切れがない
・タンクがないためコンパクトサイズ
・大きな電気設備容量が必要

貯湯式
（開放式の場合）



瞬間式
水が水管部を通る際に加熱されてお湯になる。

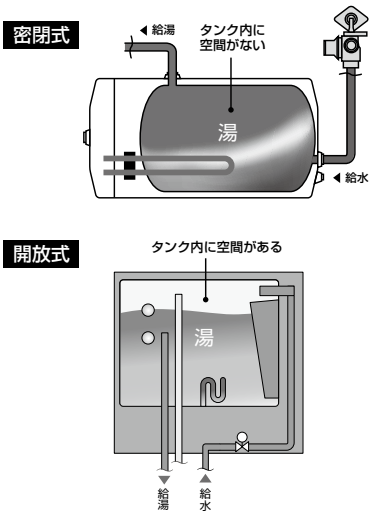


Q 07 密閉式、開放式とは何ですか?

A

密閉式とはタンクが完全に密閉されている構造の電気温水器です。
・給湯圧力があるので温水器本体より上部への給湯が可能
・膨張水の処理が必要
・水栓の選択が自由
・カルキが抜けづらい
※密閉式には先止式と元止式があります。

開放式とはタンク内に水面（湯面）があるタンク構造です。大気開放式とも呼ばれます。
・湯面が大気に開放されているためカルキを抜くことが可能
・設置場所から下に落とす分しか給湯圧力がなく、上部への給湯はできません

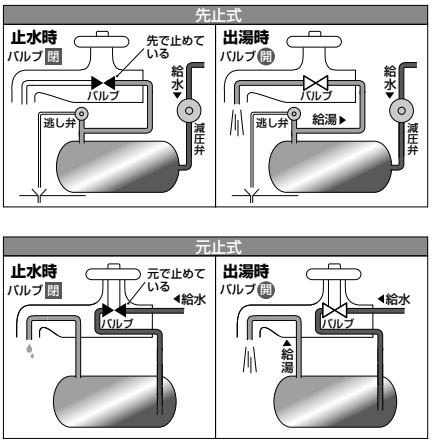


Q 08 先止式、元止式とは何ですか?

A

先止式とは、電気温水器の出湯側（二次側）の栓を操作することによって給湯する方式で、一般的な給湯配管の方式です。
給水圧力を減圧弁で減圧し、加熱による膨張水を逃し弁から排出する必要がありますが、水栓の選択が自由で、複数箇所への給湯が可能です。

元止式とは、電気温水器の流入側（一次側）にある栓を操作することによって給湯する方式で、専用水栓が必要になります。
タンクに給水が入る手前（一次側）で給水を止めているため、タンクに圧力が掛からず減圧弁は不要です。加熱による膨張水の処理に逃し弁を使用しないため、膨張水は蛇口の先などからポタ落ちします。専用水栓への1カ所給湯となり、複数箇所への給湯はできません。



Q 09 減圧弁、逃し弁とは何ですか?

A

減圧弁とは現場によって異なる給水圧力を一定圧力に維持する調節弁のことです。法令により、先止式の密閉式小型電気温水器はタンク内圧力を0.1MPa以下に保たなくてはなりません。

減圧弁によって0.1MPa以下に保たれたタンク内圧力は、電気ヒーターの加熱による湯温上昇と共に体積が膨張し圧力が上がります。タンク内圧力を0.1MPa以下に保つために膨張水をタンク外に排出する（逃がす）為の調整弁が逃し弁です。

Q 10 減圧弁の設定値を変更したいのですが、どうすれば良いですか?

A

減圧弁の設定値は変更できません。更新などの際に、導入時と異なる設定値の減圧弁に変更してしまうと不具合の原因になります。

Q 11 逃し弁から常に水が出ているのですが故障ですか?

A

沸し上げ中にポタポタ出るのは正常ですが、常に吹き出し続けている場合は故障です。

Q 12 給湯配管はどれ位まで伸ばせますか?

A
・貯湯式小型電気温水器の中で型番に「ES」が付くシリーズでは給湯配管の距離はなるべく短く、2mを目安にしてください。
・瞬間式のEI/DEシリーズでは最長で6mとしてください。
・EWS/EWRシリーズはQ47を参照してください。
※上記以外の電気温水器に関してはお問い合わせください。

Q 13 2mを超える給湯配管には対応できないのですか?(貯湯式小型電気温水器の中で型番に「ES」が付くシリーズ)

A
2mを超えても性能上は問題ありません。しかしお湯が蛇口から出てくるまで時間が掛かります。イトミックでは湯待ち時間を考えて給湯配管は2m以内をおすすめしています。
管の保有水量の公式を以下に記載するので参考にしてください。

1mの管の保有水量(L)

材質＼管径	½B	¾B	1B
銅 管	0.16	0.33	0.56
SUS管	0.2	0.37	0.6

条件:配管口径½B(SUS管)、4L/min、給湯配管の距離が2mと3mの場合、お湯が出るまで何秒掛かるか?
・配管距離が2mの場合⇒2(m)×0.2(L)×60(秒)÷4(L)=6秒掛かる
・配管距離が3mの場合⇒3(m)×0.2(L)×60(秒)÷4(L)=9秒掛かる

Q 14 組込形とは何ですか? 隠ぺい設置は可能ですか?

A
組込形とは、消防庁告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)を満たしており、かつ一般社団法人日本電機工業会の基準に適合し、届出を行った製品のことです。流し台のシンク下などの隠ぺいされた場所において扉を閉めた状態で設置することができます。また、こうした設置方法のことを隠ぺい設置といいます。
※離隔距離に関しては、設置する地域の火災予防条例に即した距離を取る必要があります。詳細は管轄する消防署にお問い合わせください。

Q 15 井戸水は使用可能ですか?

A
井戸水など水道水以外のご使用は避けていただくようにお願いします。井戸水は雨水などが長時間地中を通ってたまった水であり、地中に含まれるミネラル類(スケール元物質)が多く溶け込んでいます。電気温水器の故障原因としてスケールの付着によるものが多く、腐食などによる漏水を引き起こすことがあります。
※水道水でも井戸水を多くブレンドしている地域や、水道水が供給されないため井戸水を使わざるを得ない地域もあります。そのような場合はスケールの付着が顕著に表われヒーター断線や漏水などを引き起こしやすくなります。
※イトミック業務用エコキュートには「井水対応ユニット」をご用意しています。 詳細▶Q65

Q 16 井戸水を利用した場合に発生しやすい不具合を教えてください。

A
井戸水などの水道水以外をご使用された場合は、以下のようなトラブルが発生することがあります。
・ヒーターへのスケール付着により、ヒーターに熱がこもり断線する
・水位センサーへのスケール付着により、センサーが水を感知しなくなり、通電しなくなる
・ステンレス表面へのスケール付着により、不働態被膜が壊れて腐食が起こることで、短期間でピンホールが発生し漏水する
・シャワーや水栓の吐出口へのスケール付着により、お湯の出が悪くなることで、吐出口の清掃が頻繁に必要になる
・水質を良くするための滅菌装置から注入される塩素により、ステンレスの溶接部等に短期間でピンホールが発生し漏水する
・湯槽に湯垢の一部が沈殿し、給湯と共に排出される

スケールが付着したタンク

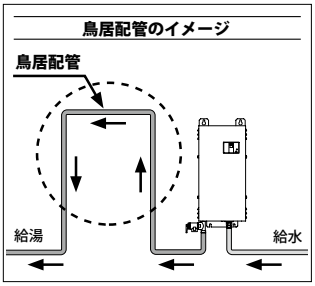
通常のタンク

Q 17 直列配管、並列配管は可能ですか?

A 小型電気温水器では対応できません。
大型製品では対応可能な機種もありますのでお問い合わせください。

Q 18 鳥居配管は何が問題なのですか?

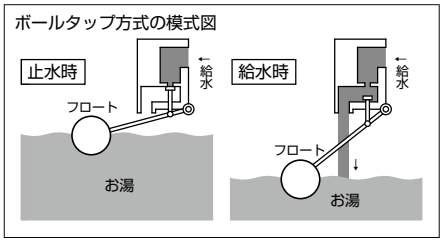
A 鳥居配管をすると配管上部に空気がたまり、スムースに給湯できなくなります。特に瞬間式のEIやDEシリーズの場合、混合水栓を開くと機器を通る水の流量が空気の影響で変化するため、温度が安定しなくなります。また空気溜まりのクッションによって配管内のお湯が往復運動を起こし、ヒーターをON／OFFする電磁接触器などの接点の劣化が促進され、故障を引き起こします。



Q 19 ボールタップを用いた給水方式とはどういうものですか?

A ボールタップ方式とは、ステンレス製のフロート（浮き子）の浮力を利用して給水の制御を行う方式です。
お湯を使用した後の給水による水位上昇に合わせてフロートが浮き、シャフトの根元で給水口（タップ）を塞ぎ止水します。お湯を使用すると水面と一緒にフロートも下がり、塞いでいた給水口が開くという仕組みです。

※2013年まで販売していた開放式電気湯沸器のEWシリーズ、ET-N4Aシリーズ、ET-N4Bシリーズにて採用していた方式です。



Q 20 対応可能な仕様変更にはどのようなものがあるのですか?

A イトミックでは標準仕様の他に様々な仕様変更にも対応しています。対応実績の一例には以下のようなものがあります。

●ヒーターUP／DOWN ●三相仕様 ●単相仕様 ●異電圧仕様 ●遠方発停端子付 ●一括警報端子付 ●個別警報端子付 ●自動給排水機能
●屋外仕様 ●耐塩害仕様 ●耐重塩害仕様 ●電源コード延長 ●底脚付 ●給湯口キャップ止め ●通電表示端子付●運転表示端子付 ●温度設定特
●タイマー設定特 ●排水コック付 ●テフロン加工ヒーター仕様 ●主回路両切仕様 ●ポンプインターロック端子付 ●指定色

※対応可能な仕様変更は機種や台数により異なります。価格設定と製作期間も標準仕様とは異なりますので都度お問い合わせください。

Q 21 沸上時間はどうやって求めるのですか?

A 沸上時間（分）は以下の公式で求められます。ヒーター容量を2倍にすれば分母が2倍になるので沸上時間も半分に短縮されます。

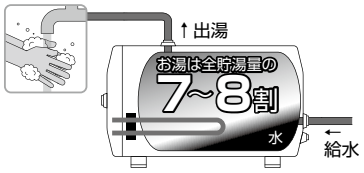
$$沸上時間(分)=\frac{貯湯量(L)\times(沸上温度-水温)}{ヒーター容量(kW)\times860kcal/h}\times60(分)$$

詳細▶P.111

Q 22 カタログに記載されている「選定のヒント」はどのような計算で決めているのですか?

A 選定のヒントはお湯を使用する人数や使用可能な給湯量を記載しています。これは計算式で算出された目安です。まずは機種毎に有効出湯量を算出し、洗い物用は37℃の混合湯を使用した場合の連続使用可能量、手洗い用は1人当たり37℃もしくは40℃の混合湯を500cc連続で使用した場合の人数と仮定しています。飲用の場合は90℃以上のお茶を一人当たり100cc飲用する事を仮定しています。有効出湯係数は75%で計算しています。

$$有効出湯量(L)=\frac{貯湯量(L)\times(沸上温度-水温)}{(出湯温度-水温)}\times効率(\%)$$



詳細▶P.111

Q 23 最高使用圧力とは何ですか?

A 最高使用圧力とは、密閉式電気温水器のタンクに掛けられる最大ゲージ圧力※のことを言います。
※ゲージ圧力:絶対圧力と大気圧の差

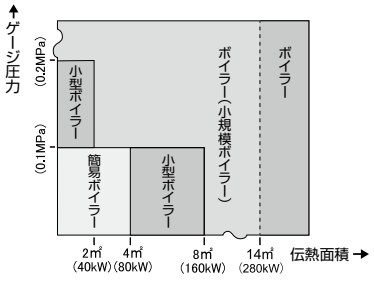
Q 24 定期的に交換をする必要がある消耗部品はありますか?

A ほとんどの部品は消耗品のため定期的に交換が必要です。一般的にはパッキン類は2〜3年、その他は5年程度で交換が必要です。
※製品ごとに異なりますので詳しくはお問い合わせください。

Q 25 ボイラー区分とは何ですか?

A 密閉式のイトミック製品は3つの区分に分類されます。

- 簡易ボイラー …安全規則の適用を受けません。条件は最高使用圧力が0.1MPa以下であるとともにヒーター容量が80kW以下。
- 小型ボイラー …設置報告書の提出義務と自主検査(1回/年)が必要です。条件は最高使用圧力が0.1MPa以下であるとともにヒーター容量が80kWを超え160kW以下。もしくは最高使用圧力が0.2MPa以下であるとともにヒーター容量が40kW以下。
- ボイラー …… 設置届の提出義務と性能検査(1回/年)が必要です。簡易、小型ボイラー区分以外がボイラー区分となります。



ボイラー
労働基準監督署長に設置届提出、運転資格者の設置、ボイラー室の設置、年1回の定期性能検査等が必要。

小型ボイラー
労働基準監督署長に設置届提出
年1回の定期自主検査等が必要。

簡易ボイラー
届出、検査等は不要。

Q 26 小型ボイラーの届け出や義務とは何ですか?

A 事業者が小型ボイラーを事業所へ設置する際には労働安全衛生法上、5つの項目を実施することが義務付けられています。

1.設置報告　(適用法令…ボイラー及び圧力容器安全規則第91条)
2.定期自主検査　(適用法令…ボイラー及び圧力容器安全規則第94条)
3.特別教育　(適用法令…ボイラー及び圧力容器安全規則第92条)
4.安全弁の調整　(適用法令…ボイラー及び圧力容器安全規則第93条)
5.事故報告　(適用法令…労働安全衛生規則第96条)

※事業者とは、事業を行うもので、労働者(賃金を支払われる者)を使用するものを言います。ただし同居の親族のみを使用する事業や事務所は適用されません。

1.の設置報告について
小型ボイラーを設置した時は設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がありますので、事業者は小型ボイラー設置報告書に構造図および小型ボイラー明細書、並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて2部、所轄の労働基準監督署長へ提出する必要があります。

2.の定期自主検査および3.の特別教育について
定期検査は自主検査であり、特別教育は事業者が労働者へ教育すればよいので、小型ボイラーは設置後速やかに設置報告書を所轄の労働基準監督署長へ提出すれば、以後事故が無い限り法的な手続きは不要となります。但し、小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合でも新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。自主検査の内容や特別教育の内容については以下の表をご参照ください。

タイミング	必要な作業	関連法規	必要書類/記録項目	提出先/記録の保存期間
設置時	設置届の提出 提出用と控え用で2組必要。	ボイラー及び圧力容器安全規則第91条	小型ボイラー設置報告書、小型ボイラー明細書(合格印付)、ボイラー構造図面、設置場所の周辺図面	所轄の労働基準監督署長
使用時	定期自主検査と記録の保存(年1回)	ボイラー及び圧力容器安全規則第94条	【本体】 本体からの水漏れ有無、逃し弁の作動状況・漏れの有無、漏電ブレーカの作動状況、タンクの手入れ 【配管】 損傷及び漏れの有無	記録の保存3年
	特別教育と記録の保存(都度) ※ボイラー管理に労働者を就かせる場合。 但し十分な知識を持っている労働者は特別教育の省略が可能。	ボイラー及び圧力容器安全規則第92条	ボイラー構造に関する知識、ボイラー付属品に関する知識、関係法令、小型ボイラーの運転及び保守 小型ボイラーの点検	記録の保存3年
移転時	設置届の提出	ボイラー及び圧力容器安全規則第91条	設置時の提出書類と同じ ※新たな設置と見なされる為	労働基準監督署長
事故発生時	事故届の提出	労働安全衛生規則第96条	事故報告書	労働基準監督署長

※消防法(火災予防条例第57条)に基づく設置の届出も必要となります。詳細は所轄の消防署へお問い合わせください。

Q 27 ボイラーの性能検査は何故必要なの?

A

ボイラー及び圧力容器安全規則に規定されたボイラーを使用する事業主には、構造検査後1年以内に1回、その後毎年1回／年の性能検査が義務付けられています。
ボイラー、圧力容器に関する法令としてはソフトの基準として、労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則、ボイラー及び圧力容器安全規則などがあり、ハードの基準としてボイラー構造規格、圧力容器構造規格並びに小型ボイラー及び小型圧力容器構造規格などがあります。体系としては、法律として労働安全衛生法があり、政令として労働安全衛生法施行令があり、省令として、労働安全衛生規則並びにボイラー及び圧力容器安全規則があり、告示として、ボイラー構造規格、圧力容器構造規格などが位置付けられています。

Q 28 水道法適合品とは何ですか?

A

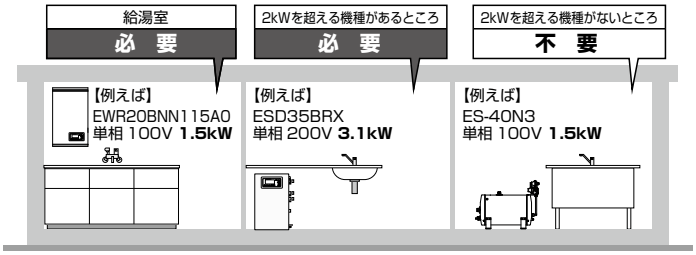
厚生労働省の「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」および「水道施設の技術的基準を定める省令」に承認登録された給水器具のことを言います。給水本管から直接、器具に給水をつなぐ場合は水道直結と呼ばれ、この承認登録が必要です。イトミックの小型電気温水器は全て承認登録されています。

Q 29 電気温水器の設置には火災報知機は必要ですか?

A

給湯室では必須になります。その他の場所でも電気温水器1台当たりのヒーター容量が2kWを超える場合には必要です。

火災報知機などの消防設備には消防法令と各自治体の条例によって定められているものがありますので、詳細は所轄の消防署等へお問い合わせください。



Q 30 バキュームブレーカーとは何ですか?

A

給水・給湯系統において負圧が生じたとき、衛生機器や水受け容器内に吹き出した湯水や使用後の湯水が逆流するのを防止するために負圧の箇所へ自動的に空気を入れる機能を持つのがバキュームブレーカーです。

バキュームブレーカー

Q 31 業務用蓄熱調整契約とは何ですか?

A

業務用電力または業務用季節別時間帯別電力を契約している事業者が、冷暖房負荷などを蓄熱運転により昼間の運転負荷を夜間に移行した場合、夜間蓄熱用の電力量[kWh]料金を割り引く制度のことです。
割引額=電力量料金単価×蓄熱電力量[kWh]×蓄熱割引率
※貯湯量が1,500L以上の場合にご利用になることができます。

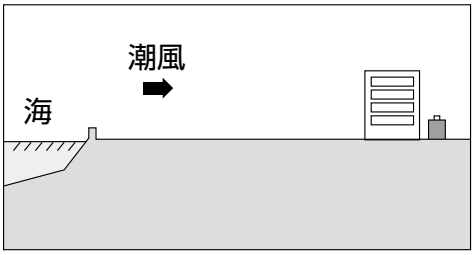
Q 32 海辺から設置場所までの距離に基準はあるのですか?

A イトミックでは目安として日本冷凍空調工業会規格JRA9002(空調機器の耐塩害試験基準)に基づき、以下の様に基準を設けています。

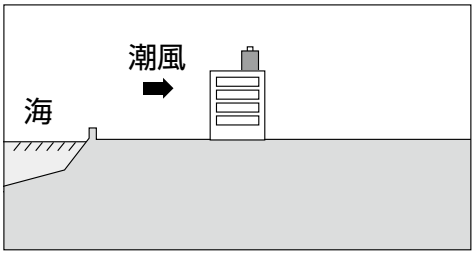
(耐塩害仕様)
・機器の設置場所から海までの距離が約300mを超え、1km以内の場所
・潮風が当たらない所
・機器が建物の陰になる場所
・機器が雨で洗われる場所

(耐重塩害仕様)
・機器の設置場所から海までの距離が約300m以内
・潮風が直接当たる所
・機器が建物の表(海岸面)になる場所
・機器に雨があまり掛からない場所

耐塩害仕様
潮風には当たらないがその雰囲気があるような場所



耐重塩害仕様
潮風の影響を受ける場所。ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所



Q 33 電気給湯器の転倒防止対策(耐震対策)は必要ですか?

A 必要です。
大規模地震による給湯設備の転倒・移動による被害を防止するため、「建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件(平成12年建設省告示第1388号)」※が平成24年12月12日に改正され、平成25年4月1日より施行されました。
※建築基準法施工例第129条の2の4に基づき、建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件

この改正により、満水時質量が15kgを超えるすべての給湯設備について、転倒防止等の措置の基準が明確化されました。平成25年4月1日以降、給湯設備はこの告示に基づき設置いただくこととなります。

Q 34 転倒防止対策はどのように行うのですか?

A 給湯器や設置場所によって固定方法が異なります。詳細はお問い合わせください。

Q 35 転倒防止対策の告示に適合していることを証明する資料等はありますか?

A 弊社の告示対象温水器は告示の第五第4号に則り、安全上支障ないことを耐震計算書にて説明しています。耐震計算書の発行についてはお問い合わせください。
また、証明資料については建築確認申請時や完了検査時等に監督官庁等により告示に適合している資料等の提示を求められることが考えられます。(告示は建築確認の要否に関わらず全ての建築物に適用されます)

Q 36 二次給水口とは何ですか?

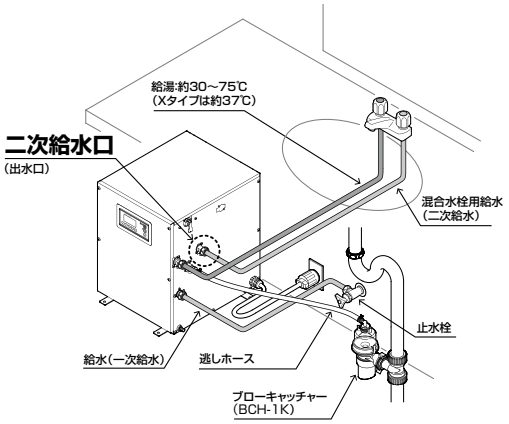
ESN ESD ES-N3 ESW03

A

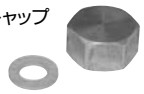
温水器本体へ給水される給水口を一次給水口、温水器から混合水栓に給水するための給水取出口のことを二次給水口と呼びます。(ESD、ESN、ESW03では出水口と呼びます)
※一般的な混合水栓に接続する給水圧力は、電気温水器の給湯圧力と同じ圧力にする必要があります。

お湯を単水栓で使用する場合は二次給水口を配管接続口キャップで止める必要があります。(キャップで止めずに給水をつないでしまうと水が漏れてしまいます)

配管接続口キャップはイトミックでは砲金またはステンレス製を推奨しています。黄銅・鉄・亜鉛合金などのキャップを使用するとキャップが腐食し、穴が開いて漏水するおそれがあります。
※関連商品の配管接続口キャップは砲金製です。



配管接続口キャップ



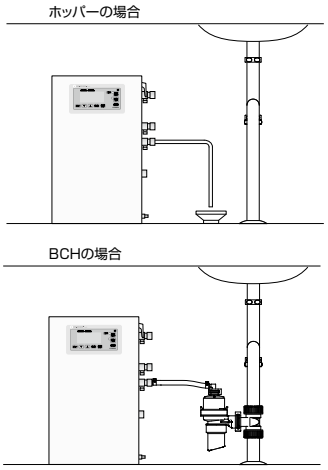
製品の価格▶P.19、29

Q 37 ブローキャッチャー(BCH)とは何ですか?

ESN ESD ES-N3 ESW03

A

逃し弁から排出される膨張水を排水処理するための膨張水排出装置のことです。
電気温水器からの膨張水は、直接排水管にはつながずに必ず一度大気中で縁を切り間接排水する事が義務付けられています。ブローキャッチャー内部には間接排水と同じ構造が組み込まれているので、間接排水の施工の手間を軽減できます。(間接排水については給排水衛生設備規準/SHASEや建築基準法施行令においても同様に間接排水が原則とされています)
ブローキャッチャーをお使いいただく事で、手間の掛かる間接排水の施工は不要になります。施工も簡単で、臭気漏れもなく、逆止弁内蔵のため万が一排水管が詰まっても汚水の逆流を防ぎます。

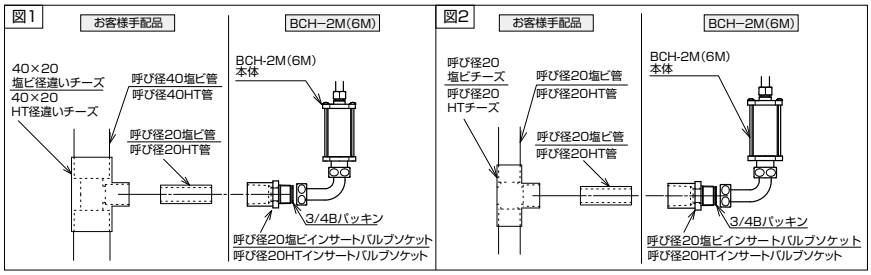


Q 38 20Aの塩ビ排水管へBCH-2Mを取り付けることはできますか?

BCH

A

取付可能です。一般的に塩ビ排水管は呼び径40が多く採用されているため40×20の塩ビチーズを利用し取り付けますが、呼び径20の場合では20×20の塩ビチーズを利用して取り付けます。



Q 39 壁掛タイプのEWS/EWRシリーズはなぜまぜまぜ(MZ-N3)を使用しなくてはいけないのですか?

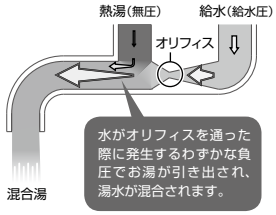
EWS EWR MZ-N3

A EWS/EWRシリーズは機器本体を取り付けた壁位置から下方向へ給湯する落差給湯です。やかんからお湯を垂らすのと同じで、無圧給湯とも呼ばれます。物理的に上方向へ給湯はできません。この無圧の湯と圧力のある水をスムースに混ぜるには専用の特殊水栓「まぜまぜ(MZ-N3)」が必要になります。

Q 40 まぜまぜ(MZ-N3)はどうやって湯水を混合しているのですか?

EWS EWR MZ-N3

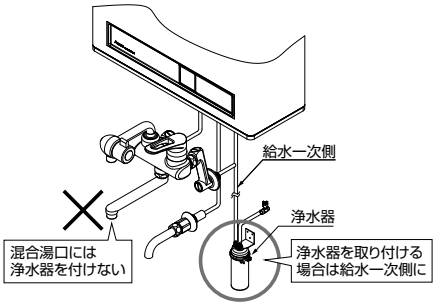
A 圧力のないお湯と圧力のある水をスムースに混ぜるため、オリフィスを利用します。オリフィスをまぜまぜの内部に組み込むことで、EWS/EWRのような落差給湯でも、お湯と水をうまくスムースにミキシングすることが可能になるのです。



Q 41 まぜまぜ(MZ-N3)に浄水器を取り付けることはできますか?

EWS EWR MZ-N3

A まぜまぜに直接取り付けることはできません。混合湯口に浄水器を取り付けると適切な給湯量が得られなくなります。必ず給水の一次側に取り付けてください。



Q 42 EWS/EWRシリーズとまぜまぜ(MZ-N3)を使用する場合はなぜ給水源が「タンク以下」でなくてはならないのですか?

EWS EWR MZ-N3

A 万が一負圧などでタンク内のお湯がまぜまぜを介して給水側へ引き込まれた場合に、水道直結で使用していた場合は水本管から縁の切れたお湯を本管に戻す事になるため、水道法に抵触します。給水源は高架水槽などタンク以下になるようにしてください。
NT-1などの単水栓をご使用になる場合は水道直結でも問題ありません。

Q 43 EWS/EWRシリーズに単水栓は使えますか?

EWS EWR NT-1

A 使用可能です。但し、EWS/EWRシリーズは落差給湯になりますので吊りコマ式水栓が必要です。熱湯専用単水栓のNT-1でも対応可能です。

熱湯専用単水栓
NT-1

詳細▶P.54

Q 44 ESDシリーズにEWS/EWRシリーズ用のまぜまぜMZ-N3は使用できますか?

ESD MZ-N3P

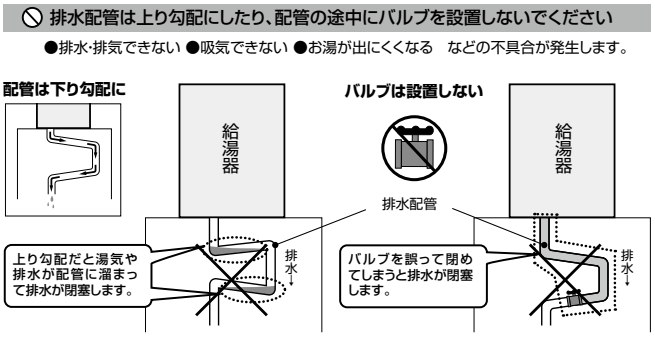
A ESDシリーズにはEWS/EWRシリーズ専用のまぜまぜMZ-N3は使用できません。ESDシリーズにはまぜまぜP(MZ-N3P)シリーズをご使用ください。MZ-N3は開放式向け、MZ-N3Pは密閉式向けです。
※ESDシリーズではまぜまぜMZ-N3Pだけでなく KG-2とNT-1との組み合わせも可能です。

Q 45 壁掛型のEWS/EWRシリーズと同様に、置台型のETC/ETRシリーズやワクワク(WK-14)もオーバーフロー配管の設備は必要ですか?

EWS EWR ETC ETR WK-14

A 必要です。
開放式の電気温水器は給湯する際、排水／オーバーフロー兼用口 (以降「排水口」と記載) から吸気する構造になっています。そのため、排水処理が正しく行われていないと
・お湯が出にくくなる
・排水が逆流する可能性がある
・出口がなくなった蒸気が上蓋から漏れる
などの不具合が発生します。

≪開放式電気温水器の排水管を施工する際のポイント≫
・必ず製品に付属の施工要領書に沿って行う
・排水管は密閉しない
・排水口空間を確保する
・必ず下り勾配で配管する
・排水出口は目視点検できる状態に施工する



Q 46 自動給排水機能や自動湯水入替機能とはどのような機能ですか?

EWS ESD

A 定期的にタンク内のお湯を排水し、新しい水に入れ替える機能のことで、予め設定した日時に自動で行います。
※EWSシリーズ、ESDシリーズのCタイプは標準装備です。EWRシリーズ、ETRシリーズ、ESNシリーズは仕様変更にて対応します。

詳細▶P.14

Q 47 EWS/EWRシリーズの給湯横引配管は何mまで対応可能ですか?

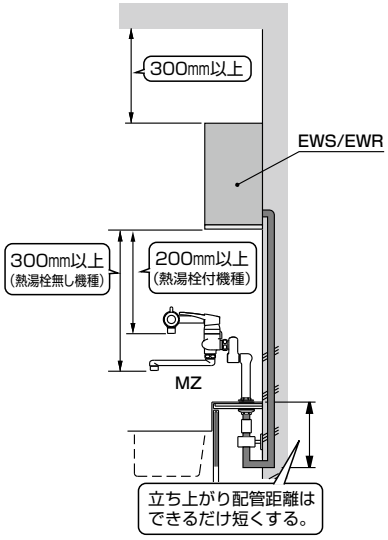
EWS EWR

A EWS/EWRシリーズは落差分の給湯圧力しかないため、離れた場所への給湯はできません。本体真下への給湯をおすすめしておりますが、設置場所等の制限により離れた場所へ給湯する場合は、給湯横引配管の距離は本体底面から給湯口までの落差距離の3倍までを目安に施工してください。

Q 48 EWS/EWRシリーズとまぜまぜ(MZ-N3)の取付位置に制限はありますか?

EWS EWR MZ-N3

A EWS／EWRシリーズは落差分の給湯圧力しか無いため、本体底面から給湯口まで一定の距離を取る必要があります。またMZ-3N3やMZ-6N3などは立ち上がる距離をできるだけ短く設置してください。



Q 49 電気瞬間湯沸器に採用されているフィードフォワード制御とは何ですか?また従来のフィードバック制御とは?

EI DE

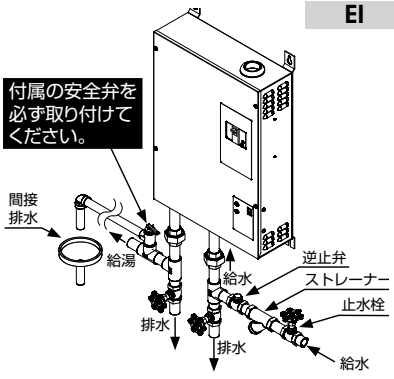
A フィードフォワード制御は水温と流量の変化を機器の給水側で検知するので給水がヒーターを通過する前に制御できます。急にお湯を増やしたり減らした時に湯温の変化を最小限に抑える事が可能です。また流量変化をセンサーで直接検知するので流量に合った給湯温度の追従に優れており、頻繁な使用や停止にも対応できます。
従来のフィードバック制御は、給湯温度の変化のみを給湯側で検知するので後追いとなり、水量の変化に追従できず、設定湯温で給湯するのに遅れが生じます。電気瞬間湯沸器内部では水が水管中を毎分数メートルの速さで流れているので従来の制御では給湯温度が大きく変動してしまうのです。

詳細▶P.14

Q 50 電気瞬間湯沸器には安全弁が必要ですか?

EI DE

A イトミックの電気瞬間湯沸器は安全弁を製品に付属して出荷しております。この安全弁は機器内部が異常高圧にならないようにするための安全装置です。
万が一異常高圧が起きた場合に安全弁がないと比較的弱い配管や部品の接合部に圧力が掛かり、漏水などの可能性がありますので必ず付属の安全弁を施工してください。



Q 51 電気瞬間湯沸器のEIシリーズはシャワーに使用できますか?

EI-N5

A EI-30N5(17.2号相当・30kW)以上の機種であれば使用可能です。
冬場の水温を5℃、シャワー流量を12L／分・シャワーの必要温度が40℃という一般的な使用条件のもとに、必要なヒーター容量を「Kcal／h=L／h×昇温温度」という公式から求めてみます。
シャワーの必要温度が40℃の場合、水温が5℃なので昇温温度 (Δt) は35℃となります。 12L／分は720L／時ですから公式では720×35=25,200 Kcal／hとなります。 1kW=860 Kcal／hですから25,200÷860=29.3kW必要になるのです。
※冬場の水温が20℃を下回らない温暖な地域ではEI-20N5(20kW)でも対応可能な場合があります。詳しくはお問い合わせください。

$$給湯温度(℃)=\frac{860(kcal/h)\times ヒーター容量(kW)}{お湯の流量(L/min)\times 60(分)}+給水温度(℃)$$

Q 52 深夜電力専用型の電気温水器とはどういうものですか?

ES-RM ES-RMK ES-CM

A 電力会社が提供する深夜電力契約を利用してお湯を沸かす、貯湯量150～560Lの電気温水器「ES-RM」「ES-RMK」「ES-CM」のことです。深夜電力は昼間の電力に比べて割安で、この温水器は深夜電力契約にリモコンの仕様や使用方法などを最適に合わせた製品となっており、ランニングコストを下げることが可能です。

詳細▶P.37

Q 53 ES-Fは屋外に設置できますか?

ES-F

A ES-Fは仕様変更により屋外対応が可能です。標準の屋内仕様と異なり、雨水が内部に入り込まないように工夫しています。
屋外仕様は主に、
・電装ケースに通気口(ルーバー)がない
・電装ケースの扉に防水対策としてシーリングを施す
・電装ケースと本体の接合部分にコーキングを施す
・電装ケースにひさしを付ける
・サーモスタットをケース内部に収納し、本体全面に防水運転スイッチを付ける
・電源／通電表示灯を防水型にする
・電装ケースのプッシュ式レバーをハンドル型にする
という仕様変更を行っています。

Q 54 海辺付近の屋外にES-Fを設置したいのですが錆びない仕様はありますか?

ES-F

A 海辺付近での設置の場合、潮風の影響を受けやすく外装に錆が発生してしまうケースがあります。完全に錆を防止できる仕様はありませんが、お客様のご要望により、外装と電装ケースを亜鉛メッキ鋼板からステンレス材に変更し、さらに本体下部の缶台(鉄)の塗装を2回塗る事で潮風の影響で錆びにくくする仕様(耐塩害仕様)の製作が可能です。また、缶台もステンレス材に変更し外装オールステンレス仕様(耐重塩害仕様)も製作可能です。
どちらも仕様変更となりますのでお問い合わせください。

設置場所の基準▶Q32

Q 55 ESTとはどのような電気温水器なのですか? 20トンを超える大きさでも製作可能なのですか?

EST

A ESTは開放式の大型昇温貯湯槽です。ステンレスパネルを組み合わせて製作しますので柔軟なカスタマイズ対応が可能で、高い耐久性やボイラ規制対象外などメリットも多く様々な使用条件に対応します。20トンまでを標準にしておりますが、それ以上のサイズの製作も可能です。

Q 56 ESTは現場施工の対応は可能ですか?

EST

A 可能です。完成品での納入の他、エレベーターや搬入口が狭い物件でも部材で搬入して現場で組み立てを行います（現場施工の際には搬入経路の確認や溶接機用の電源、給排水設備が必要です。詳細はお問い合わせください)。

Q 57 ESTは階下給湯は可能ですか?

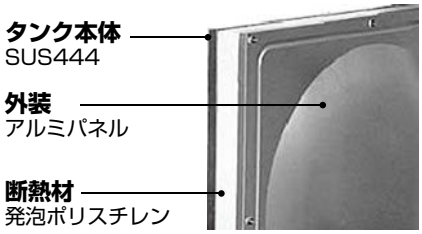
EST

A 負圧が問題となる密閉式ボイラーと違い、開放式構造のESTなら階下給湯が可能です。屋上設置も可能となります。

Q 58 ESTの耐久性とは具体的にどのような点ですか?

EST

A ESTの本体タンクは軽量で耐久性・防錆性に優れたSUS444ステンレス製です。高精度なプレス技術で成形されており、強度は軟鋼材の約1.5倍・FRP製の約6倍、重量は鋼鉄製のわずか1/5。また、FRPと違って光を通さないため藻の発生がありません。パネルを溶接して組み立てるESTの溶接作業は、JISステンレス溶接資格者がTIG溶接にて行うので水密性が高く、パッキンを使用していないため、一般の温水器で発生するような消耗部品の経年劣化による漏水はありません。断熱材には高断熱・高耐熱の発泡ポリスチレンを採用することで高い保温性を確保。放熱を最小限に抑えています。外装はアルミパネルを利用しています。



Q 59 ESTは業務用蓄熱調整契約に対応可能ですか?

EST

A 対応可能です。通常の各種業務用電力契約と合わせてご利用いただいた場合、割引料金が適用されますのでランニングコストを抑えた運用が可能です。
運用に合わせて昼間電力と夜間電力の併用も可能ですので、ご利用いただく用途や場所をご相談ください。

業務用蓄熱調整契約▶Q31

Q&A 業務用エコキュート

製品紹介▶P.47　資料▶P.86

共通

Q 60 エコキュートは環境にやさしいって本当ですか?

A エコキュートは自然冷媒(CO_2)を使用した給湯機です。フロン系の冷媒(R410)と比較すると地球温暖化係数は1/1,700、オゾン層破壊係数は0となっており、今後の地球環境を守るためにもますます需要が高まっています。

Q 61 エコキュートは何℃までお湯を沸かせるのですか?

A Yフレーム・中型機・小型機、いずれも90℃です。
エコキュートはCO_2冷媒を使用しているため、高い加熱能力を持っています。

Q 62 エコキュートは家庭用と業務用とで何が違うのですか?

A 家庭用の場合は、お湯を使用する家族の人数でおおよその機種選定が可能ですが、業務用の場合は給湯箇所・浴槽の容量・使用人数・日の給湯量変動などの、物件毎に大きく異なる使用方法に応じた詳細な給湯負荷計算が機種選定の際に必要となります。イトミックでは機種選定が楽に行える給湯計算ソフトをご用意しています。

Q 63 業務用エコキュートは何種類のラインナップがあるのですか?

A Yフレーム(65kWクラス)、中型機(26kWクラス)、小型機(10kWクラス)の3シリーズです。それぞれ貯湯タンクや給湯システムが異なり、様々な現場に対応できるように多くのラインナップを用意しています。

詳細▶P.47

※小型機のタンクは1種類のみです。

Q 64 熱源機を屋内に設置することは可能ですか?

A 屋外に設置してください。屋内に設置すると熱交換不良が生じ能力低下の可能性があります。
※設置環境によっては対応可能な場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

Q 65 井戸水は使用可能ですか?

A Yフレーム・中型機は井水対応ユニットを設置することにより井戸水での対応が可能になります。小型機は標準で対応可能です。
※Yフレーム・中型機の貯湯タンクは内部清掃が可能なタイプをご選定いただく必要があります。詳しくはお問い合わせください。

井水対応ユニット▶P.49・P.50

Q 66 水道直結は可能ですか?

A 小型機:標準仕様で対応可能。
Yフレーム・中型機:仕様変更にて対応可能です。お問い合わせください。

Q 67 グリーン購入法の適合品ですか?

A イトミック業務用エコキュートはグリーン購入法の適合商品に対応しています。

Q 68 高圧ガス保安法の対象機器ですか?

Yフレーム

A 1日の冷凍能力が3トン以上20トン未満の冷凍設備を設置して使用するときは、運転開始の20日前までに、高圧ガス製造届を事業所が管理する都道府県知事に届けなければなりません。
イトミック業務用エコキュートの場合、Yフレームは1日の冷凍トンが9.6トンのため高圧ガス保安法の対象機器となります。小型機と中型機は1日の冷凍トンが3トン未満のため、高圧ガス保安法の対象外となります。

Q 69 ECOドックプランとは何ですか?

Yフレーム 中型機

A エコキュートのトータルサポートプランのことです。従来の保守点検に比べサポート範囲を拡充、細部まで充実させており、年2回の定期保守点検に加えコスト診断により最適化運転を実施します。「ベース設定」という各種保守点検・システム提案にプラスして「シンプルプラン」もしくは「おまかせプラン」いずれかをお選びいただくことで、より充実したサポートを適用することが可能になります。

ベース設定 +プラス **シンプルプラン** もしくは **おまかせプラン**

〈おまかせプランの一例〉

- ■ 年２回の訪問
- ■ コスト診断・最適化運転の実施
- ■ 最新パーツへバージョンアップ
- ■ 湯切れ回避システムなど各種システム提案
- ■ 繁忙期でも優先訪問
- ■ 入替時の特別価格対応
- ■ ロングラン無償フルサポート
  メンテナンスにより最大13 年間エコキュートをサポートします。
- ■ パーツ交換が無償
  各種パーツ交換が無償です。

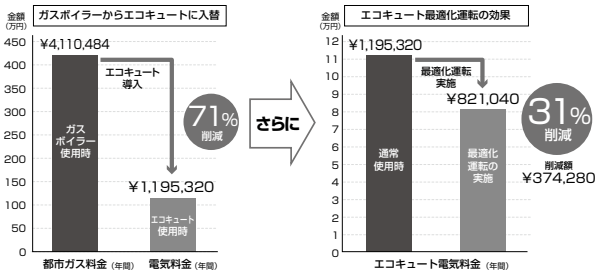
※詳しくはお問い合わせください。

Q 70 最適化運転とはどのような運転のことですか?

Yフレーム 中型機

A 季節や使用時間帯毎のデーター計測に基づき、余分な沸かし上げをカットすることで、エコキュート導入で大幅に削減したランニングコストをさらに使用状況に合わせてコスト削減することが可能です。
機器納入後は季節や施設の利用状況の変化でお湯の必要量や使用状況は変わります。変化に合わせた最適化運転をECOドックプランでぜひ体験ください。

■エコキュートの導入と最適化運転の実施によるコスト削減の一例



Q 71 最適な受電契約は何が良いのですか?

Yフレーム 中型機

A 業務用蓄熱調整契約が最適です。

業務用蓄熱調整契約▶Q31

表示価格は税抜きです。

小型電気温水器

シリーズ	貯湯量(L)	型番	希望小売価格	標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
ESD	12	ESD12B (R/L) X215B0	¥291,000	単相 200V 1.5kW	P.17
		ESD12C (R/L) X215B0	¥351,000		
	20	ESD20B (R/L) X220B0	¥322,000	単相 200V 2.0kW	
		ESD20C(R/L) X220B0	¥382,000		
	25	ESD25B (R/L) X220B0	¥332,000		
		ESD25C(R/L) X220B0	¥392,000		
	30	ESD30B (R/L) X220B0	¥343,000		
		ESD30C(R/L) X220B0	¥403,000		
	35	ESD35B (R/L) X231B0	¥353,000	単相 200V 3.1kW	
		ESD35C(R/L) X231B0	¥413,000		
	50	ESD50B (R/L) X231B0	¥394,000		
		ESD50C(R/L) X231B0	¥454,000		
ES-DWUB	50	ES-50DWUB-LC	¥557,000	単相 200V 3.1kW	P.20
	80	ES-80DWUB-LC	¥690,000		
EWS	20	EWS20CNN115A0	¥223,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	P.21
		EWS20CNN215A0			
	30	EWS30CNN115A0	¥252,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 2.0kW	
		EWS30CNN220A0			
	40	EWS40CNN115A0	¥292,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 3.0kW	
		EWS40CNN230A0			
EWR	12	EWR12BNN107A0	¥165,000	単相 100V 0.75kW 単相 200V 0.75kW	
		EWR12BNN207A0			
	20	EWR20BNN115A0	¥184,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	
		EWR20BNN215A0			
	30	EWR30BNN115A0	¥208,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 2.0kW	
		EWR30BNN220A0			
	45	EWR45BNN115A0	¥247,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 3.0kW	
		EWR45BNN230A0			
	65	EWR65BNN115A0	¥299,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 4.0kW	
		EWR65BNN240A0			
ETC	12	ETC12BJS107A0	¥170,000	単相 100V 0.75kW 単相 200V 0.75kW	P.24
		ETC12BJS207A0			
	20	ETC20BJS115A0	¥180,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	
		ETC20BJS215A0			
	45	ETC45BJS115A0	¥235,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 2.0kW	
		ETC45BJS220A0			
	60	ETC60BJS115A0	¥253,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 3.0kW	
		ETC60BJS230A0			
	90	ETC90BJS115A0	¥365,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 4.0kW	
		ETC90BJS240A0			
ETR	12	ETR12BJ□107A0	¥175,000	単相 100V 0.75kW 単相 200V 0.75kW	
		ETR12BJ□207A0			
	20	ETR20BJ□115A0	¥188,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	
		ETR20BJ□215A0			
	30	ETR30BJ□115A0	¥211,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 2.0kW	
		ETR30BJ□220A0			
	45	ETR45BJ□115A0	¥249,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 3.0kW	
		ETR45BJ□230A0			
	65	ETR65BJ□115A0	¥301,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 4.0kW	
		ETR65BJ□240A0			
ワクワク WKT-14	14	WKT-14	オープン	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	P.26

シリーズ	貯湯量(L)	型番	希望小売価格	標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
ESN	6	ESN06ARN111B0	¥87,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 1.1kW	P.27
		ESN06ARN211B0			
		ESN06ARX111B0	¥118,000		
		ESN06ARX211B0			
		ESN06BRN111B0	¥117,000		
		ESN06BRN211B0			
		ESN06BRX111B0	¥149,000		
		ESN06BRX211B0			
	12	ESN12ARN111B0	¥98,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 1.5kW	
		ESN12ARN215B0			
		ESN12ARX111B0	¥129,000		
		ESN12ARX215B0			
		ESN12BRN111B0	¥128,000		
		ESN12BRN215B0			
		ESN12BRX111B0	¥160,000		
		ESN12BRX215B0			
	20	ESN20ARN111B0	¥135,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 2.0kW	
		ESN20ARN220B0			
		ESN20ARX111B0	¥166,000		
		ESN20ARX220B0			
		ESN20BRN111B0	¥165,000		
		ESN20BRN220B0			
		ESN20BRX111B0	¥187,000		
		ESN20BRX220B0			
	25	ESN25ARN111B0	¥138,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 2.0kW	
		ESN25ARN220B0			
		ESN25ARX111B0	¥169,000		
		ESN25ARX220B0			
		ESN25BRN111B0	¥168,000		
		ESN25BRN220B0			
		ESN25BRX111B0	¥200,000		
		ESN25BRX220B0			
	30	ESN30ARN111B0	¥154,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 2.0kW	
		ESN30ARN220B0			
		ESN30ARX111B0	¥185,000		
		ESN30ARX220B0			
		ESN30BRN111B0	¥184,000		
		ESN30BRN220B0			
		ESN30BRX111B0	¥216,000		
		ESN30BRX220B0			
ES-N3	5.4	ES-VN3	¥80,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 1.1kW	P.30
		ES-VN3B	¥110,000		
		ES-VN3X	¥116,000		
		ES-VN3BX	¥151,000		
	10	ES-10N3	¥93,000	単相 100V 1.1kW 単相 200V 1.1kW	
		ES-10N3B	¥123,000		
		ES-10N3X	¥129,000		
		ES-10N3BX	¥164,000		
	20	ES-20N3	¥128,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 1.5kW	
		ES-20N3B	¥158,000		
		ES-20N3X	¥164,000		
		ES-20N3BX	¥199,000		
	30	ES-30N3	¥159,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 2.0kW	
		ES-30N3B	¥189,000		
		ES-30N3X	¥195,000		
		ES-30N3BX	¥230,000		
	40	ES-40N3	¥180,000	単相 100V 1.5kW 単相 200V 3.1kW	
		ES-40N3B	¥210,000		
		ES-40N3X	¥216,000		
		ES-40N3BX	¥251,000		
ESW03A/03T	3	ESW03ATX106B0	¥98,000	単相 100V 0.6kW 単相 200V 0.6kW	P.31
		ESW03ATX206B0			
		ESW03TTX106B0	¥128,000		
		ESW03TTX206B0			

価格一覧表

表示価格は税抜きです。

シリーズ	貯湯量(L)	型番	希望小売価格	標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
iHOT14 EWM-14	14	EWM-14	¥94,000	単相 100V 0.701kW	P.33
EIC-05A0	—	EIC-05A0	¥123,000	単相 200V 5kW	P.34
DE-10/15N1	—	DE-10N1	¥289,000	三相 200V 10.1kW	
		DE-15N1	¥309,000	三相 200V 15.0kW	
EI-N5	—	EI-10N5	¥675,000	三相 200V 10.1kW	
		EI-15N5	¥733,000	三相 200V 15.0kW	
		EI-20N5	¥820,000	三相 200V 20.0kW	
		EI-30N5	¥1,015,000	三相 200V 30.0kW	
		EI-40N5	¥1,075,000	三相 200V 40.0kW	

大型電気温水器

シリーズ	貯湯量(L)	型番	希望小売価格	荷造運賃※1		標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
				23区内	その他		
ES-RM/RMK	150	ES-150RM	¥261,000	¥20,000	¥20,000	単相 200V 2.4kW	P.37
	200	ES-200RM	¥266,000				
	370	ES-370RM	¥345,000	¥35,000	¥35,000	単相 200V 4.4kW	
		ES-370RMK	¥505,000				
	460	ES-460RM	¥387,000	¥40,000	¥40,000	単相 200V 5.4kW	
		ES-460RMK	¥634,000				
	560	ES-560RM	¥449,000			単相 200V 6.4kW	
		ES-560RMK	¥768,000				
ES-CM	300	ES-300CM	¥255,000	¥35,000	¥35,000	単相 200V 3.4kW	
	370	ES-370CM	¥261,000			単相 200V 4.4kW	
	470	ES-470CM	¥278,000	¥40,000	¥40,000	単相 200V 5.4kW	
ES-RB-T	150	ES-150RB-T	¥730,000	¥35,000	¥45,000	単相 200V 3.1kW	P.40
	200	ES-200RB-T	¥820,000	¥40,000	¥50,000		

※1：離島などの場合は追加送料が必要になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

シリーズ	貯湯量(L)※	型番	希望小売価格	荷造運賃※1		標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
				23区内	その他		
ES-F/ESP-FK/ESP-F	57	ES-55F(2)	¥920,000	¥20,000	¥30,000	三相 200V 3.1kW	P.41
		ESP-55FK(2)	¥1,340,000				
		ESP-55F	お問い合わせください				
	99	ES-95F(2)	¥1,000,000	¥25,000	¥35,000	三相 200V 5.0kW	
		ESP-95FK(2)	¥1,410,000				
		ESP-95F	お問い合わせください				
	141	ES-140F(2)	¥1,130,000	¥30,000	¥40,000	三相 200V 7.1kW	
		ESP-140FK(2)	¥1,570,000				
		ESP-140F	お問い合わせください				
	183	ES-180F(2)	¥1,320,000	¥35,000	¥45,000	三相 200V 9.0kW	
		ESP-180FK(2)	¥1,820,000				
		ESP-180F	お問い合わせください				
	224	ES-220F	¥1,440,000	¥40,000	¥55,000	三相 200V 10.1kW	
		ESP-220FK	¥2,050,000				
		ESP-220F	お問い合わせください				
	322	ES-320F	¥1,620,000	¥50,000	¥70,000	三相 200V 15.0kW	
		ESP-320FK	¥2,220,000				
		ESP-320F	お問い合わせください				
	453	ES-450F	¥1,800,000	¥60,000	¥80,000	三相 200V 16.0kW	
		ESP-450FK	¥2,550,000				
		ESP-450F	お問い合わせください				
	595	ES-580F	¥2,100,000	¥70,000	¥90,000	三相 200V 20.0kW	
		ESP-580FK	¥2,930,000				
		ESP-580F	お問い合わせください				
	651	ES-645F	¥2,290,000	¥80,000	¥95,000	三相 200V 24.0kW	
		ESP-645FK	¥3,080,000				
		ESP-645F	お問い合わせください				
	769	ES-765F	¥2,340,000	¥90,000	¥100,000	三相 200V 25.0kW	
		ESP-765FK	¥3,530,000				
		ESP-765F	お問い合わせください				
	936	ES-935F	¥2,450,000	¥100,000	¥110,000	三相 200V 26.0kW	
		ESP-935FK	¥3,760,000				
		ESP-935F	お問い合わせください				
	約1,100	ES-1100F	¥2,650,000	¥130,000	¥170,000	三相 200V 30.0kW	
		ESP-1100FK	¥4,060,000				
		ESP-1100F	お問い合わせください				
	約1,500	ES-1500F	¥3,110,000	¥150,000	¥190,000	三相 200V 35.0kW	
		ESP-1500FK	¥4,730,000				
		ESP-1500F	お問い合わせください				
	約2,000	ES-2000F	¥3,680,000	¥160,000	¥200,000	三相 200V 40.0kW	
		ESP-2000FK	¥5,600,000				
		ESP-2000F	お問い合わせください				
	約2,500	ES-2500F	¥4,260,000	¥200,000	¥260,000	三相 200V 45.0kW	
		ESP-2500FK	¥6,490,000			三相 200V 40.0kW	
		ESP-2500F	お問い合わせください			三相 200V 45.0kW	
	3,000/4,000/5,000	物件ごとのお打ち合わせが必要となりますのでお問い合わせください。					
ES-K	–	ES-30K	お問い合わせください			三相 200V 30kW	P.43
		ES-50K				三相 200V 50kW	
		ES-80K				三相 200V 80kW	
		ES-100K				三相 200V 100kW	
		ES-120K				三相 200V 120kW	
		ES-160K				三相 200V 160kW	
		ES-200K				三相 200V 200kW	
		ES-240K				三相 200V 240kW	
		ES-280K				三相 200V 280kW	
		ES-340K				三相 200V 340kW	
		ES-400K				三相 200V 400kW	
		ES-500K				三相 200V 500kW	
EST ※2	1,000	EST-1	お問い合わせください			三相 200V 10.1kW	P.44
	2,000	EST-2				三相 200V 20kW	
	3,000	EST-3				三相 200V 30kW	
	4,000	EST-4				三相 200V 40kW	
	5,000	EST-5				三相 200V 50kW	
	7,000	EST-7				三相 200V 70kW	
	10,000	EST-10				三相 200V 100kW	
	15,000	EST-15				三相 200V 150kW	
	20,000	EST-20				三相 200V 200kW	

※1：離島などの場合は追加送料が必要になる場合があります。詳細はお問い合わせください。　※2：ESTの貯湯量は有効貯湯量です。

価格一覧表

表示価格は税抜きです。

シリーズ	タンク容量(L)	型番	希望小売価格	荷造運賃※1 23区内	荷造運賃※1 その他	標準電源／ヒーター容量	掲載ページ
EIJ	–	EIJ-10A	¥798,000	お問い合わせください		三相 200V 10.1kW	P.45
		EIJ-10B	¥998,000			三相 200V 10.1kW	
EIL	–	EIL-5	¥1,530,000	¥25,000	¥30,000	三相 200V 5kW	
		EIL-6	¥1,545,000	¥25,000	¥30,000	三相 200V 6kW	
		EIL-10	¥1,566,000	¥30,000	¥35,000	三相 200V 10kW	
		EIL-15	¥1,600,000	¥30,000	¥35,000	三相 200V 15kW	
		EIL-20	¥2,266,000	¥30,000	¥35,000	三相 200V 20kW	
		EIL-25	¥2,354,000	¥35,000	¥40,000	三相 200V 25kW	
		EIL-30	¥2,383,000	¥35,000	¥40,000	三相 200V 30kW	
		EIL-35	¥2,778,000	¥40,000	¥45,000	三相 200V 35kW	
		EIL-40	¥2,889,000	¥40,000	¥45,000	三相 200V 40kW	
		EIL-45	¥2,919,000	¥45,000	¥50,000	三相 200V 45kW	
		EIL-50	¥3,142,000	¥45,000	¥50,000	三相 200V 50kW	
		EIL-55	¥3,254,000	¥55,000	¥60,000	三相 200V 55kW	
		EIL-60	¥3,366,000	¥55,000	¥60,000	三相 200V 60kW	

※1：離島などの場合は追加送料が必要になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

業務用エコキュート

表示価格は税抜きです。荷造運賃はお問い合わせください。

Yフレーム

型番		希望小売価格	タンク種別	貯湯量(L)	仕様変更※2 耐塩害仕様	耐重塩害仕様	凍結防止仕様 −15℃	寒冷地仕様 −20℃	循環加熱仕様	水道法適合品	複数台制御機能
ユニット※1	CHP-801048-2	¥9,200,000	標準	4,800	¥10,400,000	¥11,240,000	¥9,710,000	¥9,940,000	お問い合わせください	¥200,000up	¥200,000up
	CHP-801060-2	¥9,500,000		6,000	¥10,800,000	¥11,700,000	¥10,010,000	¥10,240,000			
	CHP-801060K-2	¥12,000,000	高圧	6,000	¥13,600,000	¥14,930,000	¥12,600,000	¥12,828,000			
	CHP-801080K-2	¥12,300,000		8,000	¥13,900,000	¥15,230,000	¥12,900,000	¥13,128,000			
	CHP-801100K-2	¥14,100,000		10,000	¥15,700,000	¥17,030,000	¥14,700,000	¥14,928,000			
熱源機	CHP-80Y2	¥7,800,000	–	–	¥8,400,000	¥9,000,000	¥7,950,000	¥8,178,000			

※1:「熱源機+標準タンクユニット」のセットによるシステムです。 ※2:仕様変更の詳細はP.99をご覧ください。

中型機

型番		希望小売価格	貯湯量(L)	仕様変更※2 耐塩害仕様	耐重塩害仕様	凍結防止仕様 −15℃	寒冷地仕様 −20℃	循環加熱仕様	水道法適合品	複数台制御機能
ユニット※1	CHP-500U-5	¥4,000,000	500	¥4,775,000	¥5,140,000	¥4,370,000	¥4,430,000	お問い合わせください。	¥150,000up	¥200,000up
	CHP-1000U-5	¥4,100,000	1,000	¥4,900,000	¥5,265,000	¥4,470,000	¥4,530,000			
	CHP-1500U-5	¥4,200,000	1,500	¥5,025,000	¥5,390,000	¥4,570,000	¥4,630,000			
	CHP-2000U-5	¥4,300,000	2,000	¥5,150,000	¥5,515,000	¥4,670,000	¥4,730,000			
	CHP-2500U-5	¥4,400,000	2,500	¥5,275,000	¥5,640,000	¥4,770,000	¥4,830,000			
	CHP-3000U-5	¥4,500,000	3,000	¥5,400,000	¥5,765,000	¥4,870,000	¥4,930,000			
	CHP-3500U-5	¥4,600,000	3,500	¥5,525,000	¥5,890,000	¥4,970,000	¥5,030,000			
	CHP-4000U-5	¥4,700,000	4,000	¥5,650,000	¥6,015,000	¥5,070,000	¥5,130,000			
熱源機	CHP-26H4	¥3,300,000	–	¥3,700,000	¥3,975,000	¥3,420,000	¥3,480,000			

※1:「熱源機+標準タンクユニット」のセットによるシステムです。 ※2:仕様変更の詳細はP.99をご覧ください。

小型機 （価格は税抜きです）

種別	型番	希望小売価格	貯湯量(L)	構成
小型機	CHP-101005K	¥1,300,000	560	熱源機1台+タンク1台+リモコン

日本イトミック製 電気温水器新旧型番対比表

当社電気温水器は時代に合わせて進化し、従来型に比べてパフォーマンス性を向上させています。
長年ご使用いただいた電気温水器を買い替える際のご参考にしてください。

設置タイプ	構造	旧型番		現型番	現製品について	掲載ページ
床置	貯湯式	ES-D	▶	ESD	飲用洗い物両用の密閉式	P.17
		ES-DW				
		ES-DW2				
		ES-DW3				
		ES-DW3B				
		ES-80DW	▶	お問い合わせください		
		ES-80DW2				
		ES-DWU	▶	ES-DWUB-LC	飲用可能な電気給湯器を調理台に組み込んだタイプ	P.20
		ES-DWUB				
		ES-N1	▶	ESN	手洗・洗い物用の密閉式	P.27
		ES-R/RT/RX/RTX				
		ES-N2				
		ES-N4	▶	ES-N3	リーズナブルな床置きの密閉式	P.30
		ES-N				
壁掛		EW-N	▶	EWR	飲用・洗い物両用の開放式。	P.21
		EW-N1				
		EW-NB				
		EW-N1B				
		EW-N2				
		EW-N4B				
		EW-N4-BT				
		EW-N4-SB				
		EW-N3	▶	EWS		
		EW-N3A				
		EW-N3B				
		EW-N3C				
		EW-N3-BT				
		EW-N3-SB				
		FT-L FT-EX FT-A	▶	EWR	飲用・洗い物両用の開放式	
			▶	EWM-14	簡易洗い物用	P.33
	瞬間式	EI-N	▶	EI-N5	洗い物からシャワーまで幅広く対応	P.34
		EI-N1				
		EI-N2				
		EI-N3				
		EI-N4				
		MDT	▶	EIC-05A0	手洗い専用。車いすにも対応	
		DE-5.6N				
		DE-10	▶	DE-10N1	洗い物用	
		DE-10-N				
		DE-15	▶	DE-15N1		
		DE-15-N				
置台	貯湯式	ET-N	▶	ETC WKT-14	ETC/ETRは高温のお湯を利用できる開放式。 WKT-14は飲用に特化した電気給湯器。イトミック独自のステップボイル方式で沸し上げを行います。	ETC/ETR P.24 WKT-14 P.26
		ET-N1				
		ET-NB				
		ET-N1B				
		ET-N4A				
		ET-N2	▶	ETR WKT-14		
		ET-N4B				
		ET-N4B-BT				
大型		ES-F	▶	ES-F	簡易ボイラー	P.41
				ESP-FK	小型ボイラー	
				ESP-F	ボイラー	
		ES-RB	▶	ES-RB-T	上部ヒーターの優先運転で急速沸かし上げに対応	P.40
		ES-C	▶	ES-CM	深夜電力専用型	P.37
		ES-R	▶	ES-RM/RMK		

索　引

英数字

BCH-K/BCH-M(ブローキャッチャー) 55・104
BT型/BT方式(ボールタップ方式) 117
CHP 49・50・51・86・91・95
DE-10/15N1 34・73
EIC-05A0 34・73
EIJ/EIL 45・85
EI-N5 34・73
ES-150/200RB-T 40・76
ESW03A/03T 31・72
ESD 17・61
ES-DWUB 20・62
ES-F/ESP-FK/ESP-F 41・77
ES-K 43・81
ESN 27・69
ES-N3 30・70
ES-RM/RMK/CM 37・75
EST 44・82
ETC 24・66
ETR 24・66
EWM-14 33・71
EWS 21・63
EWR 21・63
iHOT14(EWM-14) 33・71
iJG-1/K(一軸型減圧弁いちじく) 56
KG-2(シングルレバー混合栓) 54
MZ-N3/N3P(まぜまぜ) 53・100
NT-1 53
Nリモコン 38・39
SB型/SB方式(ステップボイル方式) 14・26
SSR(無接点リレー) 34
Sリモコン 38・39
WKT-14(ワクワク) 26・68
Yフレーム 47・49・86

あ

洗い物用 3・4
安全弁 124
井水対応ユニット 49・50・127
いちじく(iJG-1/K) 56
一軸型減圧弁いちじく(iJG-1/K) 56
一括警報 6
業務用エコキュート 46・86
飲用 3
飲用・洗い物両用 3
埋め込み配管 53・100・101・102
埋め込み露出配管 101・103
エコキュート 46・86
エコキュート併用方式(ESTとエコキュートとのハイブリッド) 83
塩ビチーズ 55
遠方制御盤 49・50
遠方発停 6
オーバーフローパイプ 23・57
置台型 5
おすすめプログラム 13
オリフィス 53

か

加圧給湯方式(ESTの給湯方式) 83
開放式 5・115
学習機能 99
片アジャスト管 55
壁掛型 5
簡易ボイラー 80・118
間欠エア抜き弁 17
寒冷地仕様 99
季節モード 99
脚部化粧カバー 39
給湯計算 111
給湯コントローラー 13
業務用蓄熱調整契約 126
組込形 6・116
グリーン購入法 6・127
減圧弁 115
高圧タンクユニット 87・88・89
高温給水仕様 99
高水圧対応仕様 99
号数 35
小型機 48・51・95
小型ボイラー 41・80・118・119

さ

最高使用圧力 118
最適化運転 128
先止式 115
時間帯別電灯契約 38
自動入替 14
自動給排水機能 14・21・123
自動湯水入替機能 14・17・123
瞬間式 5・34・73・124
循環加熱仕様 86・87・88・91・92・93・98・99
省エネモード 15
昇温器 45・85
昇温ヒーター仕様 99
浄水器 26・59
シングルレバー混合栓(KG-2) 19・20・35・54
深夜電力 38・125
深夜電力B契約 38
深夜電力専用型 37・75
スイッチロック機能 13
水道法適合品 99・119
スケール 116
ステップボイル方式(SB型/SB方式) 14・26
洗浄管ソケット 55
ソーラー併用方式(ESTの給湯方式) 84
底脚セット 56

た

耐塩害仕様 99・120・125
耐重塩害仕様 99・120・125
耐熱塩ビチーズ 55
立ち上がり配管 53・100・101・102
中型機 47・50・91・92・93・94
調理台ユニット 20
直列配管 117
通電制御型割引 38

使い切り方式 82
手洗い用 3・32
デジタルタイマー 31・59
凍結防止仕様 99
鳥居配管 117

な

夏・節電機能 13
逃し銅管セット 55・104
逃し弁 115
逃しホースセット 55・104
二次給水口 121
二次給水継ぎ手セット 39
二槽方式（ESTシリーズの制御例） 84
熱湯赤ハンドルキャップ（MZ仕様変更） 54
熱湯栓付混合栓MZ-N3 53
熱湯専用単水栓NT-1 54
ノズル延長（MZ仕様変更） 54

は

配管カバー 23・59
配管接続口キャップ 19・29・59・121
バキュームブレーカー 98・119
左側配管 17・27
フィードバック制御 14・124
フィードフォワード制御 14・124
複数台制御仕様 99
フレキシブル出湯管 33・57
ブローキャッチャー 55・104・121
分水孔アダプター 54
並列配管 117
ボイラー区分 80・118
防振架台 49・50・51
防雪フード 49・50・51
膨張水排出装置 55・121
ボールタップ方式（BT型/BT方式） 117

ま

まぜまぜ（MZ-N3/N3P） 53・100
水抜き用吸気栓 18・28
密閉式 5・115
無接点リレー（SSR） 34
元止式 115

や

有効出湯量の計算 111
床置型 5
湯量切替方式（ESTシリーズの制御例） 84
浴槽昇温システム 45
横引配管 123

ら

落差給湯方式（ESTシリーズの給湯方式） 83
離隔取付金具 35・59
リモコンケーブル 39
両側配管 27
露出配管 100・101・102・103

わ

ワクワク（WKT-14） 26・68

安全上のご注意

カタログに掲載している製品を安全にお使いいただくためにお守りいただく事項を以下に記載します。

警告表示の意味

⚠警告　この表示の欄は、「死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	機種		区分	内容
電気温水器	全機種共通		⚠警告	**絶対に改造はしないでください。** 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。
				本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
				給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
				排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。
				電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
				濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
				設置、メンテナンスなど内部作業時以外はカバー・本体蓋などを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
				水が掛かったり結露が生じる場所では使用しないでください。 故障や感電のおそれがあります。
			⚠注意	**本体および配管に乗ったり、体重を掛けたり、物を載せたりしないでください。** 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
				貯湯温度が80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。(飲用可能機種の場合) 健康を害するおそれがあります。
				飲用する場合はやかんなどで沸かしてからお飲みください。(飲用可能機種以外) 健康を害するおそれがあります。
				水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
				水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
				長期間のご使用によってタンク内に水アカが溜ったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。固形物や変色・にごり・異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
				長期間使用しない場合はタンク(湯槽)の水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
				満水にしてから通電してください。(ステップボイル式機種を除く) 故障の原因となります。
	開放式機種		⚠注意	**純度の高い水ではご使用できません。** 機器が誤作動する原因となります。
	機種別	EI-N5	⚠警告	**前面パネルを開けて点検する際は、充電部に触れないでください。** 感電、やけどのおそれがあります。
				安全弁点検時は、安全弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
				使い始めや排水時には瞬間的に熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。
			⚠注意	**左右にある通気孔をふさがないでください。** 故障、誤動作などの機器異常の原因となります。
		EIC-05A0	⚠警告	**本製品は800Ω·cm以上の抵抗率を有する水道水でご使用ください。** 感電のおそれがあります。
		DE-10/15N1	⚠警告	**外装カバーを開けて点検する際は、充電部に触れないでください。** 感電、やけどのおそれがあります。
				本体に取り付けられている安全弁、逆止弁は絶対に取り外さないでください。 湯沸器が破損するおそれがあります。
				安全弁点検時は、安全弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
		EWM-14	⚠注意	**出湯管の先端は絶対にふさがないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。** あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
				あふれ口の先端は絶対にふさがないでください。 湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。
				出湯レバーは途中で止めないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
		ES-Fシリーズ	⚠注意	**純度の高い水ではご使用できません。** 機器が誤作動する原因となります。

	機種		区分	内容
業務用エコキュート	全機種共通		⚠ 警告	**据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼してください。** ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。
				台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。 据え付け工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。
				各ユニットの満水質量に耐えられる十分な強度を持つ床面に必ず水平に設置してください。 強度が不足している場合はユニットの落下によりけがの原因になります。
				屋内に設置しないでください。 万一冷媒が漏れると、室内が酸素不足になるおそれがあります。
				本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
				機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼してください。
				電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据え付け説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。 電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
				配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。 接続や固定が不完全な場合は、火災、感電、やけどの原因となります。
				満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
				電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
				アース線の施工が正しく行われているか確認してください。 法律により設置工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
				アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。 感電・火災や爆発など事故の原因となります。
				上水道工事は必ず指定の業者が行ってください。 事故や故障の原因となります。
			⚠ 注意	**可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。** 万一可燃性ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。
				必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	機種別	Yフレーム 中型機	⚠ 注意	**漏電ブレーカを取り付けてください。** 漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になります。
		小型機	⚠ 警告	**熱源機ユニットに冷媒をチャージしないでください。** 本体故障の原因となります。(冷媒チャージができる構造ではありません)

電気温水器の施工に関するお知らせ

給湯設備を設置する際に耐震施工が義務化されました

大規模地震による給湯設備の転倒・移動による被害を防止するため、「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成12年建設省告示第1388号)」※が平成24年12月12日に改正され、平成25年4月1日より施行されました。

※建築基準法施行令第129条の2の4に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件

この改正により、満水時質量が15kgを超える全ての電気温水器について、転倒防止等の措置の基準が明確化されました。平成25年4月1日以降、給湯設備はこの告示に基づき設置いただくこととなります。

弊社販売の床置式小型電気温水器においては、製品に付属している固定金具および下表の現場手配品にて施工をすることで、告示に適合した施工を行う事が可能です。

区分	床置式小型電気温水器		
シリーズ	ESN	ESD	ES-N3
貯湯量	全貯湯量共通		
取付床材質	ラワン合板(板厚18mm以上)		
現場手配品	木ねじ φ5.1×20 3本		木ねじ φ5.1×20 4本

◆上記以外の製品に関してはお問い合わせください。

株式会社 日本イトミック

〒131-0045
東京都墨田区押上1-1-2
東京スカイツリーイーストタワー 24F
TEL. 03-3621-2121（大代表）　FAX. 03-3621-2130

Nihon ITOMIC Co., Ltd.
24F Tokyo Skytree East Tower,
1-1-2, Oshiage, Sumida-ku,
Tokyo131-0045 Japan

●ISO9001認証取得　●経済産業省電気用品製造事業届出工場
●日本電機工業会正会員　●日本ボイラー協会会員　●建設業許可

ISO9001 JET-0239　JMS CM013

企業情報・製品情報

URL:http://www.itomic.co.jp

製品をご使用のお客様

●電気給湯器　●関連商品の修理　●部品・消耗品のご注文　●製品の操作に関するお問い合わせ

アフターサービス

市内通話料でOK ナビダイヤル®

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】
※ナビダイヤルは通話料金のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※PHS、IP電話からはご利用になれません。以下の修理窓口にお問合せ下さい。
【関東地区のお客様】ENG部 フロント課　**TEL.03-3621-2161**
その他の地域のお客様は最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

●保守契約に関するご相談（関東地区）　**TEL. 03-5860-4992**

●イトミック業務用エコキュートの不調時・修理　**TEL. 03-3621-2133**

デジタルカタログを公開しています

ホームページでデジタルカタログを公開しています。
パソコンの画面上でページをめくることができ、
PDFダウンロード、印刷も簡単です。
ホームページ:http://www.itomic.co.jp

担当エリアと営業所・地区販売会社

北海道地区 ····· **TEL. 011-615-6681**
（株）北海道イトミック　**FAX. 011-615-7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒1条5-1-10 ラポール24軒2号館
担当エリア:北海道地区全域

東北・新潟地区 ····· **TEL. 022-773-6161**
（株）東北イトミック　**FAX. 022-773-6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台4-3
担当エリア:青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ····· **TEL. 03-3621-2121**
（株）日本イトミック 本社　**FAX. 03-3621-2130**
〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F
担当エリア:東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

●給湯器に関するお問合せ
給湯器営業部 ····· **TEL. 03-3621-2131**

●業務用エコキュートに関するお問合せ
ECO営業部 ····· **TEL. 03-3621-2141**

●設計事務所様からのお問合せ
営業開発部 ····· **TEL. 03-5860-5290**

中部・北陸地区 ····· **TEL. 052-222-2561**
（株）日本イトミック 中部営業所　**FAX. 052-222-2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12 アレックスビル3F
担当エリア:富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ····· **TEL. 06-6226-0800**
（株）日本イトミック 関西営業所　**FAX. 06-6226-0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町3-4-7 KCビル9F
担当エリア:大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ····· **TEL. 082-240-1361**
（株）日本イトミック 中国営業所　**FAX. 082-240-1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町2-3-9 大手町中村ビル
担当エリア:鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ····· **TEL. 092-481-3911**
（株）日本イトミック 九州営業所　**FAX. 092-481-3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5
担当エリア:福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※製品は品質改良などにより、予告なく仕様変更・モデルチェンジを行う場合がありますのでご了承ください。※製品の価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。※写真・図面などは実際の製品と異なる場合があります。※カタログの内容は 2015 年 7 月現在のものです。予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。※カタログ掲載製品の色は印刷物のため実際とは多少異なります。現物またはサンプルなどでご確認ください。※カタログの内容についてのお問い合わせは販売店もしくは日本イトミックまでご相談ください。

VEGETABLE OIL INK